

BF-01B リファレンスガイド

このたびは、BF-01B をお買い求めいただき、
誠にありがとうございます。

本書は、本商品の設定画面や設定事例、
各種ソフトウェアについて説明しています。
必要に応じてご参照ください。

- 本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
 - FOMA、mopera U、Mzone は、株式会社 NTT ドコモの商標または登録商標です。
 - フレッツ・スポットは、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。
 - 「ホットスポット」は、NTT コミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
 - Mac、Macintosh、iPad、iPod、iTunes は、米国及びその他の国々で登録された Apple Inc. の商標または登録商標です。
 - ニンテンドー DS は、任天堂の登録商標です。
 - 「プレイステーション」および「PSP」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。また、「PSP」は同社の商品です。
- ©2008 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved. Design and specifications are subject to change without notice.
- BUFFALO™ は、株式会社メルコホールディングスの商標です。AOSS™ は、株式会社バッファローの商標です。
 - 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは記載していません。
 - 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
 - 本書の内容やホームページの URL および記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。
 - 本商品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。
 - ・ 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - ・ 一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。
 - 本商品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本商品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
 - 本商品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けず。本商品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。
 - 本商品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

目次

1 本商品の設定画面 5

設定画面とは	5
設定画面を表示する	7
Windows パソコンで設定画面を表示する	7
Macintosh やゲーム機で設定画面を表示する	11
メニュー構成	12
TOP	15
かんたん設定&基本情報	15
Internet/LAN	17
Internet(3G/HSPA)	17
Internet(無線 LAN)	19
Internet(有線ポート)	25
PPPoE(有線ポート)	27
DDNS	31
LAN	33
DHCP リース	35
アドレス変換	36
経路情報	37
無線設定	39
WPS	39
AOSS	40
基本(11g)	43
拡張(11g)	46
MAC アクセス制限	47
マルチキャスト制御	49
セキュリティー	50
ファイアウォール	50
IP フィルター	52
VPN パススルー	55
ゲーム & アプリ	56
ポート変換	56
DMZ	58
UPnP	58
コンテンツ	59
自動ダウンロード	59
自動アップロード	61
管理設定	63
本体	63

パスワード	64
省電力	65
時刻	66
NTP	67
アクセス	68
ログ	69
保存 / 復元	70
初期化 / 再起動	70
ステータス	71
システム	71
ログ	72
通信パケット	73
クライアントモニター	73
診断	74

2 本商品の各種設定 75

コンテンツの自動ダウンロード機能を使用する	75
専用コンテンツのダウンロード	75
Podcast コンテンツのダウンロード	76
巡回サイトコンテンツのダウンロード	77
ダウンロードしたコンテンツの視聴	79
コンテンツの自動アップロード機能を使用する	80
Picasa™ WEB アルバムへのアップロード	80
Flickr へのアップロード	81
フォト蔵へのアップロード	83
省電力設定をする	84
USB ストレージ機能を使用する	85
AOSS 接続で設定された内容を確認する	86
iPad や iPod touch やゲーム機との無線接続設定をする	88
AOSS 接続を無効にする	90
無線チャンネルを変更する	91
他の無線機器から本商品を検索できないようにする (ANY 接続拒否)	93
アクセス可能な無線機器を制限する (MAC アクセス制限)	95
無線機器同士の通信を禁止する (プライバシーセパレーター)	98
ポートを開放する	100
ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合	100
利用するポート番号が不明な場合	103
Windows Live (MSN) メッセンジャーを使う	104
DHCP サーバー機能 (IP アドレス自動割当機能) の設定を変更する	106
設定画面のパスワードを設定する	107

3 付属ソフトの使いかた 111

ソフトウェア概要	111
エアステーション設定ツール	111
クライアントマネージャ	111
インストール方法	111
エアステーション設定ツールの使いかた	112
起動と終了のしかた	112
トップ画面	112
無線親機の選択画面	113
操作の選択画面	114
完了画面	115
IP アドレス設定画面	116
パソコンの IP アドレス設定画面	117
無線親機の IP アドレス設定画面	118
クライアントマネージャ V の使いかた (Windows 7/Vista)	119
起動と終了のしかた	119
メイン画面	120
接続先の作成画面	121
接続先の作成画面 (オプション)	122
手動設定方法の選択画面	123
無線親機の検索画面	124
追加するワイヤレスネットワークの情報画面	125
詳細設定画面 (ステータス)	126
無線 LAN 診断画面	128
詳細設定画面 (接続先一覧)	129
接続先情報の編集画面 (無線設定の表示)	130
接続先情報の編集画面 (ネットワーク設定)	131
接続先情報の編集画面 (ブラウザ設定)	132
接続先情報の編集画面 (プリンタ設定)	133
クライアントマネージャ 3 の使いかた (Windows XP)	134
起動と終了のしかた	134
タスクトレイアイコンメニュー	135
ステータス画面	136
検索画面	138
接続画面	139
プロフィール画面	140
プロフィール情報の設定画面 (基本設定)	141
プロフィール情報の設定画面 (ネットワーク)	142
プロフィール情報の設定画面 (ブラウザ)	143

プロファイル情報の設定画面(プリンタ)	144
オプションメニュー	145
ソフトウェアの削除	146

4 パソコンを無線接続する 147

本商品との接続例	147
接続のながれ	149
AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合	149
WPS(PINコード式)を使って接続する場合	150
本商品を検索して接続する場合	151
本商品との接続	152
AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合	152
WPS(PINコード式)を使って接続する場合 (Windows 7/Vista)	152
WPS(PINコード式)を使って接続する場合 (Windows XP)	159
本商品を検索して接続する場合 (Windows 7/Vista)	163
本商品を検索して接続する場合 (Windows XP)	169
本商品を検索して接続する場合 (Macintosh)	171

5 付録..... 173

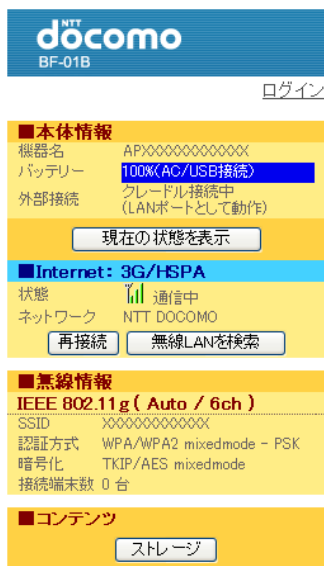
ケーブル仕様	173
ツイストペアケーブルとポート仕様	173
初期設定一覧	174
用語集	179
設定内容一覧表	182
索引	187

1

本商品の設定画面

設定画面とは

本商品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本商品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。



パラメーター

説明

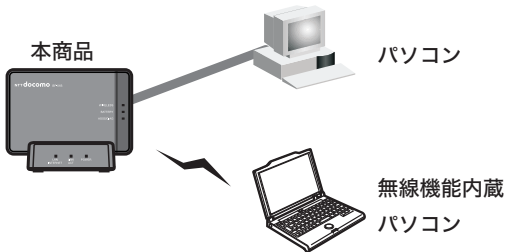
本体情報	本商品の機器名 (P63) やバッテリーの残量、外部接続の情報などが表示されます。 [現在の状態を表示]をクリックすると、状態表示が更新されます。
Internet: 3G/HSPA	現在の状態と接続先のネットワークが表示されます。
Internet: 無線 LAN	[再接続]をクリックすると、ネットワークに再接続されます。
Internet: 有線	[無線 LAN を検索]をクリックすると、周囲の無線 LAN ネットワークが検索されます。
Internet: 未接続	
無線情報	本商品の SSID や暗号化方式、接続端末数などが表示されます。

パラメーター	説明
コンテンツ	[ストレージ]をクリックすると、microSD カードに保存されている内容(最大 8 階層まで)をブラウザで確認することができます。(あらかじめ microSD カードを取り付けておく必要があります) [自動ダウンロード]をクリックすると、自動ダウンロード機能のリンクやステータスの確認ができます。(自動ダウンロード設定時) [自動アップロード]をクリックすると、自動アップロード機能のリンクやステータスの確認ができます。(自動アップロード設定時)
ログイン	クリックすると、本商品のログイン認証画面が表示されます。

設定画面を表示する

本商品の設定画面は、以下の手順で表示することができます。

< 接続構成例 >

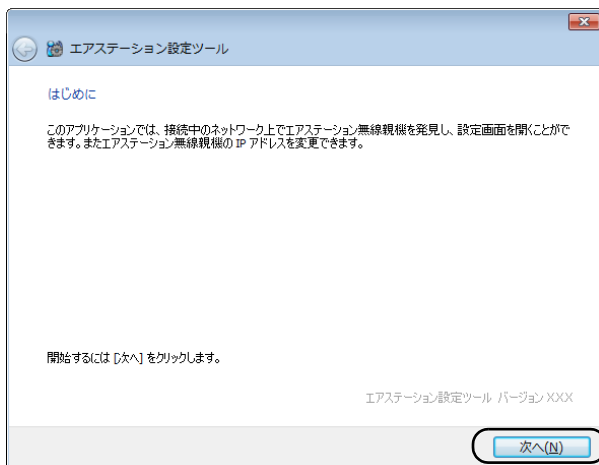


Windows パソコンで設定画面を表示する

- 以下の手順を行う前にエアステーション設定ツールがインストールされている必要があります。エアステーション設定ツールのインストール方法は、別冊の取扱説明書を参照してください。
- エアステーション設定ツールは、Windows 7/Vista/XP に対応しています。

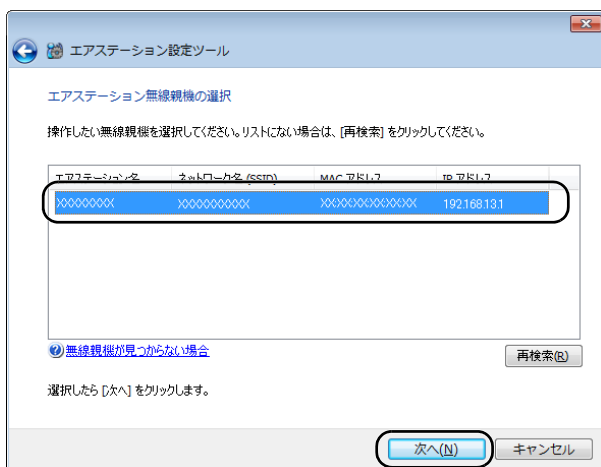
- 1 本商品と設定用パソコンを無線または有線で接続します。
- 2 [スタート]—[(すべての)プログラム]—[BUFFALO]—[エアステーションユーティリティ]—[エアステーション設定ツール]を選択して、エアステーション設定ツールを起動します。

3 以下の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。



❗ パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

4 以下の画面が表示されたら、本商品を選択して、[次へ]をクリックします。



❗ 本商品の SSID は、本体背面のラベルで確認できます。ラベルの位置は、本商品に付属の取扱説明書を参照してください。

5 [設定画面を開く]をクリックします。



- メモ** ・ 本商品とパソコンの IP セグメントが異なる場合は、以下の画面が表示されます。その場合は、[このパソコンの IP アドレスを設定する] → [推奨設定 (DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得する)] の順にクリックしてください。しばらくすると、パソコンに新しい IP アドレスが設定され、手順 6 へ進みます。

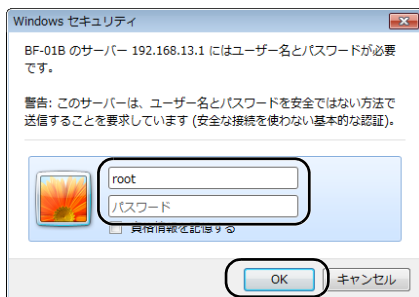


※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。本商品には ROUTER ランプはありません。

- ・ 「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示された場合は、[完了] をクリックしてください。

6 本商品のトップ画面が表示されたら、右上の「ログイン」をクリックします。


- 7 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」（小文字）、パスワードに本商品に設定したパスワードを入力して[OK]をクリックします。




- ❗ **メモ** ・ 本商品は、お買い上げ時はパスワードが設定されていません。
- ・ 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、本商品のリセットスイッチを押して、設定を初期化してください。その場合、パスワード以外の値も初期値に戻りますので、ご注意ください。

- 8 設定画面が表示されます。


Macintosh やゲーム機で設定画面を表示する

 Macintosh やゲーム機から本商品の設定画面を表示する場合は、本商品の LAN 側 IP アドレス (P33) の値が必要です。

1 本商品と設定用機器を無線または有線で接続します。


-  ・ Macintosh を本商品に無線接続する方法は、「本商品を検索して接続する場合 (Macintosh)」 (P171) を参照してください。
- ・ ゲーム機を本商品に無線接続する方法は、別紙のモバイル機器接続ガイドを参照してください。

2 設定用機器からブラウザを起動し、アドレス欄に本商品の LAN 側 IP アドレスを入力して、本商品の設定画面にアクセスします。

-  本商品の LAN 側 IP アドレスはお買い上げ時は「192.168.13.1」に設定されています。LAN 側 IP アドレスを任意の値に変更した場合は、変更後の値を入力してください。

3 本商品のトップ画面が表示されたら、右上の「ログイン」をクリックします。

4 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードに本商品に設定したパスワードを入力して [OK] をクリックします。

-  ・ 本商品は、お買い上げ時はパスワードが設定されていません。
- ・ 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、本商品のリセットスイッチを押して、設定を初期化してください。その場合、パスワード以外の値も初期値に戻りますので、ご注意ください。

5 設定画面が表示されます。

メニュー構成

設定画面のメニュー階層は、以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照してください。

メイン画面	説明	ページ
TOP		
かんたん設定&基本情報	インターネット接続などの各種設定や本商品の状態確認を簡単に行える画面です。	P15
Internet/LAN		
Internet (3G/HSPA)	インターネット接続先 (3G/HSPA) の設定を行う画面です。	P17
Internet (無線 LAN)	インターネット接続先 (無線 LAN) の設定を行う画面です。	P19
Internet (有線ポート)	インターネット接続先 (有線ポート) の設定を行う画面です。	P25
PPPoE (有線ポート)	有線ポートの PPPoE に関する設定を行う画面です。	P27
DDNS	ダイナミック DNS に関する設定を行う画面です。	P31
LAN	LAN 側ポートの設定を行う画面です。	P33
DHCP リース	DHCP リースの設定を行う画面です。	P35
アドレス変換	インターネットに接続するときに使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。	P36
経路情報	本商品が行う通信の IP 経路の設定を行う画面です。	P37
無線設定		
WPS	WPS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P39
AOSS	AOSS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P40
基本 (11g)	無線の基本的な設定を行う画面です。	P43
拡張 (11g)	無線の拡張設定を行う画面です。	P46
MAC アクセス制限	無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P47
マルチキャスト制御	無線 LAN ポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。	P49
セキュリティ		
ファイアウォール	本商品のファイアウォール機能を設定する画面です。	P50

IP フィルター	LAN 側と Internet 側の間で通過するパケットに関する IP フィルターの編集を行う画面です。	P52
VPN パススルー	IPv6 ブリッジ・PPTP パススルーに関する設定を行う画面です。	P55
ゲーム & アプリ		
ポート変換	ポート変換に関する設定を行う画面です。	P56
DMZ	LAN 側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。	P58
UPnP	UPnP (Universal Plug and Play) に関する設定を行う画面です。	P58
コンテンツ		
自動ダウンロード	コンテンツの自動ダウンロードの設定をする画面です。	P59
自動アップロード	コンテンツの自動アップロードの設定をする画面です。	P61
管理設定		
本体	本商品の名称や USB ストレージ機能の設定する画面です。	P63
パスワード	本商品の設定画面にログインするためのパスワード設定やコンテンツ・アクセス認証を設定する画面です。	P64
省電力	本商品の省電力設定を行う画面です。	P65
時刻	本商品の内部時計を設定する画面です。	P66
NTP	本商品の内部時計を NTP サーバーと同期するための設定を行う画面です。	P67
アクセス	本商品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P68
ログ	syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P69
保存 / 復元	本商品の設定を保存したり、設定ファイルから設定を復元する画面です。	P70
初期化 / 再起動	本商品を初期化したり、再起動するための画面です。	P70

第1章 本商品の設定画面

ステータス		
システム	本商品のシステム情報を確認する画面です。	P71
ログ	本商品に記録されているログ情報を確認する画面です。	P72
通信パケット	本商品が通信したパケットの合計を確認する画面です。	P73
クライアントモニター	本商品と通信している機器を確認する画面です。	P73
診断	本商品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。	P74
ログアウト		
クリックすると本商品の設定画面からログアウトします。		

TOP

かんたん設定&基本情報

インターネット接続などの各種設定や本商品の状態確認を簡単に行える画面です。

⇒ TOP — **かんたん設定&基本情報**

かんたん設定

基本設定

- インターネット接続を行う(3G/HSPA)
- インターネット接続を行う(無線LAN)
- インターネット接続を行う(有線LAN)
- 無線の基本設定をする
- 無線の暗号化を設定する

インターネット

- インターネット対応ゲームを使う
- Windows Live (MSN) メッセンジャーを使う
- 無線でマルチキャストを使う

その他

- 設定を初期化する

■本体情報

機器名 APXXXXXXXXXXXXXX
 電源 100%(AC/USB接続)
 Internet接続モード 3G/HSPA

再接続 現在の状態を表示

■Internet情報(有線LAN)

外部接続 クレードル接続中
 (LANポートとして動作)

■Internet情報(無線LAN)

接続状態 無効

■Internet情報(3G/HSPA)

接続状態 通信中
 電波状態 弱

■無線情報

IEEE 802.11g (Auto / 1 ch)

SSID XXXXXXXXXXXXXXXX
 認証方式 AOSS WPA-PSK
 暗号化 AOSS AES
 接続端末数 0 台

AOSS設定画面へ
 WPS設定画面へ

■コンテンツ

ストレージ

パラメーター

説明

かんたん設定

インターネット接続に関する各種設定や無線の基本設定など、本商品に関する設定を簡単に行うことができます。
 インターネット接続に関する詳細については付属の取扱説明書を、その他の設定項目については、本書を参照してください。

本体情報

本商品の機器名 (P63) やバッテリーの残量、外部接続の情報などが表示されます。
 [現在の状態を表示]をクリックすると、状態表示が更新されます。

Internet 情報
(有線 LAN)

有線ポートの状態が表示されます。

Internet 情報
(無線 LAN)

無線ポートの状態が表示されます。

パラメーター	説明
Internet 情報 (3G/HSPA)	3G/HSPA ポートの状態が表示されます。
無線情報	本商品の SSID や暗号化方式、接続端末数などが表示されます。
コンテンツ	[ストレージ]をクリックすると、microSD カードに保存されている内容(最大 8 階層まで)をブラウザで確認することができます。(あらかじめ microSD カードを取り付けておく必要があります) [自動ダウンロード]をクリックすると、自動ダウンロード機能のリンクやステータスの確認ができます。(自動ダウンロード設定時) [自動アップロード]をクリックすると、自動アップロード機能のリンクやステータスの確認ができます。(自動アップロード設定時)

Internet/LAN

Internet(3G/HSPA)

インターネット接続先(3G/HSPA)の設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN — Internet(3G/HSPA)

Internet(3G/HSPA)接続 使用する

[設定](#)

3G/HSPAモデム	内蔵 3G/HSPAモデム
キャリア選択	NTT docomo
接続方式	mopera U (定額) ▼
PDP Type	IP
APN(接続先)	mopera.flat.foma.ne.jp
PIN	<input type="text"/>

[拡張設定]

認証方式	自動認証 ▼
MTU値	1500 バイト

[設定](#)

パラメーター	説明
Internet(3G/HSPA)接続	Internet(3G/HSPA)接続を使用するかどうかを設定します。 (初期値:使用する)
3G/HSPA モデム	3G/HSPA 接続に使用するモデム名が表示されます。「内蔵 3G/HSPA モデム」以外に変更できません。 (初期値:内蔵 3G/HSPA モデム)
キャリア選択	本商品では「NTT docomo」以外に変更できません。 (初期値:NTT docomo)
接続方式	設定されているキャリアに対応した接続方式を選択します。 (初期値:mopera U(定額))
PDP Type	本商品は「IP」以外に変更できません。 (初期値:IP)
APN(接続先)	回線契約時に指定された APN を入力します。 (半角英数字と記号「,」「-」で 128 文字まで入力できます) (初期値:mopera.flat.foma.ne.jp)

パラメーター	説明
PIN	<p>PIN 入力有効時は、半角数字 4～8 文字で設定する必要があります。 (初期値:空欄)</p> <p>注意: 誤った PIN を設定したまま本商品の再起動を行うと、本商品は再度 接続動作を試みるため、PIN ロックされ接続が不可能になってしまう 場合があります。必ず PIN 認証に成功した状態で、本商品を起動し てください。</p> <p>※ 万一 PIN ロックされてしまった場合は、本商品の取扱説明書に記 載の手順に従って解除をしてください。</p>
<p>ユーザー名 ※ 接続方式で他社プロ バイダーを選択した 場合のみ</p>	<p>回線契約時に指定されたユーザー名を半角英数字記号 64 文字まで 設定します。 (初期値:空欄)</p>
<p>パスワード ※ 接続方式で他社プロ バイダーを選択した 場合のみ</p>	<p>回線契約時に指定されたパスワードを半角英数字記号 64 文字まで 設定します。 (初期値:空欄)</p>
認証方式	<p>回線契約時に指定された認証方式を選択します。 (初期値:自動認証)</p>
MTU 値	<p>PPP 接続で通信を行うときに使用する MTU 値を 578～1500 の範囲 で設定します。 (初期値:1500 バイト)</p>

Internet(無線 LAN)

インターネット接続先(無線 LAN)の設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN — Internet(無線 LAN)

Internet接続(無線LAN)	<input type="checkbox"/> 使用する
無線LAN - 3G/HSPA切り替えモード	<input type="radio"/> 接続性優先モード
	<input checked="" type="radio"/> 標準モード
	<input type="radio"/> 無線LAN優先モード
3G/HSPAが無通信時、無線LANへ接続 5秒間 <input type="text"/>	
<input type="button" value="設定"/>	

無線LANプロファイルの新規追加

プロファイル	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
プロファイル名称	<input type="text"/>
SSID	<input type="text"/> <input type="button" value="検索"/>
ANY接続	<input type="checkbox"/> ANY拒否設定のSSID
認証方式	<input type="text" value="認証を行わない"/> ▼
無線の暗号化	<input type="text" value="暗号化を行わない"/> ▼
<input type="button" value="新規追加"/>	

登録無線LANプロファイル

有効	プロファイル名	種別	操作
プロファイルが存在しません			

パラメーター

説明

Internet 接続
(無線 LAN)

Internet 接続(無線 LAN)を使用するかどうかを設定します。
(初期値:使用しない)

パラメーター	説明
無線 LAN ー 3G/HSPA 切り替え モード	<p>本商品では、インターネット接続として「3G/HSPA」「無線 LAN」の両方を設定した場合、いずれか最適な接続方式を自動選択し、切り替えながら通信を行うことができます。</p> <p>その際、本項目にて以下の判断ポリシーを指定します。</p> <p>接続性優先モード</p> <p>インターネットへの接続が途切れないよう接続性を優先するモードです。主に 3G/HSPA 接続を行います。</p> <p>標準モード</p> <p>3G/HSPA 接続と無線 LAN 接続の双方をバランス良く切り替えるモードです。通常は、このモードを選択してください。</p> <p>無線 LAN 優先モード</p> <p>3G/HSPA 接続よりも無線 LAN 接続を優先するモードです。無線 LAN スポットを積極的に活用したい場合などに選択してください。</p> <p>3G/HSPA が無通信時、無線 LAN へ接続</p> <p>3G/HSPA 接続から無線 LAN 接続に切り替えを開始するまでの時間を設定します。</p> <p>(初期値:標準モード、5 秒間)</p>
プロファイル	<p>「有効」にチェックマークを付けると、編集中のプロファイルがインターネット接続先の候補となります。</p> <p>プロファイルは最大 8 件まで登録できます。</p> <p>(初期値:有効)</p>
プロファイル名称	<p>インターネット接続で使用するプロファイル名称を半角英数字記号で 64 文字までで設定します。空欄にした場合は SSID 名が設定されます。</p> <p>(初期値:空欄)</p>
SSID	<p>無線接続先のアクセスポイントの SSID を半角英数字記号で 32 文字までで設定します。</p> <p>(初期値:空欄)</p>
ANY 接続	<p>接続先アクセスポイントが ANY 接続拒否設定になっている場合にチェックマークを付けます。</p> <p>(初期値:無効)</p>

パラメーター	説明
認証方式	<p>接続先アクセスポイントとの接続の際に使用する認証方式を以下から選択します。 (初期値: 認証を行わない)</p>
	認証を行わない
	<p>接続先アクセスポイントに接続する際に認証を行いません。</p>
	IEEE802.1x/EAP
	<p>接続先アクセスポイントに接続する際に IEEE802.1x/EAP 認証を行います。 接続先に設定されている EAP 認証設定を、別途本商品にも設定する必要があります。</p>
	WPA-PSK
	<p>接続先アクセスポイントに接続する際に WPA (Wi-Fi Protected Access) に準拠した認証を行います。 接続先に設定されている事前共有キーを、別途本商品にも設定する必要があります。</p>
	WPA2-PSK
	<p>接続先アクセスポイントに接続する際に WPA2 (IEEE802.11i) に準拠した認証を行います。 接続先に設定されている事前共有キーを、別途本商品にも設定する必要があります。</p>
	WPA-EAP
	<p>接続先アクセスポイントに接続する際に WPA (Wi-Fi Protected Access) に準拠した認証を行います。 接続先に設定されている EAP 認証設定を、別途本商品にも設定する必要があります。</p>
	WPA2-EAP
	<p>接続先アクセスポイントに接続する際に WPA2 (IEEE802.11i) に準拠した認証を行います。 接続先に設定されている EAP 認証設定を、別途本商品にも設定する必要があります。</p>

パラメーター	説明
無線の暗号化	<p>接続先アクセスポイントと通信する際のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 (初期値: 暗号化を行わない)</p>
	<p>暗号化を行わない</p>
	<p>暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので 暗号化なしでのご使用は避けてください。 認証方式で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。</p>
	<p>WEP</p>
	<p>WEP 暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。 暗号化キーを使用して接続先アクセスポイントと通信します。 認証方式で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。</p>
	<p>TKIP</p>
	<p>暗号化の方式に TKIP (WEP をさらに強固にした方式) を使用します。事前共有キーを使用して接続先アクセスポイントと通信します。(通信速度は若干低下します。) 認証方式で「WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA-EAP、WPA2-EAP」を選択した場合のみ使用可能です。</p>
	<p>AES</p>
	<p>暗号化の方式に AES (TKIP よりも強固な次世代暗号化方式) を使用します。事前共有キーを使用して接続先アクセスポイントと通信します。 認証方式で「WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA-EAP、WPA2-EAP」を選択した場合のみ使用可能です。</p>
<p>WEP 暗号化キー設定 ※ 無線の暗号化で WEP を選択した場合のみ</p>	<p>無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 (初期値: 空欄)</p> <p>※ WEP 暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字 (大文字 / 小文字の区別あり) を 5 文字または 13 文字で入力します。 16 進数入力の場合、0 ~ 9 および a ~ f (大文字 / 小文字の区別なし) の 10 桁または 26 桁で入力します。</p>
<p>WPA-PSK (事前共有キー) ※ 認証方式で WPA-PSK、WPA2-PSK を選択した場合のみ</p>	<p>接続先アクセスポイントとの認証で使用する事前共有キーを入力します。 (初期値: 空欄)</p> <p>※ 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字 (大文字 / 小文字の区別あり) を 8 ~ 63 文字で入力します。 16 進数入力の場合、0 ~ 9 および a ~ f (大文字 / 小文字の区別なし) の 64 桁で入力します。</p>

パラメーター	説明
EAP 内部認証 ※ 認証方式で IEEE802.1x/EAP、 WPA-EAP、WPA2- EAP を選択した場合 のみ	EAP の内部認証で用いる認証方式を以下から選択します。 (初期値: PEAP (MS-PEAP))
	PEAP (MS-PEAP) 内部認証に PEAP (MS-PEAP) を使用します。
	TLS 内部認証に TLS を使用します。
	TTLS 内部認証に TTLS を使用します。
EAP 認証ユーザー名 ※ EAP 内部認証で PEAP (MS-PEAP)、 TTLS を選択した場合 のみ	PEAP または TTLS の認証に必要なユーザー名を半角英数字記号で 1 ～ 64 文字までで設定します。 (初期値: 空欄)
EAP 認証パスワード ※ EAP 内部認証で PEAP (MS-PEAP)、 TTLS を選択した場合 のみ	PEAP または TTLS の認証に必要なパスワードを半角英数字記号で 1 ～ 64 文字までで設定します。 (初期値: 空欄)
EAP 証明書ファイル 形式 ※ EAP 内部認証で PEAP (MS-PEAP)、 TLS、TTLS を選択し た場合のみ	認証サーバから発行された電子証明書のファイル形式を選択しま す。 (初期値: なし)
	PKCS#7 (*.PEM) 認証サーバから発行された電子証明書のファイル形式が PEM 形 式の場合に選択します。
	PKCS#12 (*.pfx/*.p12) 認証サーバから発行された電子証明書のファイル形式が PFX 形 式の場合に選択します。
EAP 証明書ファイル ※ EAP 証明書ファイル 形式で PKCS#7 (*.PEM)、 PKCS#12 (*.pfx/*.p12) を選択した場合のみ	[参照] をクリックして、認証サーバから発行された電子証明書の ファイルを選択します。 (初期値: 空欄)
EAP 証明書ファイ ル・パスワード ※ EAP 証明書ファイル 形式で PKCS#7 (*.PEM)、 PKCS#12 (*.pfx/*.p12) を選択した場合のみ	EAP 証明書ファイルのパスワード入力します。 (初期値: 空欄)

パラメーター	説明
登録無線 LAN プロ ファイル	現在設定されている無線 LAN プロファイル名が表示されます。 (初期値:未登録)

Internet(有線ポート)

インターネット接続先(有線ポート)の設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN - Internet(有線ポート)

有線ポート	LAN側ポートとして利用 有線ポートをLANポートとして利用する場合、本ページの設定内容は使用されません。 (Internet/LAN)→[LAN]設定が使用されます。 有線ポートをInternet側ポートとして利用するためには、 クレドルの切り替えスイッチを「INTERNET」に変更する必要があります。
IPアドレス取得方法	<input checked="" type="radio"/> インターネット@スタートを行う <input type="radio"/> DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得 <input type="radio"/> PPPoEクライアント機能を使用する <input type="radio"/> 手動設定 IPアドレス <input type="text"/> サブネットマスク <input type="text" value="255.255.255.0"/>

※PPPoE接続先の設定はInternet/LAN設定 - [PPPoE設定](#)で行ってください

[拡張設定]

デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS(ネーム)サーバーアドレス	プライマリー: <input type="text"/>
	セカンダリー: <input type="text"/>
Internet側MACアドレス	<input checked="" type="radio"/> デフォルトのMACアドレスを使用 <input type="radio"/> 手動設定 <input type="text"/>
Internet側MTU値	1500 バイト

[設定](#)

パラメーター	説明
有線ポート	現在の有線ポートの状態が表示されます。
IP アドレス取得方法	<p>インターネット側の IP アドレスの取得方法を指定します。 (初期値:インターネット@スタートを行う)</p> <p>インターネット@スタートを行う インターネット側の回線識別を判定し、インターネット接続が完了するまでの設定を分かりやすく案内します。</p> <p>DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得 インターネット側の DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得します。</p> <p>PPPoE クライアント機能を使用する PPPoE 機能を使用して、プロバイダから IP アドレスを自動取得します。</p> <p>手動設定 インターネット側の IP アドレスを手動で設定します。</p>
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。 (初期値:空欄)

パラメーター	説明
DNS(ネーム)サーバーアドレス	DNS サーバーの IP アドレスを指定します。 (初期値: プライマリー/ セカンダリー共に空欄)
Internet 側 MAC アドレス	インターネット側インターフェース(Internet ポート)の MAC アドレスを設定します。 (初期値: デフォルトの MAC アドレスを使用) ※ 不適切な MAC アドレスを設定すると、本商品だけでなく、ネットワーク上の他の機器も使用できなくなります。 この設定は、お客様の責任において行ってください。
Internet 側 MTU 値	インターネット側インターフェース(Internet ポート)で通信を行うときに使用する MTU を 578 ~ 1500 バイトの範囲で設定します。 (初期値: 1500 バイト)

PPPoE(有線ポート)

有線ポートの PPPoE に関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN — PPPoE(有線ポート)

デフォルトの接続先 現在有効になっている接続先はありません

設定

PPPoE接続先リスト

接続先Nb. 名称 状態

接続先の設定は登録されていません

接続先の編集

接続先経路の表示

Nb. 接続先 宛先アドレス 送信元アドレス

接続先経路の設定は登録されていません

接続先経路の編集

パラメーター	説明
デフォルトの接続先	「PPPoE 接続先リスト」で複数の接続先を登録している場合、ここで選択した接続先が優先されます。デフォルト以外の接続先を用いるときは、PPPoE の接続先経路設定を別途行う必要があります。 (初期値: 接続先なし)
PPPoE 接続先リスト	PPPoE の接続先の編集ができます。 接続先は、最大 2 セッションまで登録可能です。 (初期値: 接続先なし)
[接続先の編集]	クリックすると、接続先の設定を編集する画面が表示されます。

パラメーター	説明
PPPoE 接続先の新規追加	[接続先の編集]をクリックすると表示されます。
	接続先名称
	接続先を識別するための名称を半角英数字記号で 32 文字までで入力します。 (初期値:空欄)
	接続先ユーザー名
	PPPoE の認証に使用するプロバイダ指定のユーザー名を半角英数字記号で 64 文字までで設定します。 (初期値:空欄)
	接続先パスワード
	PPPoE の認証に使用するプロバイダ指定のパスワードを半角英数字記号で 64 文字までで設定します。 (初期値:空欄)
	サービス名
	プロバイダからサービス名の指定がある場合のみ半角英数字記号で 64 文字までで設定します。 プロバイダから指定されなければ、空欄のままにします。 (初期値:空欄)
	接続方法
	本商品がプロバイダに接続するタイミングを「常時接続」、「オンデマンド接続」、「手動接続」の中から指定します。 「常時接続」の場合は、本商品起動後、すぐに PPPoE サーバーへ接続し、無通信状態でも接続し続けます。 「オンデマンド接続」の場合は、通信を行う時のみ自動的に PPPoE サーバーへ接続を行います。無通信状態のまま指定した切断時間が経過すると切断されます。 「手動接続」の場合は、手動接続の[接続]ボタンが押された時に PPPoE サーバーへ接続します。指定した切断時間が経過すると切断されます。 (初期値:常時接続)

自動切断

接続方法が「オンデマンド接続」または「手動接続」のときに、通信が停止してから、回線の使用を停止するまでの時間を 0 ～ 1440 分の範囲で設定します。

切断条件は、「送受信ともない場合」、「送信がない場合」、「受信がない場合」から選択できます。

「送受信ともない場合」は、PPPoE 接続中、本商品と PPPoE サーバーの間で送信も受信もされないまま、指定した待機時間が経過すると切断されます。

「送信がない場合」は、PPPoE 接続中、本商品から PPPoE サーバーへ送信パケットが発生しない状態のまま、指定した待機時間が経過すると切断されます。

「受信がない場合」は、PPPoE 接続中、PPPoE サーバーから本商品へ受信パケットが発生しないまま、指定した待機時間が経過すると切断されます。

(初期値:切断条件「送受信ともない場合」、待機時間「5 分」)

認証方法

プロバイダとの認証方法を設定します。

(初期値:自動認証)

MTU 値

PPPoE 上で、通信を行うときに使用する MTU 値を 578 ～ 1492 の範囲で設定します。

(初期値:1454)

MRU 値

PPPoE 上で通信を行うときに使用する MRU 値を 578 ～ 1492 の範囲で設定します。

(初期値:1454)

キープアライブ

キープアライブを有効にすると、本商品は PPPoE サーバーとの接続を維持するために、LCP エコーリクエストを 1 分に 1 度発行します。このとき、6 分以上サーバーの応答がない場合は、回線が切断されたものと判断し、接続をいったん切断します。頻繁に PPPoE 接続が切断される場合は、キープアライブに応答を返さないサーバーである可能性があるため、「無効」に設定してください。

(初期値:使用する)

接続先経路の表示

接続先経路を設定すると、設定した情報が表示されます。

(初期値:接続先経路なし)

[接続先経路の編集]

クリックすると、接続先経路を編集する画面が表示されます。

パラメーター	説明
接続先経路の新規追加	[接続先経路の編集]をクリックすると表示されます。 接続先 「宛先アドレス」や「送信元アドレス」が一致する通信の場合に PPPoE 接続を行う接続先です。 PPPoE 接続先リストに登録されている接続先から選択します。 (初期値:なし) 宛先アドレス 通信の宛先アドレスです。このアドレス宛へ通信を行うと、設定した「接続先」へ通信します。 (初期値:空欄) 送信元アドレス 通信の送信元アドレスです。この送信元アドレスから通信を行うと、設定した「接続先」へ通信します。 (初期値:なし)

DDNS

ダイナミック DNS に関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN — DDNS

ダイナミックDNS機能

[設定](#)

ダイナミックDNS設定情報

Internet側IPアドレス	IPアドレス未取得です
ドメイン名	未設定
状態	未設定

[現在の状態を表示する](#)

パラメーター	説明
ダイナミック DNS 機能	ダイナミック DNS サービスプロバイダを「BUFFALO ダイナミック DNS」「DynDNS」「TZO」から選択します。 (初期値:使用しない)
登録 / 変更設定 ※ダイナミック DNS 機能で BUFFALO ダイナミック DNS を選択した場合のみ	[登録 / 設定変更を行う]をクリックすると、バッファローサイトに接続します。画面上の手続きに従って、BUFFALO ダイナミック DNS サービスの登録を行ってください。
登録ユーザーID ※ダイナミック DNS 機能で BUFFALO ダイナミック DNS を選択した場合のみ	BUFFALO ダイナミック DNS サービスに登録されているユーザーIDが表示されます。 (初期値:未登録)
登録情報の削除 ※ダイナミック DNS 機能で BUFFALO ダイナミック DNS を選択した場合のみ	[登録情報を削除する]をクリックすると、BUFFALO ダイナミック DNS サービスの登録情報が削除されます。
ユーザー名 ※ダイナミック DNS 機能で DynDNS を選択した場合のみ	DynDNS に登録したユーザー名を入力します。 (初期値:空欄)
パスワード ※ダイナミック DNS 機能で DynDNS を選択した場合のみ	DynDNS に登録したパスワードを入力します。 (初期値:空欄)

パラメーター	説明
ホスト名 ※ダイナミック DNS 機能で DynDNS を選択した場合のみ	DynDNS に登録したホスト名を入力します。 (初期値:空欄)
Email アドレス ※ダイナミック DNS 機能で TZO を選択した場合のみ	TZO に登録した Email アドレスを入力します。 (初期値:空欄)
TZO キー ※ダイナミック DNS 機能で TZO を選択した場合のみ	TZO に登録した TZO キーを入力します。 (初期値:空欄)
ドメイン名 ※ダイナミック DNS 機能で TZO を選択した場合のみ	TZO に登録したドメイン名を入力します。 (初期値:空欄)
IP アドレス更新周期	DynDNS または TZO に IP アドレスを通知する周期を指定します。 (初期値:7 日)
Internet 側 IP アドレス	Internet ポートの IP アドレスが表示されます。 (初期値:IP アドレス未取得)
ドメイン名	ダイナミック DNS サービスプロバイダから割り当てられたドメイン名が表示されます。 (初期値:未設定)
状態	ダイナミック DNS サービスの状態が表示されます。 (初期値:未設定)
[現在の状態を表示する]	クリックすると、ダイナミック DNS 設定情報の表示内容が現在の状態に更新されます。

LAN

LAN 側ポートの設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN - LAN

LAN側IPアドレス	IPアドレス	<input type="text" value="192.168.13.1"/>
	サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバー機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
割り当てIPアドレス	<input type="text" value="192.168.13.2"/> から	<input type="text" value="64"/> 台
	除外IPアドレス: <input type="text"/>	

DHCPサーバー設定【拡張設定】

拡張設定 表示する

リース期間	<input type="text" value="48"/> 時間
デフォルトゲートウェイの通知	<input checked="" type="radio"/> BF-01BのLAN側IPアドレス (192.168.13.1) <input type="radio"/> 指定したIPアドレス <input type="text"/> <input type="radio"/> 通知しない
DNSサーバーの通知	<input checked="" type="radio"/> BF-01BのLAN側IPアドレス (192.168.13.1) <input type="radio"/> 指定したIPアドレス プライマリ <input type="text"/> セカンダリ <input type="text"/> <input type="radio"/> 通知しない
WINSサーバーの通知	<input type="radio"/> 取得済みのWINSサーバーアドレス (なし) <input type="radio"/> 指定したIPアドレス <input type="text"/> <input checked="" type="radio"/> 通知しない
ドメイン名の通知	<input checked="" type="radio"/> 取得済みのドメイン名 (なし) <input type="radio"/> 指定したドメイン名 <input type="text"/> <input type="radio"/> 通知しない

[設定](#)

パラメーター

説明

LAN 側 IP アドレス	LAN 側 IP アドレスとサブネットマスクを設定します。 (初期値: 192.168.13.1 / 255.255.255.0)
DHCP サーバー機能	DHCP サーバー (IP アドレス自動割り当て) 機能を使用するかどうかを設定します。 (初期値: 使用する)
割り当て IP アドレス	DHCP サーバー機能で割り当てる IP アドレスの範囲とその範囲から除外する IP アドレスを設定します。(256 台まで設定できます) (初期値: 「192.168.13.2」から「64 台」、除外 IP アドレス「なし」)
拡張設定	「表示する」をクリックすると、DHCP サーバーの拡張設定項目が表示されます。 (初期値: 表示しない)

パラメーター	説明
リース期間	DHCP サーバー機能で割り当てた IP アドレスの有効期間を設定します。(1 ～ 999 時間まで設定できます) (初期値:48 時間)
デフォルトゲートウェイの通知	DHCP サーバー機能で通知するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。 (初期値:BF-01B の LAN 側 IP アドレス)
DNS サーバの通知	DHCP サーバー機能で通知する DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 (初期値:BF-01B の LAN 側 IP アドレス)
WINS サーバの通知	DHCP サーバー機能で通知する WINS サーバーの IP アドレスを設定します。 (初期値:通知しない)
ドメイン名の通知	DHCP サーバー機能で通知するドメイン名を設定します。 (半角英数字と「-」、「_」で 127 文字まで設定できます) (初期値:取得済みのドメイン名)

DHCP リース

DHCP リースの設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN - DHCP リース

リース情報の新規追加

IPアドレス	<input type="text"/>
MACアドレス	<input type="text"/>
<input type="button" value="新規追加"/>	

リース情報

IPアドレス	MACアドレス	リース期限	状態	操作
192.168.13.2(*)	XXXXXXXXXXXXXX	47:49:41	自動割当	<input type="button" value="手動割当に変更"/>
192.168.13.3	XXXXXXXXXXXXXX	47:45:6	自動割当	<input type="button" value="手動割当に変更"/>

(*) WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス(192.168.13.3)

パラメーター

説明

IP アドレス DHCP サーバーからリースする IP アドレスを手動設定する場合、リースする IP アドレスを入力します。
(初期値: 空欄)

MAC アドレス IP アドレスをリースする機器の MAC アドレスを入力します。
(初期値: 空欄)

リース情報 現在のリース情報が表示されます。

IP アドレス

現在リースしている IP アドレスが表示されます。

MAC アドレス

現在リースしている機器の MAC アドレスが表示されます。

リース期限

リースの期限が表示されます。

状態

リースの状態(自動割当または手動割当)が表示されます。

操作

[手動割当に変更]をクリックすると、自動リースされた現在の値を手動リースに変更できます。

アドレス変換

インターネットに接続するときに使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN - アドレス変換

3G/HSPAモデムを使用してインターネットに接続しているため、アドレス変換を「使用しない」設定であっても、アドレス変換を「使用する」設定として動作します。

アドレス変換	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
破棄パケットのログ出力	<input type="checkbox"/> 出力する

[設定](#)

パラメーター	説明
アドレス変換	アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。 ※ インターネット接続ポートが有線ポートの場合のみ、「使用しない」に設定できます。 (初期値:使用する)
破棄パケットのログ出力	アドレス変換時のエラーなどにより破棄されたパケットについてログ出力をするかどうかを設定します。 (初期値:使用しない)

経路情報

本商品が行う通信の IP 経路の設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN — 経路情報

経路の新規追加

宛先アドレス	IPアドレス	<input type="text"/>
	サブネットマスク	255.255.255.0 <input type="button" value="v"/>
ゲートウェイ	<input type="text"/>	
メトリック	15 <input type="text"/>	

経路情報

宛先アドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ	メトリック	操作
経路情報はありません				

パラメーター

説明

宛先アドレス	ルーティングテーブルに追加する宛先 IP アドレスとサブネットマスクを設定します。 (初期値: IP アドレス「空欄」、サブネットマスク「255.255.255.0」)
ゲートウェイ	ルーティングテーブルに追加するゲートウェイアドレスを設定します。 (初期値: 空欄)
メトリック	ルーティングテーブルに追加するメトリック(宛先アドレスまでに越えるルータ数)を 1 ~ 15 までで設定します。 (初期値: 15)

パラメーター	説明
経路情報	手動で追加したルーティングテーブル(最大 32 まで)を確認することができます。
	宛先アドレス
	現在設定されている宛先アドレスが表示されます。
	サブネットマスク
	現在設定されているサブネットマスクが表示されます。
	ゲートウェイ
	現在設定されているゲートウェイのアドレスが表示されます。
	メトリック
	現在設定されているメトリックが表示されます。
	操作
	[修正]をクリックすると、設定内容を修正することができます。
	[削除]をクリックすると、設定内容が削除されます。

無線設定

WPS

WPS の詳細な設定や状況を確認する画面です。

⇒ 無線設定 - WPS

WPS機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
外部Registrar	<input checked="" type="checkbox"/> 要求を受け付ける
設定	
BF-01B PINコード*	xxxxxxx <input type="button" value="PIN生成"/>
EnrolleeのPINコード*	<input type="text"/> <input type="button" value="OK"/>
WPS用無線セキュリティー設定	
WPSステータス	configured <input type="button" value="解除"/>
11g	SSID XXXXXXXXXXXXX セキュリティー WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode 暗号鍵 xxxxxxxxxxxx

パラメーター

説明

WPS 機能	WPS 機能を使用するかどうかを設定します。 (初期値:使用する)
外部 Registrar	WPS 機能を使用する際に、外部 Registrar からの configure 要求を受け付けるかどうかを設定します。 ※ AOSS 接続を行うと、外部 Registrar の要求を受け付けなくなります。 (初期値:要求を受け付ける)
BF-01B PIN コード	本商品の PIN コードが表示されます。[PIN 生成]をクリックすると、新しい PIN コードが生成されます。 (初期値:本商品のラベルに記載の PIN コードが設定済み)
Enrollee の PIN コード	無線機器の PIN コードを入力して[OK]をクリックすると、本商品の内部 Registrar が、その PIN コードを持つ無線機器からの接続要求を受け付ける状態になります。 (初期値:空欄)
WPS 用無線セキュリティー設定	本商品の WPS 状態と現在設定されている SSID、暗号化の種類、暗号化キーが表示されます。 (初期値: WPS ステータス「configured」、セキュリティー「WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode」、SSID/暗号鍵「製品ラベルに記載の値」)

AOSS

AOSSの詳細な設定や状況を確認する画面です。

⇒ 無線設定 - AOSS



AOSS動作設定

暗号化レベル	802.11g	WPA-PSK-AES
本体側AOSSボタン	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
Internet側の親機とAOSS接続する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	

現在のセキュリティー情報802.11g

暗号化レベル	WPA-PSK-AES (現在使用中)
SSID	XXXXXXXXXXXXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXXX

暗号化レベル	WPA-PSK-TKIP
SSID	XXXXXXXXXXXXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXXX

暗号化レベル	WEP128
SSID	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXXX (送信キー)
	XXXXXXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXXXXXX

暗号化レベル	WEP64
SSID	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
暗号化キー	XXXXXX (送信キー)
	XXXXXX
	XXXXXX
	XXXXXX

ランダム KEYベース リセット

設定



AOSS接続先情報

接続先情報	MACアドレス	対応暗号化方式	無線	接続設定
XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	WEP64/WEP128 WPA-PSK-TKIP/WPA-PSK-AES	802.11g	許可

AOSS接続先情報の編集

イーサネットコンバータのAOSS設定情報

接続先情報	MACアドレス	対応暗号化方式
-------	---------	---------

パラメーター	説明
	このボタンをクリックすると、AOSS 接続を開始します。 (本体の AOSS ボタンを押したときと同じ動作となります)
	このボタンをクリックすると、AOSS 接続が解除されます。 (その際、SSID や暗号化キーも AOSS を使用する前の値に戻ります)
暗号化レベル	本商品が AOSS 設定によって動作している時、手で暗号化の種類を変更することができます。 ※ 設定を変更すると、本商品と無線機器との接続がいったん切断されます。 (初期値: AOSS が設定されていないため、変更不可)
本体側 AOSS ボタン	AOSS ボタンが押されたときに AOSS 設定を行うかどうかを指定します。 (初期値: 使用する)
Internet 側の親機と AOSS 接続する	AOSS ボタンが押されたときに Internet 側の親機と AOSS 設定を行うかどうかを指定します。 (初期値: 使用する)
現在のセキュリ ティー情報 ※ AOSS 接続時のみ	AOSS 接続時に設定された暗号化レベルとセキュリティー情報の詳細が表示されます。 (初期値: 表示なし)
暗号化レベル	
AOSS 接続時に設定された暗号化のレベルが表示されます。現在有効になっている暗号化レベルには、「現在使用中」と表示されません。	
SSID	
AOSS 接続時に設定された SSID が表示されます。	
暗号化キー	
AOSS 接続時に設定された暗号化キーが表示されます。	
[ランダム]	
クリックすると、各種 SSID や暗号化キーの入力欄に 16 進数を用いてランダムな値が生成されます。	
[KEY ベース]	
クリックすると、各種 SSID・暗号化キーの入力欄に本商品の無線設定初期値を元にした値が生成されます。	
[リセット]	
クリックすると、各種 SSID・暗号化キーの入力欄が修正前の状態に戻ります。	

パラメーター	説明
AOSS 接続先情報 ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の情報が表示されます。 (初期値:表示なし)
	接続先情報
	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の名称が表示されます。
	MAC アドレス
	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の MAC アドレスが表示されます。
	対応暗号化方式
	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の対応可能な暗号化の種類が表示されます。
	無線
	現在、接続している無線方式が表示されます。
	接続設定
	本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器に対して、現在接続を許可しているかどうかが表示されます。
	[AOSS 接続先情報の編集]
	クリックすると AOSS 接続先情報の編集画面(接続禁止 / 情報削除)が表示されます。
イーサネットコンバーターの AOSS 設定情報 ※ AOSS 接続時のみ	本商品と AOSS 接続したイーサネットコンバーターの機器の情報が表示されます。 (初期値:表示なし)
	接続先情報
	本商品と AOSS 接続したイーサネットコンバーター、および本商品と無線通信中のイーサネットコンバーターの名称が表示されます。
	MAC アドレス
	本商品と AOSS 接続したイーサネットコンバーター、および本商品と無線通信中のイーサネットコンバーターの MAC アドレスが表示されます。
	対応暗号化方式
	本商品と AOSS 接続したイーサネットコンバーター、および本商品と無線通信中のイーサネットコンバーターの対応可能な暗号化の種類が表示されます。

基本(11g)

無線の基本的な設定を行う画面です。

⇒ 無線設定 - 基本(11g)

無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> BF-01BのMACアドレスを設定(XXXXXXXXXXXXXXXX) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
無線チャンネル	Auto(1-11ch) (現在のチャンネル: 6)
ANY接続	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する
無線の認証	WPA/WPA2 mixedmode - PSK
無線の暗号化	TKIP/AES mixedmode
WPA-PSK(事前共有キー)	●●●●●●●●●●
Key更新間隔	60 分

パラメーター	説明
無線機能	無線機能を使用するかどうかを設定します。 チェックマークを外すと、無線による通信ができなくなります。 (初期値: 使用する)
SSID	SSID を半角英数字記号で 32 文字までで設定します。 (初期値: BF-01B の MAC アドレスを設定)
無線チャンネル	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「Auto」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。 (初期値: Auto(1-11ch))
ANY 接続	無線機器からの ANY 接続を許可するかどうかを設定します。 「許可しない」に設定すると、パソコンにインストールしたクライアントマネージャから本商品を検索することができなくなります。 ※ ANY 接続とは、無線機器の SSID を「ANY」に設定したときに、無線シグナルレベルが一番良い状態の無線親機を自動検出し、その無線親機に接続することです。 (初期値: 許可する)

パラメーター	説明
無線の認証	無線機器との接続の際に使用する認証方式を以下から選択します。 (初期値: WPA/WPA2 mixedmode - PSK) 認証を行わない 無線機器との接続の際に認証を行いません。 WPA-PSK 無線機器との接続の際に WPA (Wi-Fi Protected Access) に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本商品に設定する必要があります。 WPA2-PSK 無線機器との接続の際に WPA2 (IEEE802.11i) に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本商品に設定する必要があります。 WPA/WPA2 mixedmode - PSK 無線機器との接続の際に WPA-PSK および WPA2-PSK のどちらの無線機器の認証も同時に行う設定です。事前共有キーを別途本商品に設定する必要があります。
無線の暗号化	無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 (初期値: TKIP/AES mixedmode) 暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。 WEP WEP 暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。 暗号化キーを使用して無線機器と通信します。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。 TKIP 暗号化の方式に TKIP (WEP をさらに強固にした方式) を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。(通信速度は若干低下します。) 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。 AES 暗号化の方式に AES (TKIP よりも強固な次世代暗号化方式) を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。

パラメーター	説明
TKIP/AES mixedmode	
	TKIP と AES の認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。
WPA-PSK(事前共有キー) ※ 無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選択した場合のみ	無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。 ※ 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字 / 小文字の区別あり)を 8 ～ 63 文字で入力します。 16 進数入力の場合、0 ～ 9 および a ～ f(大文字 / 小文字の区別なし)の 64 桁で入力します。
Key 更新間隔 ※ 無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選択した場合のみ	通信用暗号化キーを更新する間隔を 0 ～ 1440 分の範囲で設定します。 (初期値: 60 分)
WEP 暗号化キー設定 ※ 無線の暗号化で WEP を選択した場合のみ	無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 ※ WEP 暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字 / 小文字の区別あり)を 5 文字または 13 文字で入力します。 16 進数入力の場合、0 ～ 9 および a ～ f(大文字 / 小文字の区別なし)の 10 桁または 26 桁で入力します。

- メモ**
- AOSS 機能が有効になっている場合に上記の画面で SSID や暗号化キーを変更すると、変更した値は保存されますが、反映されません。AOSS 機能を無効にすると、設定した値が反映されます。
 - AOSS 機能が有効になっている場合は、P40 の画面にて SSID や暗号化キーを変更すると、変更した値が即時反映されます。

拡張(11g)

無線の拡張設定を行う画面です。

⇒ 無線設定 - 拡張(11g)

DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	<input type="checkbox"/> 使用する
送信出力	Auto

設定

パラメーター	説明
DTIM Period	無線機器に通知するビーコン応答間隔(1～10)の設定をします。無線機器のパワーマネジメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。 (初期値:1)
プライバシーセパレーター	無線機器間の通信を許可するかどうかを設定します。「使用する」に設定すると、同一の無線親機に接続している無線機器同士の通信ができなくなります。 ※ 有線側からは、無線機器と通信できます。 (初期値:使用しない)
送信出力	無線電波の出力を設定します。無線送信出力と電波の到達距離は、ほぼ比例するため、無線送信出力を低くした場合、到達距離も短くなります。 Auto に設定すると、本商品をクレードルに接続していない場合に送信出力を抑制します。 (初期値:Auto)

MAC アクセス制限

無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。

⇒ 無線設定 - MAC アクセス制限

無線パソコンの接続 制限する

設定

登録リスト

MACアドレス 接続状態


MACアドレスが登録されていません

登録リストの編集

全てのMACアドレスを消去

パラメーター	説明
無線パソコンの接続	無線機器からの接続を制限するかどうかを設定します。 (初期値: 制限しない)
登録リスト	MAC アクセス制限で、接続を許可する無線機器の MAC アドレスが表示されます。 (初期値: 未登録)
MAC アドレス	MAC アクセス制限で接続を許可する MAC アドレスの一覧が表示されます。
接続状態	リストに登録した無線機器が、現在接続しているかどうかを表示します。接続中であれば「○」、未接続であれば「×」が表示されます。
[登録リストの編集]	クリックすると、接続を許可する無線機器の MAC アドレスを登録する画面が表示されます。
[全ての MAC アドレスを消去]	クリックすると、リストに登録されているすべての MAC アドレスを消去します。
登録する MAC アドレス	接続を許可する無線機器の MAC アドレスを入力します。 [新規追加]をクリックすると、MAC アドレスがリストに登録されます。 (初期値: 空欄)
※ 上記の画面で[登録リストの編集]をクリックすると表示されます。	

パラメーター	説明
登録リスト ※ 上記の画面で[登録リストの編集]をクリックすると表示されます。	登録した MAC アドレスに対して、編集を行うことができます。 (初期値:未登録) MAC アドレス リストに登録した無線機器の MAC アドレスが表示されます。 操作 [修正]をクリックすると、登録した MAC アドレスを修正できません。 [削除]をクリックすると、登録した MAC アドレスが削除されません。
検出された無線パソコン一覧 ※ 上記の画面で[登録リストの編集]をクリックすると表示されます。	本商品に接続している無線機器の MAC アドレスをリストに登録することができます。 (初期値:未検出) MAC アドレス 本商品に接続している無線機器の MAC アドレスが表示されません。 操作 [登録]をクリックすると、MAC アドレスがリストに登録されません。 [現在の状態を表示] クリックすると、現在の状態が表示されます。

-  **メモ** AOSS 機能が有効になっている場合に上記の画面で MAC アクセス制限設定を行うと、設定した値は保存されますが、反映されません。AOSS機能を無効にすると、設定した値が反映されません。

マルチキャスト制御

無線 LAN ポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。

⇒ 無線設定 - マルチキャスト制御

Snooping 機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
マルチキャスト Aging Time	<input type="text" value="300"/> 秒

パラメーター	説明
Snooping 機能	IGMP などのマルチキャスト管理パケットを監視し、不必要な有線・無線各ポートへのマルチキャストの転送を抑制することができる、マルチキャスト Snooping (スヌーピング) 機能を使用するかどうかを設定します。 (初期値: 使用する)
マルチキャスト Aging Time	マルチキャスト Snooping 機能によって学習した情報を保持する時間を 1 ~ 3600 (秒) の範囲で設定します。IGMP/MLD クエリー間隔よりも十分に大きな値を入力する必要があります。 (初期値: 300 秒)

セキュリティ

ファイアウォール

本商品のファイアウォール機能を設定する画面です。

⇒ セキュリティ – ファイアウォール

ログ出力 使用する

有効	簡易ルール	バケット数
<input type="checkbox"/>	Windows共有プロトコルのルーティングを禁止する	0
<input checked="" type="checkbox"/>	Internet側からのIdent要求を拒否する	0
<input checked="" type="checkbox"/>	Internet側からのPingにตอบสนองしない	0

設定

パラメーター	説明
ログ出力	ファイアウォール機能のログを出力するかどうかを設定します。 (初期値: 使用しない)
簡易ルール	簡易フィルターを使用するかどうかを設定します。 各フィルターの内容は以下の通りです。 Windows 共有プロトコルのルーティングを禁止する 有効にすると、Internet 側から LAN 側および LAN 側から Internet 側への Microsoft ネットワーク共有機能は使用できなくなります。Internet 側 IP アドレス取得方法 (P25) で「PPPoE クライアント機能を使用する」を選択している場合や、「インターネット@スタートを行う」を選択していて判別結果が PPPoE だった場合に限り、PPPoE の接続先ごとに設定を行うことができます。 (初期値: 無効) Internet 側からの Ident 要求を拒否する 有効にすると、Internet 側からの Ident の認証要求に対して拒否バケットを送ります。 メール送信、ftp、ブラウザなどのネットワークアプリケーションの通信が遅くなる場合に設定してください。 アドレス変換設定で、Ident の要求を LAN 側パソコンに転送する設定 (DMZ または TCP ポート :113) になっている場合、そちらの設定が優先され、この設定を有効にしても機能は動作しません。 (初期値: 有効)

パラメーター**説明**

Internet 側からの Ping に応答しない

有効にすると、Internet 側からの Ping に応答しなくなります。
Internet 側 IP アドレス取得方法 (P25) で「PPPoE クライアント機能を使用する」を選択している場合や、「インターネット@スタートを行う」を選択していて判別結果が PPPoE だった場合に限り、PPPoE の接続先ごとに設定を行うことができます。
(初期値:有効)

IP フィルター

LAN 側と Internet 側の間で通過するパケットに関する IP フィルターの編集を行う画面です。

⇒ セキュリティー - IP フィルター

ログ出力 使用する

設定

IPフィルターの新規追加

動作	無視 ▼	
方向	Internet→LAN ▼	
IPアドレス	送信元: <input type="text"/>	宛先: <input type="text"/>
プロトコル	<input type="radio"/> 全て	
	<input type="radio"/> ICMP	
	<input type="radio"/> 任意	プロトコル番号: <input type="text"/>
	<input checked="" type="radio"/> TCP/UDP	任意のTCPポート ▼ 指定の仕方 任意のTCP/UDPポート: <input type="text"/>

追加

IPフィルター登録情報

動作	方向	送信元アドレス 宛先アドレス	プロトコル	パケット数	操作
IPフィルターは登録されていません					

パラメーター

説明

ログ出力	IP フィルター機能のログを出力するかどうかを設定します。 (初期値: 使用しない)
動作	対象となるパケットの処理方法を指定します。 (初期値: 無視)
無視	対象パケットは、無視され、破棄され、通過できません。
拒否	対象パケットは、無視され、破棄され、通過できません。 さらに送信元のパソコンへ拒否パケットが送られます。
通過	対象パケットは、通過できます。

パラメーター	説明
方向	対象となるパケットの通信方向を指定します。 (初期値: Internet → LAN) Internet → LAN Internet 側から LAN 側へ通過するパケットを対象にします。 LAN → Internet LAN 側から Internet 側へ通過するパケットを対象にします。
IP アドレス	対象となるパケットの送信元 IP アドレスと 宛先 IP アドレスを指定します。 (初期値: 空欄)
プロトコル	対象となる通信パケットのプロトコルを選択します。 (初期値: TCP/UDP) 全て IP プロトコルを使用するすべての通信パケットを対象にします。 ICMP ICMP プロトコルを用いた通信パケットを対象にします。 任意 任意の IP プロトコルを用いた通信パケットを対象にします。 TCP/UDP IP プロトコルで運ばれる TCP または UDP を対象にします。 別途ポート番号を設定する必要があります。

パラメーター	説明
IP フィルター 登録情報	登録されている IP フィルター(最大 32 まで)を一覧で表示します。 (初期値:未登録)
	動作
	対象となるパケットの処理方法が表示されます。
	方向
	対象となるパケットの通信方向が表示されます。
	送信元アドレス / 宛先アドレス
	対象となるパケットの送信元 IP アドレスと 宛先 IP アドレスが表示されます。
	プロトコル
	対象となるパケットのプロトコルが表示されます。
	パケット数
	対象となったパケット数が表示されます。
	操作
	[修正]をクリックすると、登録済みの IP フィルター情報を修正できます。
	[削除]をクリックすると、登録済みの IP フィルター情報を削除します。

VPN パススルー

IPv6 ブリッジ・PPTP パススルーに関する設定を行う画面です。

⇒ セキュリティー - VPN パススルー

フレッツIPv6サービス対応機能(IPv6ブリッジ)	<input type="checkbox"/> 使用する
PPTPパススルー	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

[設定](#)

パラメーター	説明
フレッツ IPv6 サービス対応機能 (IPv6 ブリッジ)	アドレス変換においてフレッツ IPv6 サービス対応機能を使用するかどうかを設定します。フレッツ IPv6 サービス対応機能は NTT 東日本のフレッツ・ドットネットおよび NTT 西日本のフレッツ・v6 アプリを利用する場合に必要となります。 (初期値: 使用しない)
PPTP パススルー	アドレス変換において PPTP パススルー機能を使用するかどうかを設定します。 (初期値: 使用する)

ゲーム & アプリ

ポート変換

ポート変換に関する設定を行う画面です。

⇒ ゲーム & アプリ - ポート変換

ポート変換の新規追加

グループ	新規追加 ▾	新規追加: <input type="text"/>
Internet側IPアドレス	BF-01BのInternet側IPアドレス ▾ 手動設定: <input type="text"/>	
プロトコル	<input type="radio"/> 全て	
	<input type="radio"/> ICMP	
	<input type="radio"/> 任意	プロトコル番号: <input type="text"/>
	<input checked="" type="radio"/> TCP/UDP	任意のTCPポート ▾ 指定の仕方 任意のTCP/UDPポート: <input type="text"/>
LAN側IPアドレス	<input type="text" value="192.168.13.2"/>	
LAN側ポート	TCP/UDPポート: <input type="text"/>	

ポート変換登録情報

グループ	Internet側IPアドレス LAN側IPアドレス	プロトコル LAN側ポート	操作
アドレス変換設定は登録されていません			

パラメーター

説明

グループ

登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択して、新規グループ名を「新規追加」欄に入力すると、新たなグループを作成します。半角英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。
(初期値: 空欄)

Internet側IPアドレス

ポート変換テーブルに追加するInternet側(変換前)のIPアドレスを設定します。
(初期値: BF-01BのInternet側IPアドレス)

BF-01BのInternet側IPアドレス

ポート変換を行う通信パケットの宛先アドレスが、BF-01BのInternet側IPアドレスである場合に選択します。

手動設定

ポート変換を行う通信パケットの宛先アドレスを手動で設定する場合に選択します。

パラメーター	説明
プロトコル	<p>対象となる通信パケットのプロトコルを選択します。 (初期値:TCP/UDP)</p> <p>全て</p> <p>IP プロトコルを使用するすべての通信パケットを対象にします。</p> <p>ICMP</p> <p>ICMP プロトコルを用いた通信パケットを対象にします。</p> <p>任意</p> <p>任意の IP プロトコルを用いた通信パケットを対象にします。</p> <p>TCP/UDP</p> <p>IP プロトコルで運ばれる TCP または UDP を対象にします。 別途ポート番号を設定する必要があります。</p>
LAN 側 IP アドレス	<p>ポート変換テーブルに追加する LAN 側(変換後)の IP アドレスを設定します。 (初期値:現在設定を行っているパソコンの IP アドレス)</p>
LAN 側ポート	<p>ポート変換テーブルに追加する LAN 側(変換後)のポート番号(1 ~ 65535)を設定します。 (初期値:空欄)</p>
ポート変換登録情報	<p>現在、設定されているポート変換テーブル(最大 32 まで)を一覧で表示します。 (初期値:未登録)</p> <p>グループ</p> <p>ポート変換テーブルに登録したグループ名が表示されます。</p> <p>Internet 側 IP アドレス /LAN 側 IP アドレス</p> <p>ポート変換テーブルに追加する Internet 側(変換前)の IP アドレスと LAN 側(変換後)の IP アドレスが表示されます。</p> <p>プロトコル /LAN 側ポート</p> <p>対象となるパケットのプロトコルと LAN 側(変換後)のポート番号が表示されます。</p> <p>操作</p> <p>[OFF]をクリックすると、ポート変換登録情報の状態を無効にします。 [ON]をクリックすると、ポート変換登録情報の状態を有効にします。 [修正]をクリックすると、登録済みのポート変換登録情報を修正できます。 [削除]をクリックすると、登録済みのポート変換登録情報を削除します。</p>

DMZ

LAN 側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。

⇒ ゲーム & アプリ - DMZ

DMZのアドレス

※WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス[192.168.13.3]

設定

パラメーター	説明
DMZ のアドレス	ポート変換テーブルに設定されていないパケットの転送先の IP アドレスを設定します。(RIP プロトコル(UDP ポート番号 520)のパケットは、転送されません) (初期値:空欄)

UPnP

UPnP (Universal Plug and Play) に関する設定を行う画面です。

⇒ ゲーム & アプリ - UPnP

UPnP機能

 使用する

設定

パラメーター	説明
UPnP 機能	Universal Plug and Play (UPnP) 機能を使用するかどうかを設定します。 (初期値:使用する)

コンテンツ

自動ダウンロード

コンテンツの自動ダウンロードの設定をする画面です。

⇒ コンテンツ – 自動ダウンロード

自動ダウンロード機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する スケジュール <input checked="" type="radio"/> 間隔指定 <input type="radio"/> 時刻指定 <input type="text" value="1"/> 時間毎
SDカード	SDカードにダウンロード設定を行うまでダウンロードが開始されません。 挿入されているSDカードにダウンロードしますか？ <input type="button" value="ダウンロードする"/>
使用するネットワーク	<input checked="" type="checkbox"/> 3G/HSPA経由でダウンロードしない
専用コンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/> ダウンロードする <input checked="" type="checkbox"/> PC向けコンテンツをダウンロード <input checked="" type="checkbox"/> スマートフォン向けコンテンツをダウンロード <input checked="" type="checkbox"/> インテンドーDS向けコンテンツをダウンロード
Podcastコンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/> ダウンロードする <input type="button" value="お勧めリストの自動取得"/> コンテンツ毎の容量 <input type="text" value="制限なし"/> コンテンツ毎の保存件数 <input type="text" value="3件"/> Podcast名 <input type="text"/> 取得先(フィードURL) <input type="text"/> 1: <input checked="" type="checkbox"/> 有効 2: <input type="checkbox"/> 有効 3: <input type="checkbox"/> 有効 4: <input type="checkbox"/> 有効 5: <input type="checkbox"/> 有効 6: <input type="checkbox"/> 有効 7: <input type="checkbox"/> 有効 8: <input type="checkbox"/> 有効 9: <input type="checkbox"/> 有効 10: <input type="checkbox"/> 有効
巡回サイトコンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/> ダウンロードする <input checked="" type="checkbox"/> 画像データもダウンロードする <input type="checkbox"/> マルチメディアコンテンツもダウンロードする ダウンロード階層 <input type="text" value="1階層"/> <input type="checkbox"/> 上位階層のリンクを取得する <input type="checkbox"/> 外部のリンクを取得する コンテンツ毎の容量 <input type="text" value="制限なし"/> 巡回サイト名 <input type="text"/> 取得先(URL) <input type="text"/> 1: <input checked="" type="checkbox"/> 有効 2: <input type="checkbox"/> 有効 3: <input type="checkbox"/> 有効 4: <input type="checkbox"/> 有効 5: <input type="checkbox"/> 有効

パラメーター	説明
自動ダウンロード機能	専用コンテンツや Podcast コンテンツ、巡回サイトコンテンツの自動ダウンロード機能を使用するかどうかを設定します。 「使用する」を選択した場合は、別途コンテンツのダウンロードスケジュールを設定します。 ダウンロードスケジュールは、決められた時間ごとにダウンロードする方法と、決められた時刻にダウンロードする方法があり、本項目でそれを決定します。 (初期値: 使用しない)
SD カード	microSD カードのステータスを表示します。
使用するネットワーク	コンテンツのダウンロードに使用するネットワークを設定します。 「3G/HSPA 経由でダウンロードしない」にチェックマークを付けると、コンテンツダウンロード時には、3G/HSPA 回線は使用されません。
専用コンテンツ	専用コンテンツをダウンロードするかどうかを設定します。 ダウンロードする場合は、コンテンツ種類(PC 向け、スマートフォン向け、ニンテンドーDS 向け)を設定します。
Podcast コンテンツ	Podcast コンテンツをダウンロードするかどうかを設定します。 ダウンロードする場合は、コンテンツ毎の容量、コンテンツ毎の保存件数、Podcast 名、取得先(フィールド URL)などを別途設定します。 Podcast 名および取得先(フィールド URL)は、10 組まで設定することができます。
巡回サイトコンテンツ	巡回サイトコンテンツをダウンロードするかどうかを設定します。 ダウンロードする場合は、ダウンロードする内容(画像データやマルチメディアコンテンツを含めるかどうか)やダウンロードするコンテンツの階層、上位階層へのリンクや外部リンク、コンテンツ毎の容量、巡回サイト名、取得先(URL)などを別途設定します。 巡回サイト名および取得先(URL)は、5 組まで設定することができます。

自動アップロード

コンテンツの自動アップロードの設定をする画面です。

⇒ コンテンツ – 自動アップロード

自動アップロード機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する スケジュール <input checked="" type="radio"/> SDカード挿入時 <input type="radio"/> 手動
使用するネットワーク	<input checked="" type="checkbox"/> 3G/HSPAで経由でアップロードしない
アップロード先	利用するオンライン・ストレージサービス <input checked="" type="radio"/> Picasa(TM) WEBアルバム <input type="radio"/> Flickr <input type="radio"/> フォト蔵 ユーザー名 <input type="text"/> パスワード <input type="text"/> アルバム名 <input type="text"/>
アップロード対象	ファイル形式 <input type="button" value="動画・画像ファイル"/> <input type="button" value="ストレージ"/> フォルダ <input type="radio"/> デジタルカメラ標準フォルダ(~/DCIM) <input checked="" type="radio"/> フォルダを指定 <small>SDカード内のフォルダを「/」区切りで設定します。</small> <input type="text"/>

パラメーター

説明

自動アップロード機能

動画や画像コンテンツのオンラインストレージサービスへの自動アップロード機能を使用するかどうかを設定します。
 「使用する」を選択した場合は、別途コンテンツのアップロードスケジュールを設定します。
 アップロードスケジュールは、microSD カード挿入時にアップロードする方法と、手動方法があり、本項目でそれを決定します。
 手動を選択した場合は、トップ画面で、[コンテンツ]－[自動ダウンロード]から[アップロード開始]を選択したときのみアップロードが開始されます。
 (初期値:使用しない)

使用するネットワーク

コンテンツのアップロードに使用するネットワークを設定します。
 「3G/HSPA 経由でアップロードしない」にチェックマークを付けると、コンテンツアップロード時には、3G/HSPA 回線は使用されません。

パラメーター	説明
アップロード先	<p>コンテンツをアップロードするオンラインストレージサービスを以下の中から設定します。</p> <p>Picasa(TM) WEB アルバム</p> <p>Picasa(TM) WEB アルバムにコンテンツをアップロードする場合には選択します。利用にあたって、事前に同サービスの利用登録が必要です。サービス登録時に指定されたユーザー名、パスワード、アルバム名は、本項目で設定します。</p> <p>Flickr</p> <p>Flickr にコンテンツをアップロードする場合には選択します。利用にあたって、事前に同サービスの利用登録が必要です。サービス登録時に指定された mini-token、アルバム名は、本項目で設定します。</p> <p>フォト蔵</p> <p>フォト蔵にコンテンツをアップロードする場合には選択します。利用にあたって、事前に同サービスの利用登録が必要です。サービス登録時に指定されたユーザー名、パスワード、アルバム名は、本項目で設定します。</p>
アップロード対象	<p>アップロード対象を設定します。</p> <p>ファイル形式</p> <p>アップロード対象のファイル形式を、画像ファイルのみ、動画ファイルのみ、画像・動画ファイルの中から選択します。</p> <p>フォルダー</p> <p>アップロード対象のフォルダーを、デジタルカメラ標準フォルダー(DCIM)、フォルダーを指定の中から選択します。フォルダーを指定する場合は、microSD カード内のフォルダーを「/」区切りで設定します。</p>

管理設定

本体

本商品の名称や USB ストレージ機能の設定する画面です。

⇒ 管理設定 - 本体

機器名

USBストレージ機能

※ USBストレージ機能の設定変更は、次回USBポート接続時に反映されます。

パラメーター	説明
機器名	本商品の名称を設定します。(半角英数字と「-」で、64文字まで入力できます) (初期値:"AP"+ 本商品の LAN MAC アドレス)
USB ストレージ機能	本商品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続したときに利用できる機能を以下の中から設定します。 (初期値:ユーティリティインストーラー) ユーティリティインストーラー USB 接続時に、ユーティリティインストーラーを使用する場合に選択します。 SD カード USB 接続時に、本商品に取り付けた microSD カードにアクセスする場合に選択します。 使用しない USB ストレージ機能を使用しない場合に選択します。

パスワード

本商品の設定画面にログインするためのパスワード設定やコンテンツ・アクセス認証を設定する画面です。

⇒ 管理設定 - パスワード

管理ユーザー名	root (変更することはできません)
管理パスワード	<input type="password"/> <input type="password"/> (確認用)
<input type="button" value="設定"/>	
コンテンツ・アクセス認証	<input checked="" type="radio"/> アクセス制限しない(パスワードなし) <input type="radio"/> アクセスには管理ユーザー権限が必要 <input type="radio"/> アクセスには以下のユーザー名/パスワードが必要
<input type="button" value="設定"/>	

パラメーター	説明
管理ユーザー名	<p>本商品の設定画面へログインするときのユーザー名です。「root」以外に変更できません。 (初期値:root)</p>
管理パスワード	<p>本商品の設定画面へログインするときのパスワードです。(半角英数字と「_」で、8文字まで入力できます) (初期値:設定なし)</p>
コンテンツ・アクセス認証	<p>ダウンロードしたコンテンツへのアクセス権限を以下の中から設定します。 (初期値:アクセス制限しない(パスワードなし))</p> <p>アクセス制限しない(パスワードなし) コンテンツに対してアクセス制限をしない場合に選択します。</p> <p>アクセスには管理ユーザー権限が必要 コンテンツへアクセスする際、上記で設定した管理パスワードの入力を必要とさせる場合に選択します。</p> <p>アクセスには以下のユーザー/パスワードが必要 コンテンツへアクセスする際、別途設定するユーザー名とパスワードを入力させる場合に選択します。</p>

省電力

本商品の省電力設定を行う画面です。

⇒ 管理設定 - 省電力

システム・スタンバイ	1分後 ▼
自動パワーオフ	しない ▼

設定

パラメーター	説明
システム・スタンバイ	<p>本商品がスタンバイ状態となるまでの時間(1分後/3分後/5分後/しない)を設定します。</p> <p>「しない」を選択すると、スタンバイ状態には移行しません。</p> <p>無線機器が接続されていないまま指定した時間が経過すると、本商品は自動的にスタンバイ状態に移行します。スタンバイ状態ではインターネット接続などは動作しなくなりますが、無線機器が本商品へ接続することによって通常状態へ復帰します。</p> <p>(初期値:1分後)</p> <p>※ 電源供給時や有線ポート接続時は、スタンバイ状態へ移行しません。</p>
自動パワーオフ	<p>本商品の電源を自動的に切断するまでの時間(10分後/20分後/30分後/しない)を設定します。</p> <p>「しない」を選択すると、電源を切断しません。</p> <p>無線機器が接続されていないまま指定した時間が経過すると、本商品は自動的に電源を切断します。再び本商品を利用するためには、電源ボタンを押して起動する必要があります。</p> <p>(初期値:しない)</p> <p>※ 電源供給時や有線ポート接続時は、電源は切断されません。</p>

時刻

本商品の内部時計を設定する画面です。

⇒ 管理設定 - 時刻

NTP機能使用中のため、設定値は書き換えられる可能性があります。

日付 2010年 12月 31日

時刻 19時 54分 38秒

設定

タイムゾーン (GMT+09:00)東京、大阪、ソウル

設定

パラメーター	説明
日付	本商品の内部時計の日付を手動で設定します。 (初期値:2010年1月1日)
時刻	本商品の内部時計の時刻を手動で設定します。 (初期値:0時0分0秒) ※ [現在アクセス中のパソコンから時刻を取得]をクリックすると、現在アクセス中のパソコンから時刻を取得して入力欄に表示します。表示した時刻を設定する場合は、[設定]をクリックしてください。
タイムゾーン	本商品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を指定します。 (初期値:(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル)

NTP

本商品の内部時計を NTP サーバーと同期するための設定を行う画面です。

⇒ 管理設定 - NTP

NTP機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
サーバー名	<input type="text" value="ntp.jst.mfeed.ad.jp"/>
確認時間	<input type="text" value="24"/> 時間毎

パラメーター	説明
NTP 機能	本商品の内部時計を NTP サーバーを使って設定するかどうかを指定します。 (初期値:使用する)
サーバー名	NTP サーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IP アドレスのいずれかで設定します。 (半角英数字と「.」「-」で 255 文字まで入力できます) (初期値:ntp.jst.mfeed.ad.jp)
確認時間	NTP サーバーに時刻を問い合わせる周期(1 ~ 24 時間毎)を設定します。 (初期値:24 時間毎)

アクセス

本商品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。

⇒ 管理設定 - アクセス

ログ出力 使用する

有効	制限項目	バケット数
<input type="checkbox"/>	無線LANからの設定を禁止する	0
<input type="checkbox"/>	有線LANからの設定を禁止する	0

Internet側リモートアクセス設定

有効 制限項目
 Internet側リモートアクセス設定を許可する

設定

パラメーター	説明
ログ出力	管理アクセス設定のログを出力するかどうかを設定します。 (初期値: 使用しない)
無線LANからの設定を禁止する	無線機器から本商品の設定をできないようにします。 (初期値: 無効)
有線LANからの設定を禁止する	有線LANポートに接続された機器から本商品の設定をできないようにします。 (初期値: 無効)
Internet側リモートアクセス設定を許可する	Internetに接続されたネットワーク機器から本商品の設定画面へのアクセスを制限するかどうかを設定します。 (初期値: 無効)

ログ

syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

⇒ 管理設定 - ログ

ログ情報転送機能	<input type="checkbox"/> 使用する	
syslogサーバー	<input type="text"/>	
転送するログ情報	<input checked="" type="checkbox"/> アドレス変換	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター
	<input checked="" type="checkbox"/> ファイアウォール	<input checked="" type="checkbox"/> PPPクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> 3G(HSPA)	<input checked="" type="checkbox"/> ISD
	<input checked="" type="checkbox"/> ダイナミックDNS	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバー	<input checked="" type="checkbox"/> AOSS
	<input checked="" type="checkbox"/> 無線	<input checked="" type="checkbox"/> 認証
	<input checked="" type="checkbox"/> 設定変更	<input checked="" type="checkbox"/> システム起動
	<input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント	<input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク
	<input checked="" type="checkbox"/> SD	<input checked="" type="checkbox"/> システム

パラメーター	説明
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。 (初期値:使用しない)
syslog サーバー	syslog サーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IP アドレスのいずれかで設定します。(半角英数字と「.」「-」で 255 文字まで入力できます) (初期値:空欄)
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。 (初期値: アドレス変換、IP フィルター、ファイアウォール、PPP クライアント、3G(HSPA)、ISD、ダイナミック DNS、DHCP クライアント、DHCP サーバー、AOSS、無線、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク、SD、システム)

保存 / 復元

本商品の設定を保存したり、設定ファイルから設定を復元する画面です。

⇒ 管理設定 - 保存 / 復元

現在の設定の保存	<input type="button" value="保存"/> <input type="checkbox"/> 設定情報ファイルをパスワードで暗号化する
保存した設定の復元	設定ファイル <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="復元"/> <input type="checkbox"/> 設定ファイルの復元にパスワードが必要

パラメーター	説明
現在の設定の保存	[保存]をクリックすると、本商品の現在の設定をファイルに保存します。「設定情報ファイルをパスワードで暗号化する」にチェックマークを付けると、設定情報ファイルにパスワードを付けて保存します。
保存した設定の復元	[参照]で設定ファイルを指定して[復元]をクリックすると、保存された設定ファイルから、本商品の設定を復元します。設定ファイルにパスワードが設定されている場合は、「設定ファイルの復元にパスワードが必要」にチェックマークを付けて、パスワードを入力してください。

初期化 / 再起動

本商品を初期化したり、再起動するための画面です。

⇒ 管理設定 - 初期化 / 再起動

再起動	BF-01Bを再起動します。 <input type="button" value="再起動"/>
設定初期化	BF-01Bの設定を初期化し、再起動します。 <input type="button" value="設定初期化"/>

パラメーター	説明
再起動	クリックすると、本商品が再起動します。
設定初期化	クリックすると、本商品の設定が初期化され、再起動します。

ステータス

システム

本商品のシステム情報を確認する画面です。

⇒ ステータス - システム

製品名	BF-01B Ver.XXX(RXX/BXXXXXX)MWE)XXXX	
機器名	APXXXXXXX	
外部接続	クレードル接続中(LANポートとして動作)	
電源	100V(AC/USB接続)	
Internet接続モード	3G/HSPA	
Internet(無線LAN)	接続状態	無効
	プロファイル名	
Internet(3G/HSPA)	MACアドレス	XXXXXXXXXXXX
	接続状態	通信中
	ネットワーク	NTT DOCOMO
	電話番号	XXXXXXXXXXXX
	APN(アクセスポイント)	mopera.flat.foma.ne.jp
	電波状態	強
	IPアドレス取得方法	PPP
LAN	IPアドレス	XXXXXXXXXXXX
	DNS1(プライマリー)	XXXXXXXXXXXX(自動取得)
	DNS2(セカンダリー)	XXXXXXXXXXXX(自動取得)
	IMEI	XXXXXXXXXXXX
無線(802.11g)	IPアドレス	192.168.131
	サブネットマスク	255.255.255.0
	DHCPサーバー	有効
	MACアドレス	XXXXXXXXXXXX
無線(802.11g)	無線状態	制限なし
	SSID	XXXXXXXXXXXX
	認証方式	WPA/WPA2 mixedmode - PSK
	暗号化	TKIP/AES mixedmode
	ANY接続	許可する
	ブライド/シーセパレーター	使用しない
	無線チャンネル	6チャンネル(自動設定)
	接続端末数	0台
MACアドレス	XXXXXXXXXXXX	

現在の状態を表示

パラメーター

説明

製品名	本商品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
機器名	機器名(P63)が表示されます。
外部接続	外部接続の状態が表示されます。
電源	電源の状態が表示されます。
Internet 接続モード	Internet 接続モードが表示されます。
Internet(無線LAN)	Internet(無線LAN)の状態が表示されます。

パラメーター	説明
Internet (3G/HSPA)	Internet (3G/HSPA) の状態が表示されます。
LAN	LAN ポートの情報が表示されます。
無線 (802.11g)	無線の状態が表示されます。

ログ

本商品に記録されているログ情報を確認する画面です。

⇒ ステータス - ログ

表示するログ情報

<input checked="" type="checkbox"/> アドレス変換	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター
<input checked="" type="checkbox"/> ファイアウォール	<input checked="" type="checkbox"/> PPPクライアント
<input checked="" type="checkbox"/> 3G(HSPA)	<input checked="" type="checkbox"/> ISD
<input checked="" type="checkbox"/> ダイナミックDNS	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント
<input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバー	<input checked="" type="checkbox"/> AOSS
<input checked="" type="checkbox"/> 無線	<input checked="" type="checkbox"/> 認証
<input checked="" type="checkbox"/> 設定変更	<input checked="" type="checkbox"/> システム起動
<input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント	<input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク
<input checked="" type="checkbox"/> SD	<input checked="" type="checkbox"/> システム

表示
全てチェックする
全てチェック外す

ログ情報

ファイル(logfile.log)に保存する
消去

日付時刻	種類	ログ内容
2010/12/31 19:52:04	DHCPS	sending ACK to 192.168.13.2
2010/12/31 19:52:04	DHCPS	Request incoming from pc(len:11)
2010/12/31 19:52:04	DHCPS	sending OFFER of 192.168.13.2 pc
2010/12/31 19:52:04	DHCPS	Request incoming from pc(len:11)

パラメーター	説明
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。 (初期値: アドレス変換、IP フィルター、ファイアウォール、PPP クライアント、3G (HSPA)、ISD、ダイナミック DNS、DHCP クライアント、DHCP サーバー、AOSS、無線、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク、SD、システム)
ログ情報	本商品に記録されているログ情報が表示されます。 (初期値: なし) ※ [ファイル(logfile.log)に保存する]をクリックすると、現在のログ情報をファイルに保存できます。

通信パッケージ

本商品が通信したパッケージの合計を確認する画面です。

⇒ ステータス - 通信パッケージ

インターフェース	送信パッケージ数		受信パッケージ数	
	正常	エラー	正常	エラー
LAN側有線	5294	0	4238	0
LAN側無線(802.11g)	498	0	70	0
Internet(3G/HSPA)	10	0	32	0
Internet(無線LAN)	0	0	0	0

現在の状態を表示

パラメーター	説明
送信パッケージ数	LAN 側有線、LAN 側無線(802.11g)、Internet(3G/HSPA)、Internet(無線LAN)に送信したパッケージ数とエラーパッケージ数が表示されます。
受信パッケージ数	LAN 側有線、LAN 側無線(802.11g)、Internet(3G/HSPA)、Internet(無線LAN)から受信したパッケージ数とエラーパッケージ数が表示されます。

クライアントモニター

本商品と通信している機器を確認する画面です。

⇒ ステータス - クライアントモニター

MACアドレス	リースIPアドレス	ホスト名	通信方式	無線認証
XXXXXXXXXXXXXXXX	192.168.13.2	xxxxxxxxxx	有線	-

現在の状態を表示

パラメーター	説明
クライアントモニター	本商品と通信している機器の情報(MAC アドレス、リース IP アドレス、ホスト名、通信方式、無線認証)が表示されます。

診断

本商品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。

⇒ ステータス - 診断

宛先アドレス

実行

実行結果

宛先	192.168.13.2
実行結果	64 bytes from 192.168.13.2: icmp_seq=0 ttl=128 time=3.3 ms 64 bytes from 192.168.13.2: icmp_seq=1 ttl=128 time=3.2 ms 64 bytes from 192.168.13.2: icmp_seq=2 ttl=128 time=2.9 ms

パラメーター	説明
宛先アドレス	接続確認を行う機器の IP アドレス、またはホスト名を入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。 (初期値: 空欄)

2

本商品の各種設定

コンテンツの自動ダウンロード機能を使用する

コンテンツの自動ダウンロード機能を使用すると、あらかじめ設定した内容に従ってコンテンツを本商品に取り付けた microSD カードにダウンロードすることができます。

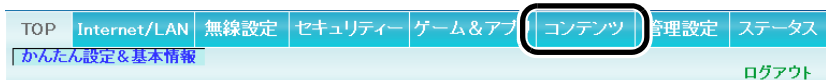
設定は以下の手順で行います。

- 注意**
- 各種コンテンツ（「専用コンテンツ」、「Podcast」、「巡回サイトコンテンツ」）の具体的なサービス内容については、各サービス提供事業者にお問い合わせください。
 - コンテンツを初めて microSD カードにダウンロードする場合は、[ダウンロードする] ボタンをクリックしてください。
 - 自動ダウンロード機能は、お買い上げ時は 3G/HSPA インターフェースからダウンロードしないように設定されています。

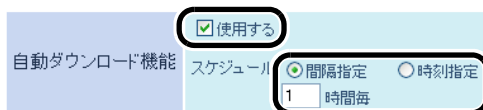
専用コンテンツのダウンロード

1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

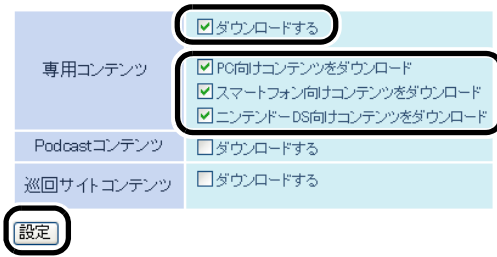
2 設定画面が表示されたら、[コンテンツ]をクリックします。



3 自動ダウンロード機能の「使用する」にチェックマークを付け、ダウンロードスケジュールを設定します。



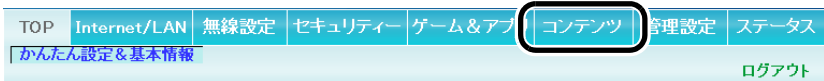
- 4 専用コンテンツで「ダウンロードする」にチェックマークを付け、ダウンロードするコンテンツを選択し、[設定]をクリックします。



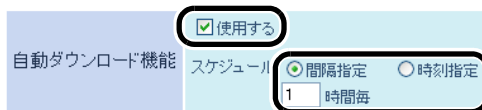
以上で設定は完了です。

Podcast コンテンツのダウンロード

- 1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、[コンテンツ]をクリックします。



- 3 自動ダウンロード機能の「使用する」にチェックマークを付け、ダウンロードスケジュールを設定します。



- 4 Podcast コンテンツで「ダウンロードする」にチェックマークを付け、コンテンツ毎の容量、コンテンツ毎の保存件数、Podcast 名、取得先(フィールド URL)を設定し、[設定]をクリックします。

Podcastコンテンツ

ダウンロードする

お勧めリストの自動取得

コンテンツ毎の容量 10M bytesまで

コンテンツ毎の保存件数 3件

Podcast名

取得先(フィールドURL)

1: 有効

2: 有効

3: 有効

4: 有効

5: 有効

6: 有効

7: 有効

8: 有効

9: 有効

10: 有効

巡回サイトコンテンツ

ダウンロードする

設定

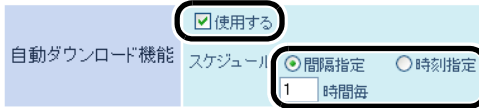
以上で設定は完了です。

巡回サイトコンテンツのダウンロード

- 1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、[コンテンツ]をクリックします。



- 3 自動ダウンロード機能の「使用する」にチェックマークを付け、ダウンロードスケジュールを設定します。



自動ダウンロード機能

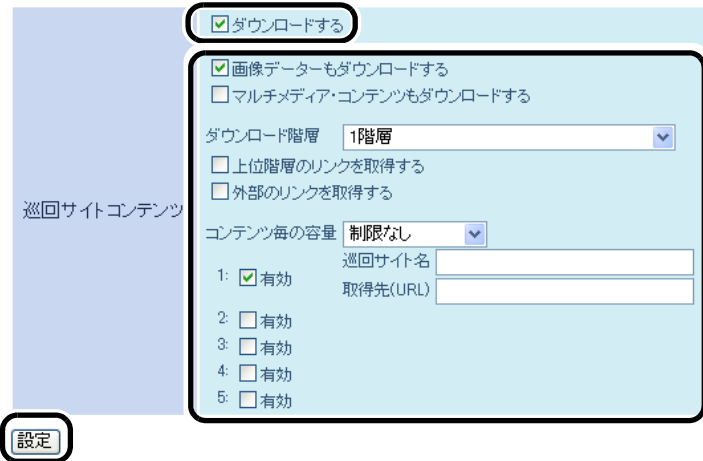
使用する

スケジュール

間隔指定 時刻指定

1 時間毎

- 4 巡回サイトコンテンツで「ダウンロードする」にチェックマークを付け、ダウンロードする内容や階層、コンテンツ毎の容量、巡回サイト名、取得先(URL)を設定し、[設定]をクリックします。



巡回サイトコンテンツ

ダウンロードする

画像データもダウンロードする

マルチメディアコンテンツもダウンロードする

ダウンロード階層 1階層

上位階層のリンクを取得する

外部のリンクを取得する

コンテンツ毎の容量 制限なし

巡回サイト名

取得先(URL)

1: 有効

2: 有効

3: 有効

4: 有効

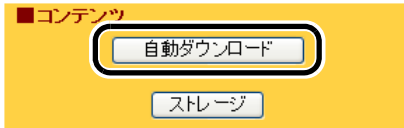
5: 有効

設定

以上で設定は完了です。

ダウンロードしたコンテンツの視聴

- 1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、[自動ダウンロード]をクリックします。



- 3 「ダウンロードコンテンツ参照」画面が表示されたら、ダウンロードしたコンテンツのリンクをクリックします。
(リンクをクリックすると、コンテンツの内容が表示されます。)

以上で設定は完了です。

コンテンツの自動アップロード機能を使用する

コンテンツの自動アップロード機能を使用すると、本商品に取り付けたmicroSDカード内のコンテンツを、あらかじめ設定した内容に従ってオンライン・ストレージサービスにアップロードすることができます。

設定は以下の手順で行います。

- △注意**
- 各種コンテンツ（「Picasa™WEB アルバム」、「Flickr」、「フォト蔵」）の具体的なサービス内容や事前登録などについては、各サービス提供事業者にお問い合わせください。
 - 自動アップロード機能は、お買い上げ時は3G/HSPA インターフェースからアップロードしないように設定されています。

Picasa™ WEB アルバムへのアップロード

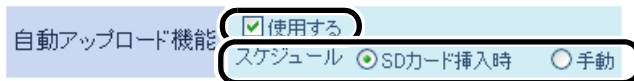
- 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 設定画面が表示されたら、[コンテンツ]をクリックします。



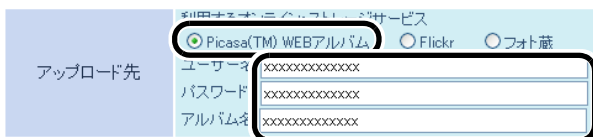
- [自動アップロード]をクリックします。



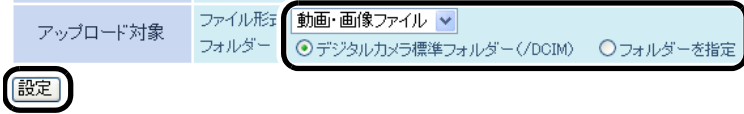
- 自動アップロード機能の「使用する」にチェックマークを付け、アップロードスケジュールを設定します。



- 「Picasa(TM)WEB アルバム」を選択し、Picasa™ WEB アルバム契約時に登録したユーザー名、パスワード、アルバム名を入力します。



6 アップロード対象を設定し、[設定]をクリックします。



以上で設定は完了です。

Flickr へのアップロード

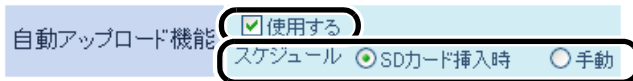
- 1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、[コンテンツ]をクリックします。



- 3 [自動アップロード]をクリックします。



- 4 自動アップロード機能の「使用する」にチェックマークを付け、アップロードスケジュールを設定します。



- 5 「Flickr」を選択し、Flickr の認証ページから通知された mini-token を入力し、[認証]をクリックします。認証が完了したら、アルバム名を入力します。

アップロード先	利用するオンライン・ストレージサービス
	<input type="radio"/> Picasa(TM) WEBアルバム <input checked="" type="radio"/> Flickr <input type="radio"/> フォト蔵
	認証ページ
mini-token	xxx-xxx-xxx
	<input type="button" value="認証"/> <input type="button" value="認証破棄"/>
アルバム名	xxxxxxxxxxxxxx

- 6 アップロード対象を設定し、[設定]をクリックします。

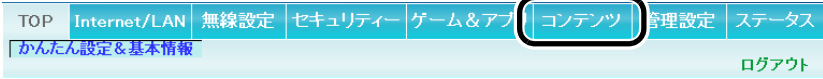
アップロード対象	ファイル形式	動画・画像ファイル
	フォルダー	<input checked="" type="radio"/> デジタルカメラ標準フォルダー（/DCIM） <input type="radio"/> フォルダーを指定
	<input type="button" value="設定"/>	

以上で設定は完了です。

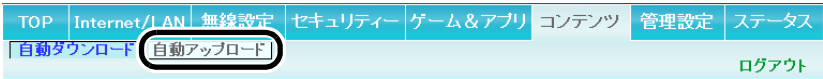
フォト蔵へのアップロード

1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

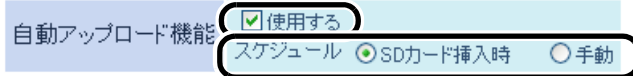
2 設定画面が表示されたら、[コンテンツ]をクリックします。



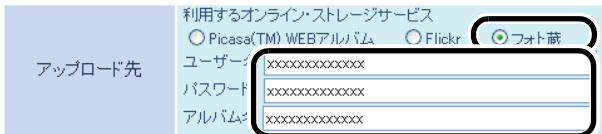
3 [自動アップロード]をクリックします。



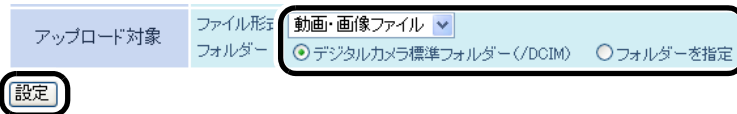
4 自動アップロード機能の「使用する」にチェックマークを付け、アップロードスケジュールを設定します。



5 「フォト蔵」を選択し、フォト蔵契約時に登録したユーザー名、パスワード、アルバム名を入力します。



6 アップロード対象を設定し、[設定]をクリックします。



以上で設定は完了です。

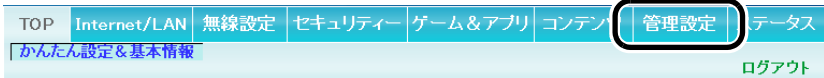
省電力設定をする

省電力機能を使用すると、本商品に接続している機器がすべて切断された際に、本商品をスタンバイ状態またはシャットダウンして節電することができます。

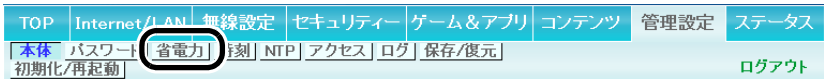
設定は以下の手順で行います。

1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[管理設定]をクリックします。



3 [省電力]をクリックします。



4 システム・スタンバイまたは、自動パワーオフの時間を設定して、[設定]をクリックします。



電源供給時や有線ポート接続時は、スタンバイ状態へ移行、またはシャットダウンを行いません。

以上で設定は完了です。

USB ストレージ機能を使用する

USB ストレージ機能を使用すると、本商品に取り付けた microSD カードに直接データを保存したり、データを読み出すことができます。

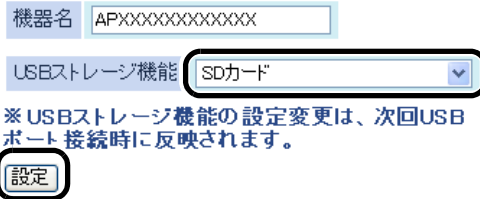
設定は以下の手順で行います。

▲注意 本商品に付属の取扱説明書を参照して、あらかじめ microSD カードを本商品に取り付けておいてください。

- 1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、[管理設定]をクリックします。



- 3 USB ストレージ機能で「SD カード」を選択し、[設定]をクリックします。



- 4 本商品に付属の取扱説明書を参照して、USB ケーブルで本商品とパソコンを接続します。

🔌 USB からの給電の仕様上、必ず添付の USB ケーブルを使用し、パソコン側の USB ポート 2 つに接続してください。1 ポートだけでは正常に充電できず、思わぬ事故につながる可能性があります。


- 5 (マイ) コンピューターを開き、[リムーバブルディスク]をクリックすると、本商品に取り付けた microSD カードにアクセスできます。

以上で設定は完了です。

AOSS 接続で設定された内容を確認する

自動設定(AOSS)で設定された内容(SSID や暗号化設定)は、以下の手順で確認することができます。

1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、 をクリックします。



3 AOSS 接続で設定された内容(SSID や暗号化設定)が表示されます。

現在のセキュリティー情報802.11g

暗号化レベル	WPA-PSK-AES (現在使用中)		
SSID	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXXXXXX"/>		
暗号化キー	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXX"/>		
暗号化レベル	WPA-PSK-TKIP		
SSID	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXXXXXX"/>		
暗号化キー	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXX"/>		
暗号化レベル	WEP128		
SSID	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX"/>		
暗号化キー	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXXXXXX"/>	(送信キー)	
	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXXXXXX"/>		
	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXXXXXX"/>		
	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXXXXXX"/>		
暗号化レベル	WEP64		
SSID	<input type="text" value="XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX"/>		
暗号化キー	<input type="text" value="XXXXX"/>	(送信キー)	
	<input type="text" value="XXXXX"/>		
	<input type="text" value="XXXXX"/>		
	<input type="text" value="XXXXX"/>		

ランダム KEYベース リセット

設定

AOSS 接続先情報

接続先情報	MACアドレス	対応暗号化方式	無線	接続設定
XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WEP64/WEP128 WPA-PSK-TKIP/WPA-PSK-AES	802.11g	許可

AOSS接続先情報の編集

イーサネットコンバータのAOSS設定情報

接続先情報	MACアドレス	対応暗号化方式
-------	---------	---------


- メモ ・「現在のセキュリティ情報」欄の「暗号化レベル」で「現在使用中」と書かれたものが現在有効になっている設定です。
- ・ AOSS 接続によって生成された SSID や暗号化キーは、上記の画面で任意のものに変更することができます。

以上で設定内容の確認は完了です。

iPad や iPod touch やゲーム機との無線接続設定をする

ニンテンドーDS や PSP®「プレイステーション・ポータブル」を本商品に無線接続した後で、iPad や iPod touch を本商品に無線接続しようとする、別紙のモバイル機器接続ガイドに記載の手順では接続できないことがあります。これは、ゲーム機と本商品を AOSS 接続することで、本商品に設定されていた SSID や暗号化キーが変更されたためです。この場合、後から無線接続する機器は、以下の手順で接続する必要があります。

1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、 をクリックします。




- 3** AOSS 接続で設定された内容 (SSID や暗号化設定) が表示されますので、「現在使用中」となっている暗号化レベル、SSID、暗号化キーを控えます。

現在のセキュリティ情報^{802.11g}

暗号化レベル	WPA-PSK-AES	
SSID	XXXXXXXXXXXXXXXX-1	
暗号化キー	XXXXXXXXXXXX	
暗号化レベル	WPA-PSK-TKIP	
SSID	XXXXXXXXXXXXXXXX	
暗号化キー	XXXXXXXXXXXX	
暗号化レベル	WEP128 (現在使用中)	
SSID	XX	
暗号化キー	XX	(送信キー)
	XX	
	XX	
	XX	
暗号化レベル	WEP64	
SSID	XX	
暗号化キー	XXXXXXXXXX	(送信キー)
	XXXXXXXXXX	
	XXXXXXXXXX	
	XXXXXXXXXX	

- 4** 上記の手順 3 で控えた暗号化レベル、SSID、暗号化キーを使って、本商品に無線接続します。

 無線接続の方法は、別紙のモバイル機器接続ガイドや各機器の取扱説明書を参照してください。

以上で設定内容の確認は完了です。


AOSS 接続を無効にする

「他の無線機器から本商品を検索できないようにする (ANY 接続拒否)」(P.93) や「アクセス可能な無線機器を制限する (MAC アクセス制限)」(P.95) の設定を行うには、いったん AOSS 接続を以下の手順で無効にする必要があります。


AOSS 接続を無効にすると、本商品の SSID や暗号化キーは、AOSS 接続を行う前の値に戻るとともに、本商品に接続していたすべての無線機器が本商品と切断されます。

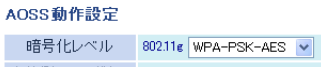
再度無線機器を本商品に接続するには、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 「設定画面を表示する」(P.7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、 をクリックします。



3  をクリックします。



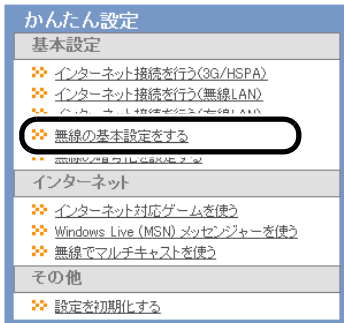
以上で設定は完了です。

無線チャンネルを変更する

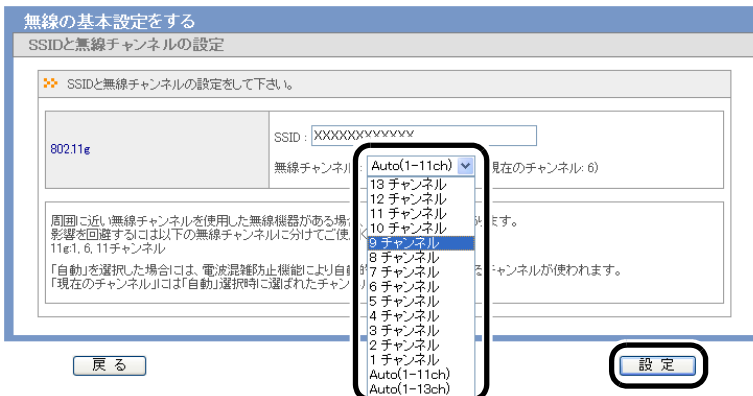
本商品は、電波混雑防止機能により他の無線機器が使用していないチャンネルを検索して自動的に割り当てるため、通常はチャンネルを設定する必要はありません。ただし周囲に多くの無線機器がある場合、チャンネルが正しく設定されず、電波干渉が発生して転送速度が低下してしまうことがあります。その場合は、以下の手順で手動でチャンネルを設定してください。

- △注意**
- 設定するチャンネルによっては、他の無線機器と電波干渉を起こすことがあります。
 - 隣接する無線機器に異なるチャンネルを設定するとき、隣りあったチャンネルなどの近い周波数では、互いに干渉し転送速度が低下してしまうことがあります。


- 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「無線の基本設定をする」をクリックします。




- 無線チャンネルを選択して[設定]をクリックします。



第2章 本商品の各種設定

 隣接する無線機器と干渉しないよう、4チャンネル以上間隔をあけて設定してください。

4 [設定完了]をクリックします。

 無線機器から設定を行っている場合は、本商品との接続が一時的に切断されます。しばらくすると、自動的に無線親機に再接続され、通信できるようになります。

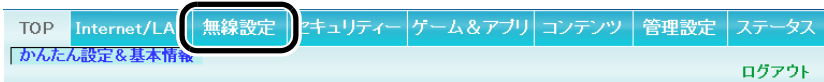
以上で設定は完了です。

他の無線機器から本商品を検索できないようにする (ANY 接続拒否)

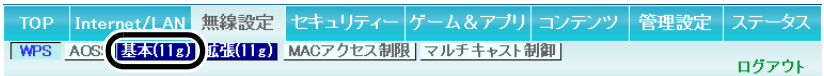
本商品に無線で接続するには、SSID と暗号化キーが必要です。一般に SSID は、ユーティリティを使って特定することができるため、暗号化キーを設定していない場合、外部からの不正アクセスを受けることがあります。以下の設定をおこなうと、ユーティリティによるSSIDの特定ができなくなるため、SSID を知っている方のみ接続できるようになります。

- 注意**
- 自動設定 (AOSS) で本商品に無線機器を接続している場合、すでに暗号化の設定がされているため、ANY 接続拒否の設定は必要ありません。暗号化の設定をしない場合や、手動で暗号化を設定している場合は、以下の手順で ANY 接続拒否の設定をすることができます。
 - 自動設定 (AOSS) と ANY 接続拒否は同時に使用できません。ANY 接続拒否を設定する場合は、「AOSS 接続を無効にする」(P90) を参照して設定を変更してください。また、ANY 接続拒否の設定を行った後に自動設定を行うと、ANY 接続が「許可」に変更されます。あらかじめご了承ください。

- 1 「AOSS 接続を無効にする」(P90) を参照して、本商品の設定を変更します。
- 2 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 3 設定画面が表示されたら、[無線設定]をクリックします。



- 4 [基本(11g)]をクリックします。



- 5 ANY 接続の[許可する]をクリックし、チェックマークを外して[設定]をクリックします。

無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> BF-01BのMACアドレスを設定(XXXXXXXXXXXXXXXX) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
無線チャンネル	Auto(1-11ch) (現在のチャンネル: 6)
ANY接続	<input type="checkbox"/> 許可する
無線の認証	WPA/WPA2 mixedmode - PSK
無線の暗号化	TKIP/AES mixedmode
WPA-PSK(事前共有キー)	<input type="text"/>
Key更新間隔	60 分

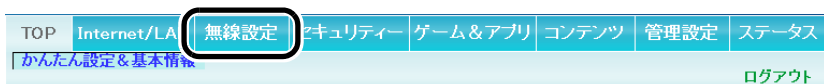
以上で設定は完了です。

アクセス可能な無線機器を制限する (MAC アクセス制限)

本商品に接続する無線機器の MAC アドレスをあらかじめ登録しておき、その機器のみ本商品へのアクセスを許可することができます。設定は以下の手順で行います。

注意 自動設定 (AOSS) と MAC アクセス制限は同時に使用できません。MAC アクセス制限を設定する場合は、「AOSS 接続を無効にする」(P90) を参照して本商品の設定を変更してください。

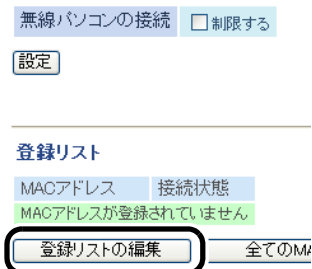
- 1 「AOSS 接続を無効にする」(P90) を参照して、本商品設定を変更します。
- 2 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 3 設定画面が表示されたら、[無線設定] をクリックします。



- 4 [MAC アクセス制限] をクリックします。



- 5 [登録リストの編集] をクリックします。



- 6 無線で接続できる機器と、接続できない機器を指定します。「検出された無線パソコン一覧」には、現在接続されている無線機器の MAC アドレスが表示されています。ここで、接続可能にする機器の MAC アドレスのみを[登録]をクリックして登録します。

編集を終了して前の画面へ戻る

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス

新規追加

登録リスト

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXX	MACアドレスが登録されていません

検出された無線パソコン一覧

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXX	<input type="button" value="登録"/>

現在の状態を表示

「検出された無線パソコン一覧」に表示されていない機器を登録する場合は、「登録する MAC アドレス」欄に接続する機器の MAC アドレスを入力し、[新規追加]をクリックします。MAC アドレスを入力するときは、2桁ずつコロン(:)で区切って入力します。登録できる MAC アドレスは6個までです。

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス

新規追加

7 登録が終わったら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

編集を終了して前の画面へ戻る

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス

新規追加

登録リスト

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXXXXXX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
XXXXXXXXXXXXXXXX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
XXXXXXXXXXXXXXXX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>

検出された無線パソコン一覧

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXXXXXX	---

現在の状態を表示する

8 「制限する」をクリックしてチェックマークを付け、[設定]をクリックします。

無線パソコンの接続 制限する

設定

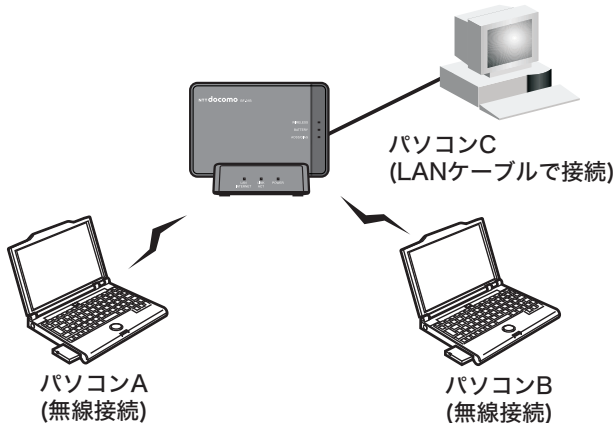
9 「無線パソコンの MAC アクセス制限を有効にします」と表示されたら、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

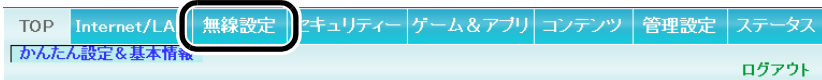
無線機器同士の通信を禁止する(プライバシーセパレーター)

プライバシーセパレーター機能を使用すると、本商品に接続している無線機器同士のアクセス(共有フォルダーなどへのアクセス)を禁止することができます。

メモ 本商品に LAN ケーブルを使って接続している機器がある場合は、プライバシーセパレーターを有効にしても、アクセスを禁止することはできません。例えば、以下の図のような接続の場合、プライバシーセパレーターを有効にすることで、パソコン A - B 間で共有フォルダーへのアクセスはできなくなりますが、パソコン A - C 間やパソコン B - C 間はアクセス可能となります。



- 1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、[無線設定]をクリックします。



- 3 [拡張]をクリックします。



- 4 「プライバシーセパレーター」欄の「使用する」をクリックしてチェックマークを付け
[設定]をクリックします。

DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
送信出力	Auto

以上で設定は完了です。

ポートを開放する

ポート変換設定を行うと、インターネットゲームを楽しんだり各種サーバー公開することができます。

- メモ** サーバーを公開する場合、固定グローバル IP アドレスの取得およびプロバイダと別途契約が必要な場合があります。

以降の手順はお使いの環境によって異なります。

- ・ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合 (P100)
- ・利用するポート番号が不明な場合 (P103)

ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合

1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[ゲーム&アプリ]をクリックします。



3 各項目を設定し、[新規追加]をクリックします。

ポート変換の新規追加

グループ	新規追加 <input type="text" value="新規追加 group1"/>
Internet側IPアドレス	EF-01BのInternet側IPアドレス <input type="text" value="手動設定"/>
プロトコル	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> ICMP <input type="radio"/> 任意 <input type="text" value="プロトコル番号"/> <input checked="" type="radio"/> TCP/UDP <input type="text" value="HTTP(TCPポート:80) 指定の仕方"/> <input type="text" value="任意のTCP/UDPポート"/>
LAN側IPアドレス	<input type="text" value="192.168.13.2"/>
LAN側ポート	<input type="text" value="TCP/UDPポート"/>

グループ:

登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択すると、新たなグループを作成し、そのグループに追加されます。新規追加時には半角英数字で 16 文字までのグループ名を付けることが可能です。

Internet 側 IP アドレス:

公開する各種サーバーの固定グローバル IP アドレスを設定します。

Internet 側 IP アドレスを PPPoE サーバーから取得している場合は各 PPPoE 接続先の Internet 側 IP アドレスを設定します。

手動設定を選択したときは、手動設定欄に IP アドレスを指定する必要があります。

プロバイダから複数の固定グローバル IP アドレス指定を受けている場合には、「手動設定」で本商品の Internet 側 IP アドレスに設定してあるアドレス以外のグローバル IP アドレスを設定することが可能です。

プロトコル:

アドレス変換機能を使用するポートの種類を選択します。[TCP/UDP]を選択したときは、ポートを設定します。


LAN 側 IP アドレス:

インターネットからのアクセスの宛先となるプライベート IP アドレスを設定します。

LAN 側ポート:

変換プロトコルで TCP/UDP を指定し、単独のポート番号を指定したときは、LAN 側のポート番号を変更することができます。

以上の設定の組み合わせにより、最大 32 種類の組み合わせを設定できます。

 **メモ** WWW(HTTP)サーバーを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意の LAN 側の WWW サーバー IP アドレスに転送できます。

グループ:

任意の名称(例:group1)を入力します。

Internet 側 IP アドレス:

[BF-01B の Internet 側 IP アドレス]を選択します。

プロトコル:

TCP/UDP を選択し、[HTTP(TCP ポート:80)]を選択します。

(任意の TCP/UDP ポートは空欄)

LAN 側 IP アドレス:

サーバー IP アドレス(例:192.168.13.2)を入力します。

LAN 側ポート:

空欄にします。

4 設定内容が登録されていることを確認します。

ポート変換登録情報

グループ	Internet側IPアドレス LAN側IPアドレス	プロトコル LAN側ポート	操作
group1	BF-01BのInternet側IPアドレス 192.168.132	HTTP(TCPポート:80) HTTP(TCPポート:80)	OFF <input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>

以上で設定は完了です。

利用するポート番号が不明な場合

1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

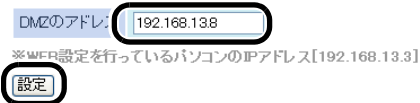
2 設定画面が表示されたら、[ゲーム&アプリ]をクリックします。



3 [DMZ]をクリックします。



4 DMZ のアドレスを設定し、[設定]をクリックします。



DMZ のアドレス:

インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデータが転送される LAN 上の IP アドレス(DMZ アドレス)を1つ設定します。ここで設定された IP アドレスの機器でのみ、ネットワークゲームなどを利用できます。

- ☑️ **メモ** ・ポート変換の設定で[LAN側IPアドレス]を設定した場合は、そちらの設定が優先されます。
- ・DMZ を使用する場合は、機器側の IP アドレスをここで設定した値に固定する必要があります。
- ・使用するソフトや契約しているプロバイダによっては、DMZを設定してもソフトウェアが動作しない場合があります。
- ・DMZ に設定した機器は、他のパソコンに比べてセキュリティーが低下するため、重要なデータなどをその機器に保存しないことをおすすめします。
- ・安全のため、ファイアウォールの設定画面(P50)で、「Windows 共有プロトコルのルーティングを禁止する」を有効にしておくことをおすすめします。

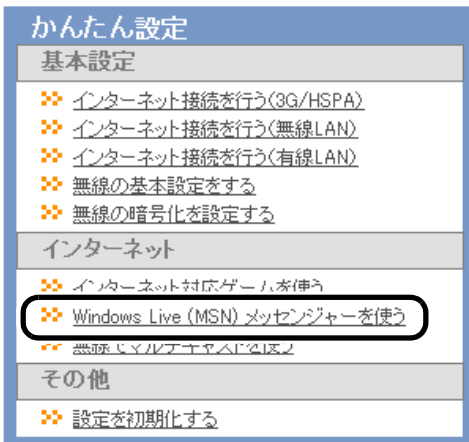
以上で設定は完了です。

Windows Live (MSN) メッセンジャーを使う

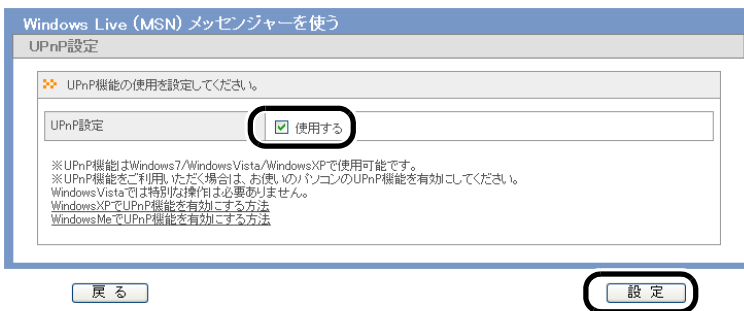
Windows Live メッセンジャーや MSN メッセンジャーを利用する場合は、以下の設定を行ってください。

- ▲注意**
- Windows Live メッセンジャーや MSN メッセンジャーは、ドコモの定額データプランの定額通信では、ご利用できません。
 - 二重ルータ環境では、オンラインゲーム、インスタント・メッセンジャー、UPnP 対応ソフトなどで正常に通信できない場合があります。

- 1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、[Windows Live (MSN) メッセンジャーを使う]をクリックします。



- 3 UPnP 設定で「使用する」にチェックマークを付けて、[設定]をクリックします。



4 [設定完了]をクリックします。

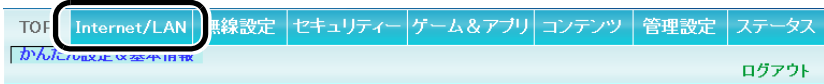
以上で設定は完了です。

DHCP サーバー機能 (IP アドレス自動割当機能) の設定を変更する

IP アドレスの割り当て台数を変更する場合は、以下の手順で行います。

1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[Internet/LAN] をクリックします。



3 [LAN] をクリックします。



4 IP アドレスの割り当て台数を変更し、[設定] をクリックします。

LAN側IPアドレス	IPアドレス	192.168.13.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
割り当てIPアドレス	192.168.13.2	から 100 台
	除外IPアドレス: <input type="text"/>	

DHCPサーバー設定 [拡張設定]

拡張設定 表示する

設定

以上で設定は完了です。

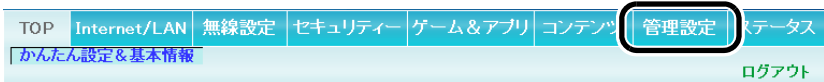
設定画面のパスワードを設定する

本商品の設定画面にパスワードを設定すると、本商品の管理者だけが設定内容を変更できるようになります。パスワードは、以下の手順で設定することができます。

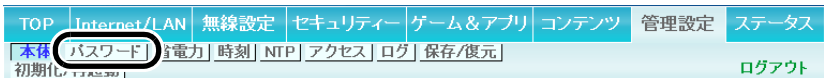
- ☑ **メモ** ・ パスワードを忘れると、本商品の設定画面にログインできなくなりますので、メモをするなどして控えておいてください。
- ・ パスワードを忘れてしまった場合は、リセットスイッチを押して、設定を初期化してください。（初期化すると、パスワード以外の設定も初期値に戻ります）

1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

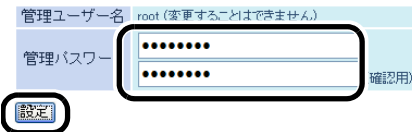
2 設定画面が表示されたら、[管理設定]をクリックします。



3 [パスワード]をクリックします。



4 管理パスワードを入力して、[設定]をクリックします。



- 5 以下の画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードに手順 4 で設定したパスワードを入力して[OK]をクリックします。

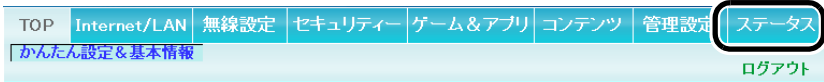


以上で設定は完了です。

本商品のファームウェアバージョンを確認する

本商品のファームウェアのバージョンは、以下の手順で確認することができます。

- 1 「設定画面を表示する」(P7) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、[ステータス]をクリックします。



- 3 ファームウェアのバージョンを確認します。

製品名	BF-01B Ver.XXX (RXXX/BXXXXXX(_XXXWWE_XXXX))
機器名	APXXXXXXX
外部接続	クレードル接続中(LANポートとして動作)

❏メモ 「製品名」欄の「Ver.x.xx」の部分がファームウェアのバージョンです。

以上で設定は完了です。

MEMO

3

付属ソフトの使いかた

ソフトウェア概要

本商品本体に収録されているソフトウェアは、本商品の設定画面を表示したり、無線機能を内蔵したパソコンを本商品に接続したりするソフトウェアです。ここでは付属ソフトウェアの概要を説明します。

エアステーション設定ツール

エアステーション設定ツールは、本商品の設定画面を簡単に表示するためのソフトウェアです。本商品とパソコンを接続して、エアステーション設定ツールを実行すると、本商品の設定画面を表示することができます。

クライアントマネージャ

クライアントマネージャは、パソコンを本商品に簡単に無線接続するためのソフトウェアです。クライアントマネージャをパソコンにインストールすると、本商品のAOSSボタンとクライアントマネージャ上のAOSSボタンを押すだけで、本商品とパソコンを無線接続することができます。

※ クライアントマネージャは、すべての無線内蔵パソコンについて動作保証するものではありません。

インストール方法

付属ソフトウェアのインストール方法は、本商品に付属の取扱説明書を参照してください。

エアステーション設定ツールの使いかた

起動と終了のしかた

■起動方法

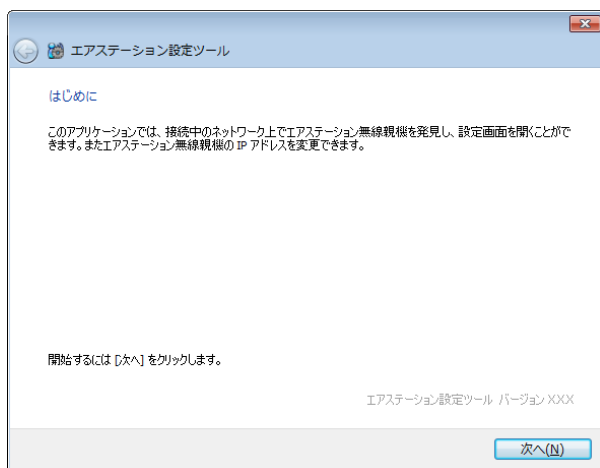
[スタート] - [(すべての)プログラム] - [BUFFALO] - [エアステーションユーティリティ] - [エアステーション設定ツール]の順にクリックすると、エアステーション設定ツールが起動します。

■終了方法

画面右上の[×]をクリックするとエアステーション設定ツールが終了します。

トップ画面

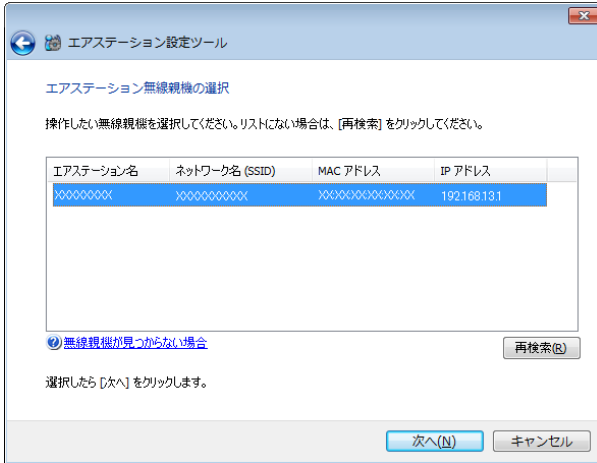
エアステーション設定ツールを起動したときの画面です。



パラメーター	説明
[次へ]	クリックすると、ネットワーク上の本商品が検索され、無線親機の選択画面 (P113) が表示されます。

無線親機の選択画面

設定対象の本商品を選択する画面です。ネットワーク上に本商品が複数設置されている場合、この画面で設定対象を選択します。

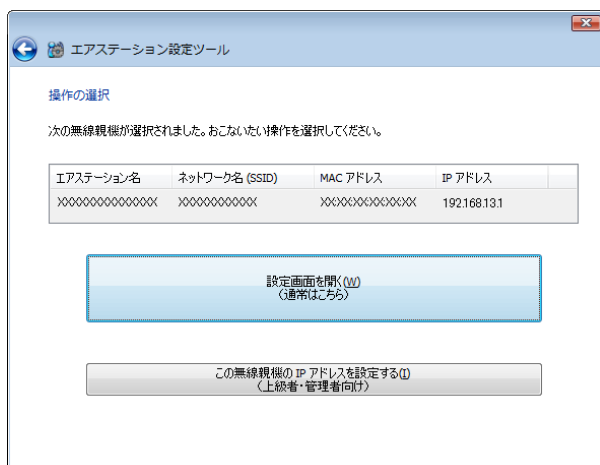


パラメーター	説明
エアステーション名	本商品に設定されている機器名が表示されます。
ネットワーク名	本商品の SSID が表示されます。
MAC アドレス	本商品の MAC アドレスが表示されます。
IP アドレス	本商品の IP アドレスが表示されます。
[再検索]	クリックすると、ネットワーク上の本商品が再度検索されます。
[次へ]	クリックすると、操作の選択画面 (P114) が表示されます。
[キャンセル]	設定を中断する場合にクリックします。

- メモ** 本商品の SSID は、本体背面のラベルで確認できます。ラベルの位置は、本商品に付属の取扱説明書を参照してください。

操作の選択画面

無線親機を選択画面 (P113) で選択した本商品に対して行う操作を選択する画面です。設定画面の表示、および本商品の IP アドレスの変更を行うことができます。



パラメーター

説明

【設定画面を開く】

設定を行っているパソコンと本商品の IP アドレスのセグメントが同じ場合は、クリックすると、本商品の設定画面が WEB にて表示されるとともに、完了画面 (P115) が表示されます。

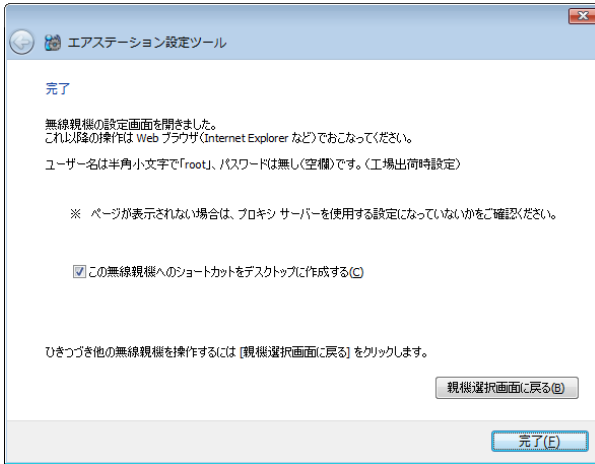
設定を行っているパソコンと本商品の IP アドレスのセグメントが異なる場合は、クリックすると、IP アドレス設定画面 (P116) が表示されます。

【この無線親機の IP アドレスを設定する】

クリックすると、無線親機の IP アドレス設定画面 (P118) が表示されます。

完了画面

操作の選択画面 (P114) から本商品の設定画面にアクセスした際に表示される画面です。



パラメーター	説明
「この無線親機へのショートカットをデスクトップに作成する」	チェックマークを付けると、本商品の設定画面へのショートカットをデスクトップ上に作成します。 ※ ショートカット作成後に本商品の IP アドレスを変更すると、そのショートカットからは設定画面にアクセスできなくなります。
[親機選択画面に戻る]	クリックすると、無線親機の選択画面 (P113) が表示されます。
[完了]	クリックすると、画面を閉じます。

IP アドレス設定画面

パソコンと本商品の IP アドレスのセグメントが異なっている場合に、操作の選択画面 (P114) で [設定画面を開く] をクリックした際に表示される画面です。

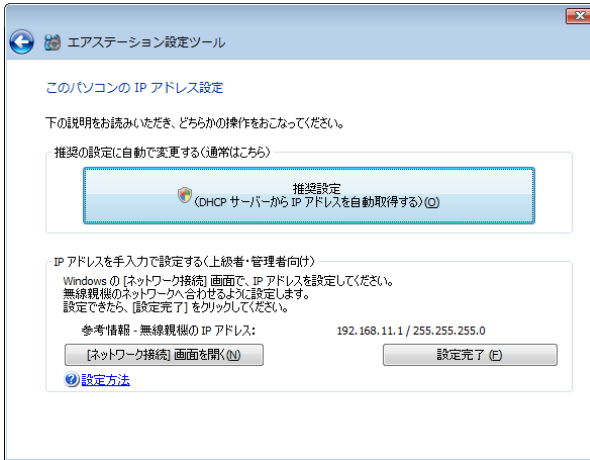
パソコン側の IP アドレスを変更するか、本商品の IP アドレスを変更するかを選択します。



パラメーター	説明
[このパソコンの IP アドレスを設定する]	パソコン側の IP アドレスを変更する場合にクリックします。クリックすると、パソコンの IP アドレス設定画面 (P117) が表示されます。
[無線親機の IP アドレスを設定する]	本商品の IP アドレスを変更する場合にクリックします。クリックすると、無線親機の IP アドレス設定画面 (P118) が表示されます。

パソコンの IP アドレス設定画面

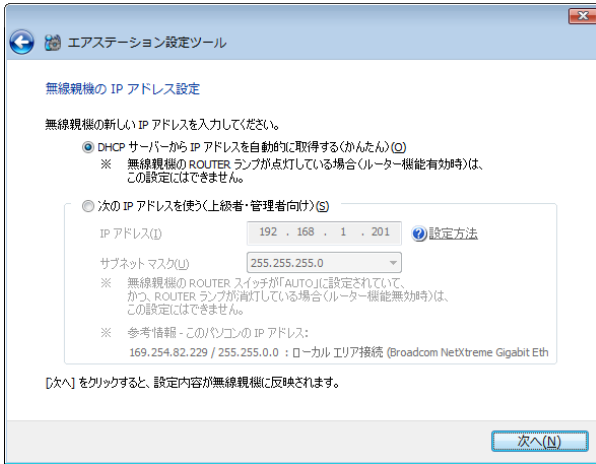
IP アドレス設定画面 (P116) にて、[このパソコンの IP アドレスを設定する]をクリックした際に表示される画面です。



パラメーター	説明
[推奨設定 (DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得する)]	クリックすると、DHCP サーバーから自動取得した IP アドレスをパソコンに設定します。
[ネットワーク接続画面を開く]	クリックすると、Windows のネットワーク接続画面が表示されます。
[設定完了]	クリックすると、画面を閉じます。

無線親機の IP アドレス設定画面

本商品の IP アドレスを設定する画面です。



パラメーター	説明
「DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得する」	本商品はルータ専用モデルのため、選択できません。
「次の IP アドレスを使う」	本商品の IP アドレスを手動で設定する場合に選択します。
[次へ]	クリックすると、この画面で設定した内容を本商品に適用します。

クライアントマネージャ V の使いかた (Windows 7/Vista)

起動と終了のしかた



■起動方法

[スタート] - [(すべての)プログラム] - [BUFFALO] - [エアステーションユーティリティ] - [クライアントマネージャV] の順にクリックすると、クライアントマネージャV が起動します。

■終了方法

タスクトレイのクライアントマネージャV のアイコンを右クリックして、[終了]をクリックすると、クライアントマネージャV が終了します。



 Windows 7をお使いの方で、タスクトレイにクライアントマネージャVアイコンが見当たらない場合は、タスクトレイの  アイコンをクリックすると表示されます。



アイコンは、接続状態によって以下のように変化します。



: 本商品経由で通信中








: 本商品に未接続(接続先なし)、またはパソコンの無線機能が OFF の状態

メイン画面

メイン画面には、現在の接続状態が表示されます。



パラメーター	説明
接続先	現在の接続先が表示されます。 接続先が複数ある場合は、接続先を切り替えることもできます。
接続速度	現在の接続速度が表示されます。
電波状態	現在の通信で使用している電波状態が表示されます。  非常に良い  良い  悪い  非常に悪い  切断、またはパソコンの無線機能が OFF
接続先の作成	クリックすると、接続先の作成画面 (P121) が表示されます。
詳細設定を表示	クリックすると、詳細設定画面(ステータス)(P126)が表示されます。

接続先の作成画面(オプション)

自動セキュリティー設定時に AOSS と WPS(プッシュボタン式)のどちらを使用するかを選択する画面です。

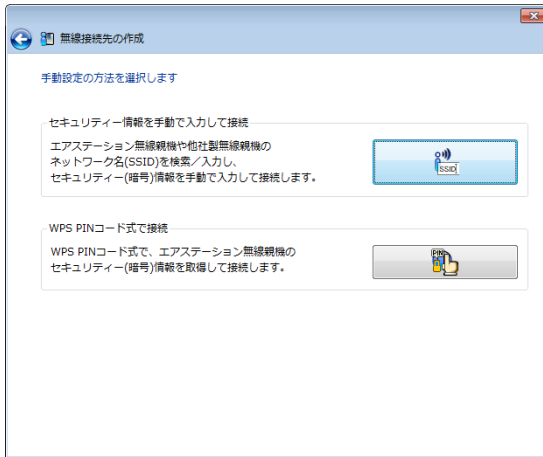


パラメーター	説明
自動セキュリティー設定 WPS プッシュボタン式	本商品に対して、WPS(プッシュボタン式)を使った自動セキュリティー設定を行う場合にクリックします。
自動セキュリティー設定 AOSS	本商品に対して、AOSS を使った自動セキュリティー設定を行う場合にクリックします。

手動設定方法の選択画面

手動設定の方法を選択する画面です。

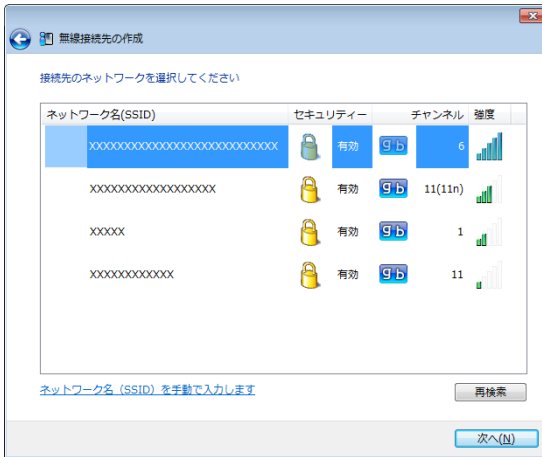
セキュリティー情報を手動で入力して接続する方法と PIN コードを入力する方法があります。



パラメーター	説明
セキュリティー情報を手動で入力して接続	本商品の SSID や暗号化キーを手動で入力して接続します。クリックすると、無線親機の検索画面 (P124) が表示されます。
WPS PIN コード式で接続	WPS (PIN コード式) で本商品に接続します。クリックすると、PIN コード式での接続方法についての説明が表示されます。

無線親機の検索画面

近くにある本商品を検索して情報を表示し、接続を行う画面です。



パラメーター

説明

ネットワーク名 (SSID)	本商品の SSID が表示されます。
セキュリティ	本商品にセキュリティ設定が行われているかどうかが表示され ます。 暗号が設定済み (未設定の場合は表示されませ ん)
チャンネル	本商品の無線チャンネルが表示されます。
強度	本商品の電波強度が表示されます。 非常に強い 強い 普通 弱い 非常に弱い
ネットワーク名 (SSID) を手動で入力 します	SSID を手動で入力して接続する場合は、ここをクリックします。
[再検索]	クリックすると、再度本商品を検索します。
[次へ]	クリックすると、追加するワイヤレスネットワークの情報画面 (P125) が表示されます。

追加するワイヤレスネットワークの情報画面

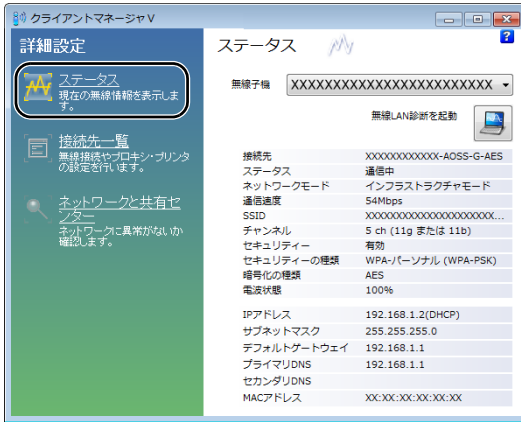
本商品に接続するときの画面です。

本商品に設定されているセキュリティの種類(暗号化方式)を選択し、暗号化キーを入力して[接続]をクリックすると、本商品に接続することができます。

パラメーター	説明
ネットワークの種類	通信の方式が表示されます。
ネットワーク名 (SSID)	接続先の SSID を入力します。
セキュリティの種類	本商品に設定されている暗号化方式を選択します。
暗号化の種類	本商品に設定されている暗号化の種類を選択します。
セキュリティキー またはパスフレーズ	本商品に設定されている暗号化キーを入力します。
ネットワークがブ ロードキャストをお こなっていない場合 でも接続する (ANY 接続拒否の無 線親機に接続する)	本商品の ANY 接続設定が「許可しない」設定になっている場合、この チェックを有効にすることで本商品と接続できます。
[接続]	クリックすると接続を開始します。

詳細設定画面(ステータス)

「ステータス」を選択すると、現在の接続状態の詳細が表示されます。
この画面では以下の内容を確認することができます。



パラメーター

説明

無線子機	現在使用している無線子機が表示されます。
無線 LAN 診断を起動	クリックすると、無線 LAN 診断画面 (P128) が表示されます。
接続先	現在の接続プロファイル名が表示されます。
ステータス	現在の通信状態が表示されます。
ネットワークモード	現在のネットワークモードが表示されます。
通信速度	現在の通信速度が表示されます。
SSID	現在の接続先の SSID が表示されます。
チャンネル	現在の無線チャンネルが表示されます。
セキュリティ	現在、セキュリティが有効になっているかどうかが表示されます。
セキュリティの種類	現在使用しているセキュリティの種類が表示されます。
暗号化の種類	現在使用している暗号化の種類が表示されます。
電波状態	現在の通信で使用している電波の状態が表示されます。
IP アドレス	現在使用している無線子機に割り当てられた IP アドレスが表示されます。

パラメーター	説明
サブネットマスク	現在使用している無線子機に割り当てられたサブネットマスクが表示されます。
デフォルトゲートウェイ	接続先のデフォルトゲートウェイのアドレスが表示されます。
プライマリ DNS	接続先のプライマリ DNS のアドレスが表示されます。
セカンダリ DNS	接続先のセカンダリ DNS のアドレスが表示されます。
MAC アドレス	現在使用している無線子機の MAC アドレスが表示されます。

無線 LAN 診断画面

無線 LAN 診断画面では、電波強度や信号品質について確認することができます。



パラメーター

説明

アダプタ

現在使用している無線子機が表示されます。

接続状態

電波強度 (dBm)、リンクレート (Mbps)、信号品質 (%) を、1 分間について時系列表示します。

チャンネル別
使用状況

11b/11g は、2.4GHz 帯と表示された 1ch から 14ch までのチャンネルで使用状況を表示します。

11a は、J52/W52 と W53、W56 のチャンネルに使用状況を表示します。

色で無線親機の電波の強さを表します。赤色に近づくほど電波の強い無線親機を表し、青色に近づくほど電波の弱い無線親機を表します。

詳細設定画面(接続先一覧)

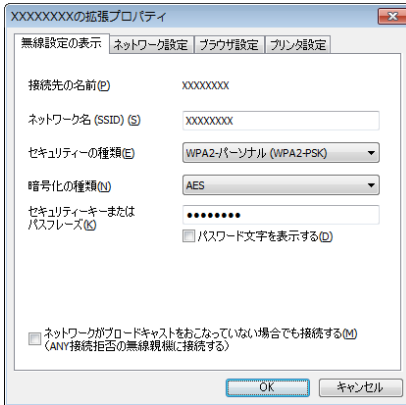
「接続先一覧」を選択すると、現在設定されている接続先一覧が表示されます。
この画面では以下の操作をすることができます。



パラメーター	説明
無線子機	現在使用している無線子機が表示されます。
接続先の作成	接続先を新規追加します。 クリックすると、接続先の作成画面 (P121) が表示されます。
編集	選択した接続先情報を編集します。 クリックすると、接続先情報の編集画面(無線設定の表示)(P130) が表示されます。
削除	選択した接続先を削除します。
下	選択した接続先の優先順位を下げます。
上	選択した接続先の優先順位を上げます。

接続先情報の編集画面（無線設定の表示）

現在の無線設定内容を確認 / 編集することができます。

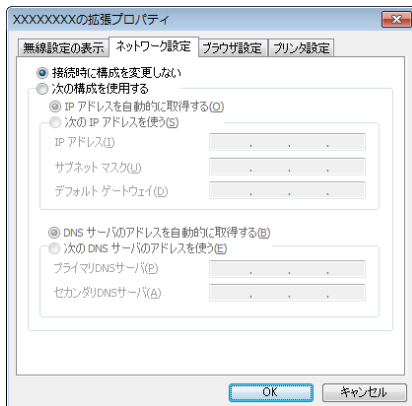


パラメーター	説明
接続先の名前	現在の接続先名が表示されます。
ネットワーク名 (SSID)	現在の接続先の SSID が表示されます。
セキュリティの種類	現在の接続で使用しているセキュリティの種類が表示されます。
暗号化の種類	現在の接続で使用している暗号化の種類が表示されます。
セキュリティキーまたはパスフレーズ	現在の接続で使用している暗号化キーが表示されます。(内容は「●」でマスクされます。「パスワード文字を表示する」にチェックマークを付けると内容が表示されます。)
ネットワークがブロードキャストをおこなっていない場合でも接続する (ANY 接続拒否の無線親機に接続する)	接続先の ANY 接続設定が「許可しない」設定になっている場合、このチェックを有効にすることで接続できます。

接続先情報の編集画面(ネットワーク設定)

本商品へ接続したときに無線子機に割り当てる IP アドレスやサブネットマスクなどを設定する画面です。

この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター

説明

接続時に構成を変更しない

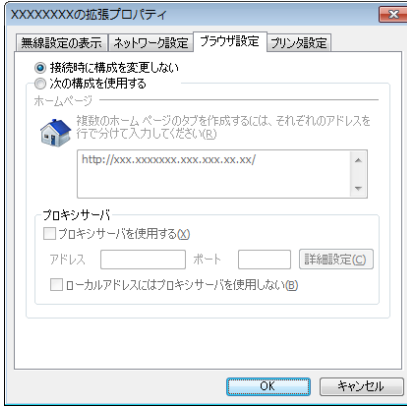
現在の TCP/IP ネットワーク設定をそのまま使用する場合に選択します。

次の構成を使用する

本商品への接続時に、TCP/IP ネットワーク設定を変更する場合に選択します。
 IP アドレスを自動的に取得する場合は「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。手動で IP アドレスを設定する場合は、「次の IP アドレスを使う」を選択して IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。
 DNS サーバのアドレスを自動的に取得する場合は、「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」を選択します。手動で DNS サーバのアドレスを設定する場合は、「次の DNS サーバのアドレスを使う」を選択して DNS サーバのアドレスを設定してください。

接続先情報の編集画面(ブラウザ設定)

本商品へ接続したときに使用するブラウザの設定を行う画面です。
この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター

説明

接続時に構成を変更しない

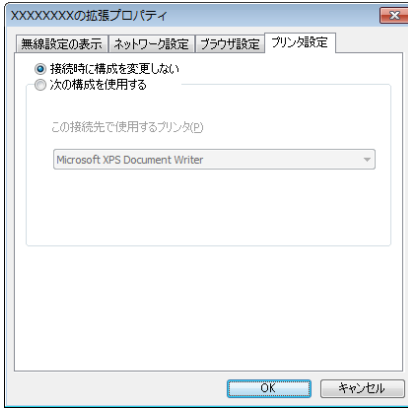
現在のブラウザ(Internet Explorer)設定をそのまま使用する場合に選択します。

次の構成を使用する

本商品への接続時に、ブラウザ設定を変更する場合に選択します。「ホームページ」には、ホームページのアドレスを入力してください。プロキシサーバを使用する場合は、「プロキシサーバを使用する」にチェックマークを付け、アドレスとポートを入力してください。ローカルアドレスに接続する場合にプロキシサーバを使用しない場合は、「ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない」にチェックマークを付けてください。

接続先情報の編集画面(プリンタ設定)

本商品へ接続したときに使用するプリンタの設定を行う画面です。
この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター	説明
接続時に構成を変更しない	現在のプリンタ設定をそのまま使用する場合に選択します。
次の構成を使用する	本商品への接続時に、プリンタ設定を変更する場合に選択します。 この接続で使用するプリンタを選択します。

クライアントマネージャ 3 の使いかた (Windows XP)

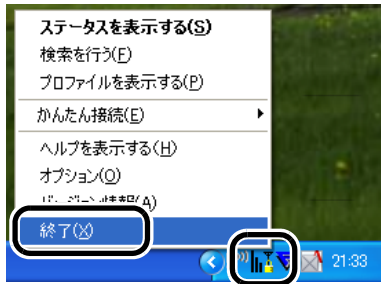
起動と終了のしかた

■起動方法

[スタート] - [(すべての)プログラム] - [BUFFALO] - [エアステーションユーティリティ] - [クライアントマネージャ3]の順にクリックすると、クライアントマネージャ3 が起動します。

■終了方法

タスクトレイのクライアントマネージャ3 のアイコン(下記参照)を右クリックして、[終了]をクリックすると、クライアントマネージャ3 が終了します。



アイコンは、接続状態によって以下のように変化します。



：本商品経由で通信中(TKIP/AES で暗号化済み)



：本商品経由で通信中(WEP で暗号化済み、または暗号未設定)



：認証中



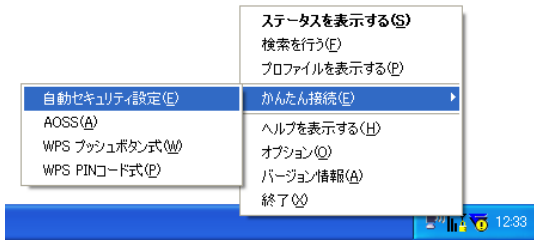
：本商品に未接続(接続先なし)



：パソコンの無線機能が OFF の状態

タスクトレイアイコンメニュー

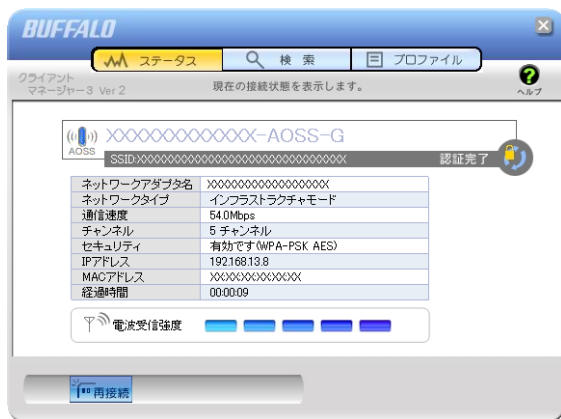
タスクトレイにあるクライアントマネージャ3のアイコンを右クリックすると、以下のような設定メニューが表示されます。



パラメーター	説明
ステータスを表示する	クライアントマネージャ3のステータス画面 (P136) が表示されます。
検索を行う	クライアントマネージャ3の検索画面 (P138) が表示されます。
プロフィールを表示する	クライアントマネージャ3のプロファイル画面 (P140) が表示されます。
かんたん接続	自動セキュリティ設定を選択すると、本商品に対して、AOSS や WPS (プッシュボタン式) を使って簡単に接続することができます。通常は、こちらを選択してください。 接続先の仕様に合わせて、AOSS、WPS プッシュボタン式、WPS PINコード式を指定することもできます。
ヘルプを表示する	クライアントマネージャ3のヘルプを表示します。
オプション	オプションメニュー(P145) が表示されます。
バージョン情報	クライアントマネージャ3のバージョン情報が表示されます。
終了	クライアントマネージャ3を終了します。

ステータス画面

ステータス画面には、現在の接続状態が表示されます。
この画面では以下の項目を確認することができます。



パラメーター

説明

プロファイル名	現在の接続プロファイル名が表示されます。
SSID	現在の接続先の SSID が表示されます。
ネットワークアダプタ名	現在使用している無線子機の名称が表示されます。
ネットワークタイプ	現在の接続タイプが表示されます。
通信速度	現在の通信速度が表示されます。
チャンネル	現在の無線チャンネルが表示されます。
セキュリティ	現在使用しているセキュリティの種類が表示されます。
IP アドレス	現在使用している無線子機に割り当てられた IP アドレスが表示されます。
MAC アドレス	現在使用している無線子機の MAC アドレスが表示されます。
経過時間	現在の接続先に接続してから経過した時間が表示されます。
電波受信強度	現在の通信で使用している電波の強度が表示されます。 非常に強い 強い 普通 弱い 非常に弱い 切断

パラメーター	説明
[再接続]	現在の接続先に再接続します。








検索画面

近くにある本商品を検索して情報を表示し、接続を行う画面です。
この画面では以下の操作をすることができます。



パラメーター

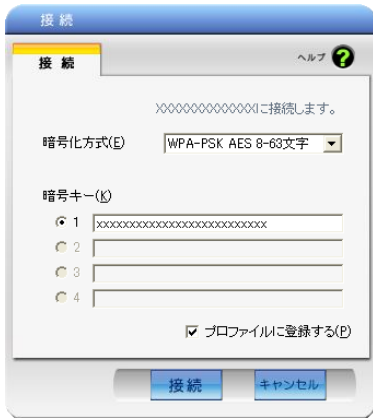
説明

SSID	本商品の SSID が表示されます。
無線モード	本商品の無線方式が表示されます。
CH	本商品の無線チャンネルが表示されます。
強度	<p>本商品の電波強度が表示されます。</p> <p>  非常に強い  強い </p> <p>  弱い  非常に弱い </p>
暗号	<p>本商品に暗号化の設定がされているかが表示されます。</p> <p>  強固な暗号 (TKIP/AES) が設定済み </p> <p>  暗号 (WEP) が設定済み </p> <p>  暗号が未設定 </p>
[接続]	接続対象を選択してこのボタンをクリックすると、接続画面 (P139) が表示されます。
[再検索]	クリックすると、再度近くにある本商品を検索します。

接続画面

無線親機に接続するときの画面です。

無線親機に設定されている暗号化方式を選択し、暗号化キーを入力して[接続]をクリックすると、無線親機に接続することができます。



パラメーター

説明

暗号化方式	接続先の無線親機の暗号化方式を選択します。
暗号キー	接続する無線親機の暗号化キーを入力します。 通常は「1」を選択し、1の行に暗号化キーを入力してください。
プロファイルに登録する	チェックマークを付けると、ここで設定した内容がプロファイル画面 (P140) に登録されます。

プロフィール画面

作成したプロフィール情報を元に、本商品へ接続したり、プロフィール情報の編集を行う画面です。この画面では以下の操作をすることができます。



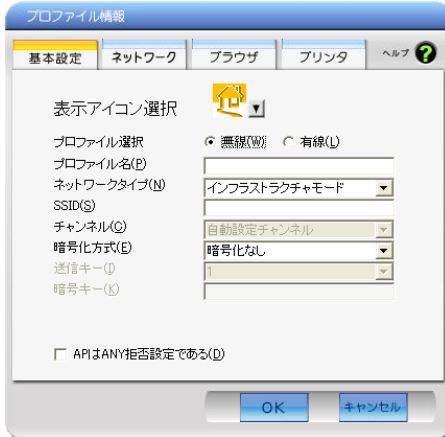
パラメーター

説明

[接続]	プロフィールを選択してこのボタンをクリックすると、選択した接続先へ接続を行います。
[追加]	プロフィールを新規追加する場合にクリックします。クリックすると、プロフィール情報の設定画面(基本設定)(P141)が表示されます。
[編集]	プロフィール情報を編集したり削除する場合にクリックします。ボタンをクリックし、[編集]をクリックすると、プロフィール情報の設定画面(基本設定)(P141)が表示されます。
[WPS AOSS]	ボタンをクリックすると、AOSS または WPS(プッシュボタン式)による自動セキュリティ設定が行われます。設定完了後、対象の接続先へ接続するプロフィールが作成されます。

プロフィール情報の設定画面(基本設定)

接続先の SSID や暗号化方式、暗号化キーなどを登録する画面です。
この画面では以下の情報を登録することができます。

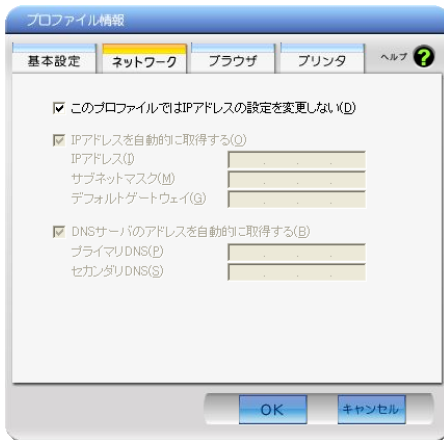


パラメーター	説明
表示アイコン選択	プロフィールに表示するアイコンを登録します。 アイコンは、リストより選択することができます。
プロフィール選択	無線 LAN のプロフィールを作成するか、有線 LAN のプロフィールを作成するかを選択します。
プロフィール名	プロフィール名を設定します。 本商品に接続している場合、SSID(ネットワーク名)が自動的に入力されます。
ネットワークタイプ	通信の方式を選択します。 新規作成以外は、現在のモードが選択されています。
SSID	接続先の SSID を入力します。 新規作成以外は、現在の接続先の SSID が表示されています。
チャンネル	無線チャンネルを設定します。 インフラストラクチャモード時は、チャンネルは自動的に設定されます。
暗号化方式	接続先に対応した暗号化方式を選択します。 新規作成以外は、現在の暗号化方式が選択されています。
送信キー	暗号化方式が WEP の場合、4 つの暗号を設定できます。 通常は 1 を選択してください。

パラメーター	説明
暗号キー	暗号化キーを入力します。 新規以外は、現在の暗号値が入力されています。 (シークレット表示されているため、暗号化キーは確認できません)
AP は ANY 拒否設定 である	接続先の ANY 接続設定が「許可しない」設定になっている場合、この チェックを有効にすることで接続できます。

プロファイル情報の設定画面(ネットワーク)

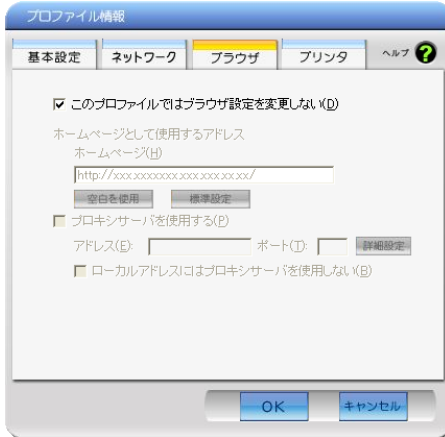
本商品へ接続したときにパソコンに割り当てる IP アドレスやサブネットマスクなどを設定する画面です。この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター	説明
このプロファイルでは IP アドレスの設定を変更しない	チェックマークを付けると、現在の TCP/IP ネットワーク設定をそのまま使用します。設定を変更する場合は、チェックマークを外してください。
IP アドレスを自動的に取得する	チェックマークを付けると、IP アドレスを自動的に取得します。手動で IP アドレスを設定する場合は、チェックマークを外してください。
DNS サーバのアドレスを自動的に取得する	チェックマークを付けると、DNS サーバアドレスを自動的に取得します。手動で DNS サーバアドレスを設定する場合は、チェックマークを外してください。

プロフィール情報の設定画面(ブラウザ)

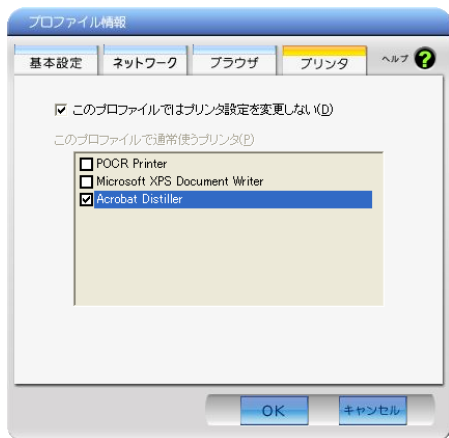
本商品へ接続したときに使用するブラウザの設定を行う画面です。
この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター	説明
このプロフィールではブラウザ設定を変更しない	チェックマークを付けると、現在のブラウザ (Internet Explorer) 設定をそのまま使用します。 設定を変更する場合は、チェックマークを外してください。
ホームページとして使用するアドレス	ホームページのアドレスを入力します。
プロキシサーバを使用する	プロキシサーバを使用する場合は、チェックマークを付け、アドレスとポートを入力してください。
ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない	チェックマークを付けると、ローカルアドレスに接続する場合に、プロキシサーバを使用しなくなります。常にプロキシサーバを経由して接続する場合は、チェックマークを外してください。

プロファイル情報の設定画面(プリンタ)

本商品へ接続したときに使用するプリンタの設定を行う画面です。
この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター

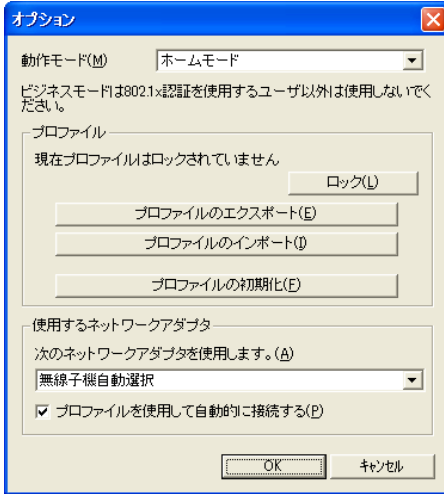
説明

このプロファイルではプリンタ設定を変更しない

チェックマークを付けると、現在使用しているプリンタをそのまま使用します。
設定を変更する場合は、チェックマークを外して、使用するプリンタを選択してください。

オプションメニュー

タスクトレイにあるクライアントマネージャ3のアイコンを右クリックし、[オプション]を選択すると、以下のようなメニュー画面が表示されます。



パラメーター	説明
動作モード	使用する環境に合わせて、ホームモードとビジネスモードを切り替えます。
[ロック]	クリックすると、プロファイルの新規追加、削除、編集ができなくなります。ロックしたり、ロックを解除するには、パスワードの入力(半角英字 8 文字～ 63 文字)が必要です。
[プロファイルのエクスポート]	現在のプロファイル情報を保存します。プロファイル情報を保存するには、パスワードの入力(半角英字 8 文字～ 63 文字)が必要です。
[プロファイルのインポート]	保存しているプロファイル情報を取り込みます。プロファイル情報を取り込むには、エクスポート時に設定したパスワードの入力(半角英字 8 文字～ 63 文字)が必要です。
[プロファイルの初期化]	プロファイル情報を初期化します。初期化は、ロックを解除してから行ってください。(ロック中は初期化できません)
使用するネットワークアダプタ	クライアントマネージャ3で使用するネットワークアダプタを選択します。通常は、無線子機自動選択に設定してください。

ソフトウェアの削除

「エアステーション設定ツール」や「クライアントマネージャ」が不要になった場合は、本商品に付属の取扱説明書を参照して、削除してください。

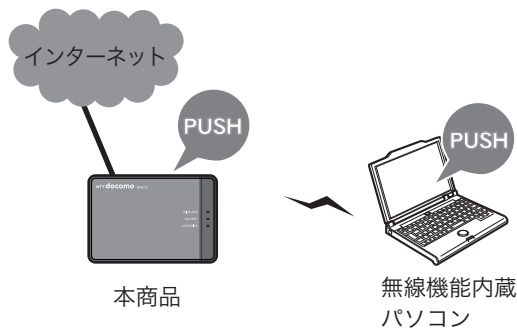
4

パソコンを無線接続する

本商品との接続例

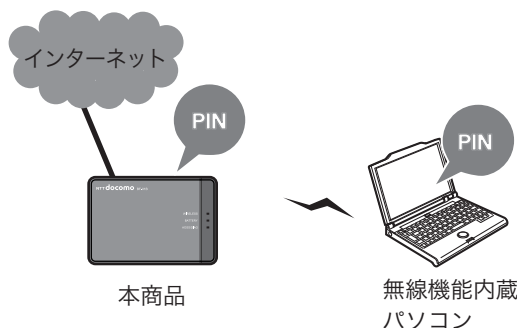
無線機能内蔵機器と本商品との無線接続は、以下の3通りの方法があります。

AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合



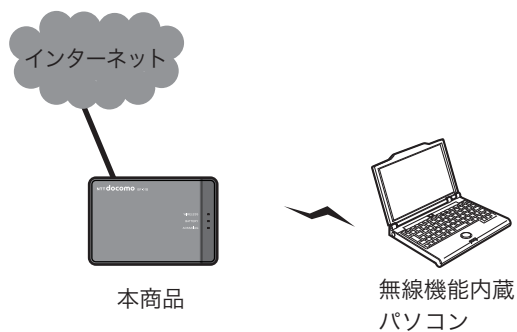
本商品のAOSSボタンとクライアントマネージャの自動セキュリティ設定ボタンを押して接続します。AOSSおよびWPS(プッシュボタン式)のどちらで接続されるかは、お使いの環境にあわせて自動的に決定されます。(指定して接続することもできます)

WPS(PINコード式)を使って接続する場合



クライアントマネージャで発行したPINコードを、本商品の設定画面上で登録することで接続設定が完了します。

本商品を検索して接続する場合



無線機能を内蔵したパソコンから本商品を検索し、本商品に設定されている暗号化キーを使って接続します。

接続のながれ

AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合

AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合は、以下のながれに沿って設定を行ってください。

クライアントマネージャの自動セキュリティ設定ボタンを押す
(付属の取扱説明書を参照)



本商品のAOSSボタンを押す(付属の取扱説明書を参照)



設定完了

WPS (PIN コード式) を使って接続する場合

WPS (PIN コード式) を使って接続する場合は、以下のながれに沿って設定を行ってください。

クライアントマネージャでPINコードを発行する (P154、159)



上記で発行したPINコードを本商品に登録する (P155、161)



設定完了


本商品を検索して接続する場合

本商品を検索して接続する場合は、以下のながれに沿って設定を行ってください。


本商品に設定されているSSIDと暗号化の設定を確認する



クライアントマネージャを使って本商品を検索する(P165、169)



本商品に設定されている暗号化キーを入力して、接続する(P165、170)



設定完了

本商品との接続

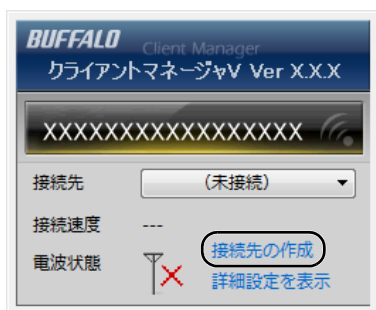
AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合

AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って本商品に接続する手順は、本商品に付属の取扱説明書を参照してください。

WPS(PINコード式)を使って接続する場合(Windows 7/ Vista)


Windows 7/Vista パソコンで WPS(PINコード式)を使って接続する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 [スタート]—[(すべての)プログラム]—[BUFFALO]—[エアステーションユーティリティ]—[クライアントマネージャV]を選択します。
- 2 以下の画面が表示されたら、「接続先の作成」をクリックします。




- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。



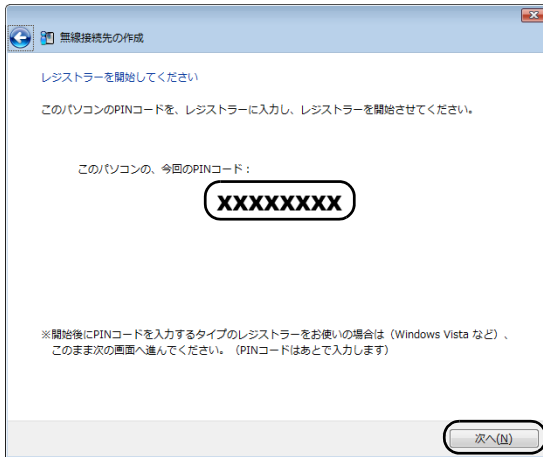
4 画面に表示されている手動設定ボタン  をクリックします。



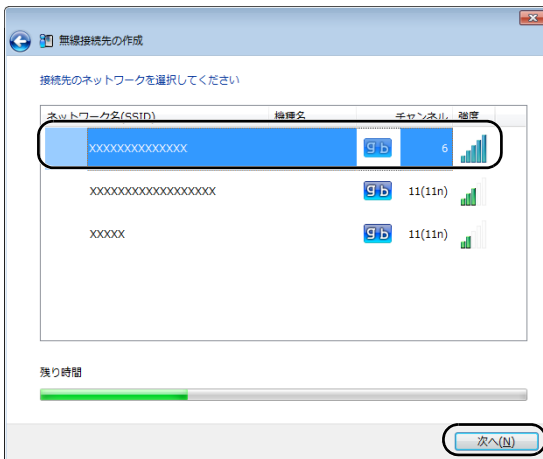
5 画面に表示されているWPS PINコード式ボタン  をクリックします。




- 6 画面に PIN コードが表示されますので、PIN コードを控えて[次へ]をクリックします。



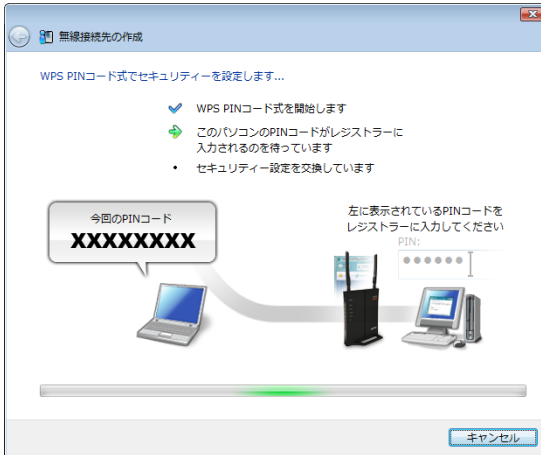
- 7 接続先の本商品の SSID を選択し、[次へ]をクリックします。



 本商品の SSID が表示されない場合は、[×] をクリックして画面を閉じた後、再度手順 1 からやり直してください。（その際、手順 6 で控えた PIN コードは無効になります）それでも本商品の SSID が表示されない場合は、以下を実施してください。

- ・ パソコンを本商品に近づける。
- ・ 本商品に ANY 接続拒否設定 (P93) を行っている場合は、解除する。
- ・ 本商品の WPS 機能 (P39) が有効になっており、外部 Registrar の要求を受け付ける設定 (P39) になっているか確認する。

- 8 以下の画面が表示されたら、手順6で控えたPINコードを他のパソコンから本商品に入力します。

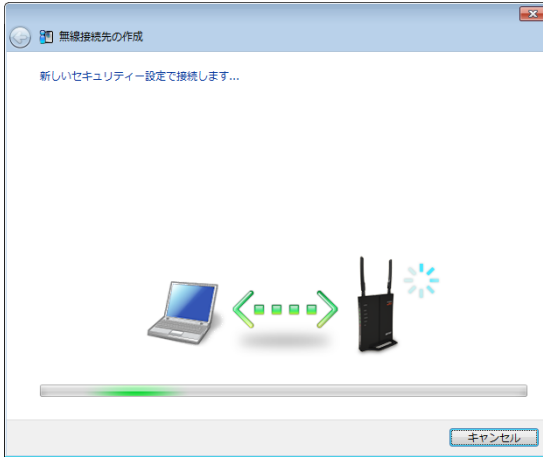


※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

- メモ PINコードは、本商品の設定画面の【無線設定】－【WPS】にある、「EnrolleeのPINコード」に入力し、【OK】をクリックしてください。

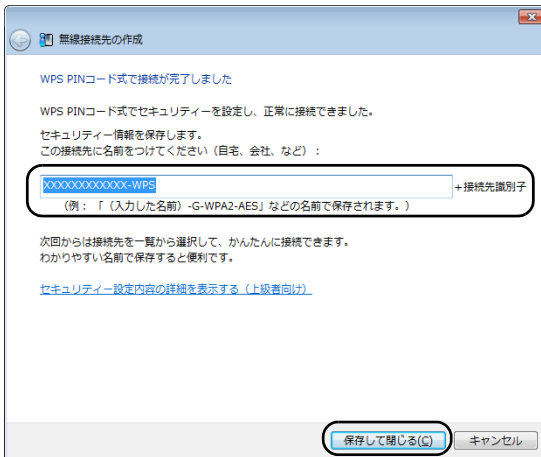
WPS機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
外部Registrar	<input checked="" type="checkbox"/> 要求を受け付ける
設定	
BF-01 B PINコード	xxxxxxx PIN生成
EnrolleeのPINコード	<input type="text"/> OK

9 接続が完了するまで待ちます。



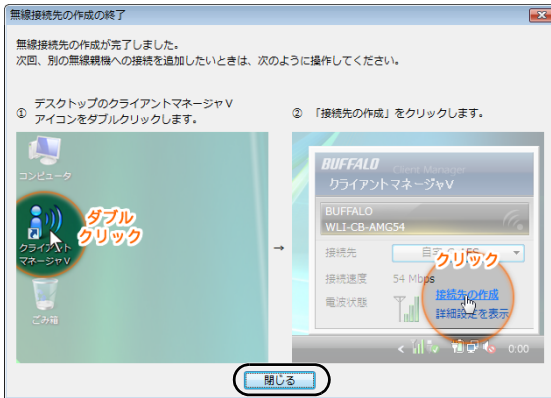
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

10 「WPS PIN コード式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[保存して閉じる]をクリックします。

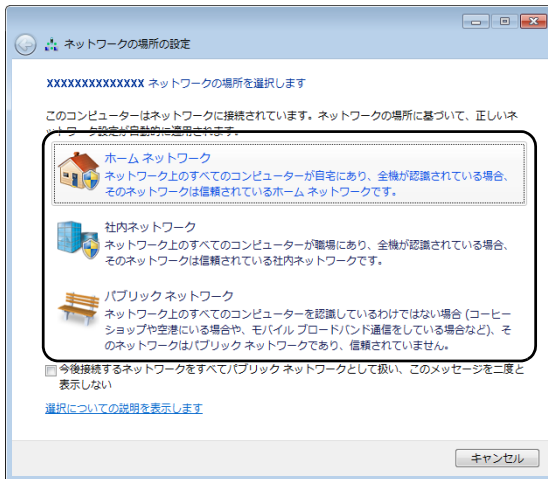


■ **メモ** 接続先名は、任意の名称を設定することができます。

11 「無線接続先の作成が完了しました。」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。



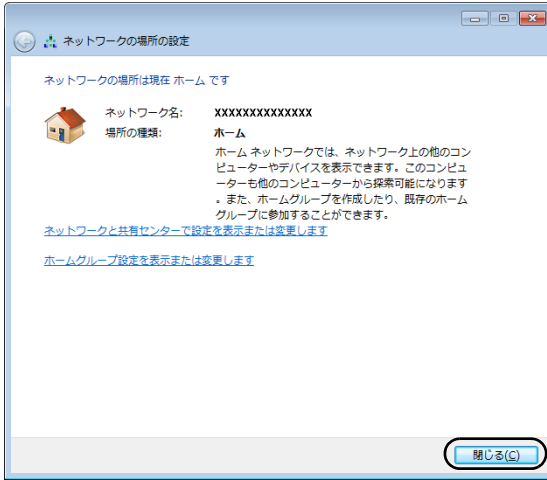
12 「ネットワークの場所の設定」という画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。(ここでは例として、「ホームネットワーク」をクリックします)



13 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

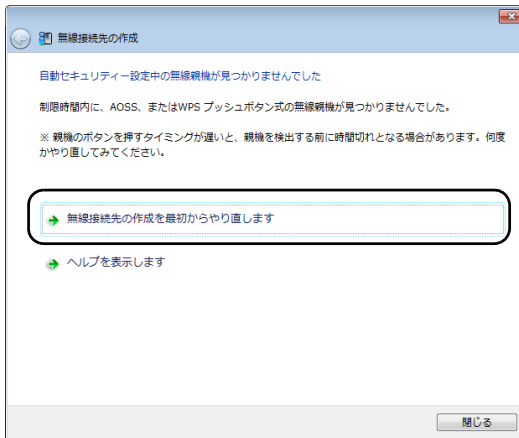
14

以下の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。



以上で本商品との接続は完了です。

メモ 本商品との接続に失敗した場合、以下のような画面が表示されます。この場合、「無線接続先の作成を最初からやり直します」をクリックして、手順4 (P153)以降の操作を行ってください。

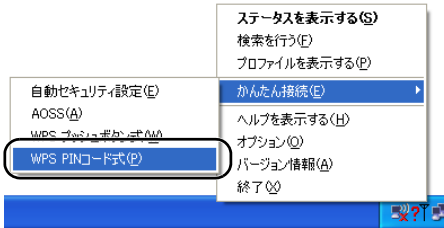


※ 画面は一例です。

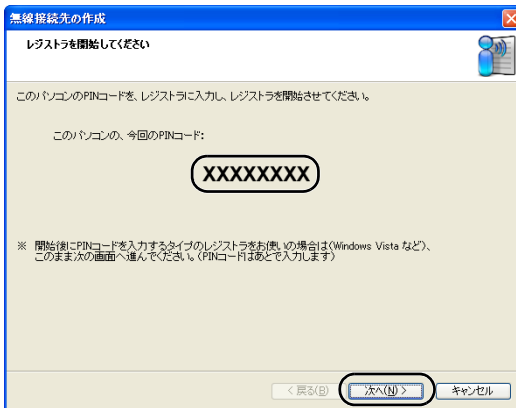
WPS(PIN コード式)を使って接続する場合 (Windows XP)

Windows XP パソコンで WPS(PIN コード式)を使って接続する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 タスクトレイの ? アイコンを右クリックし、「かんたん接続」→「WPS PIN コード式」の順にクリックします。



- 2 画面に PIN コードが表示されますので、PIN コードを控えて[次へ]をクリックします。



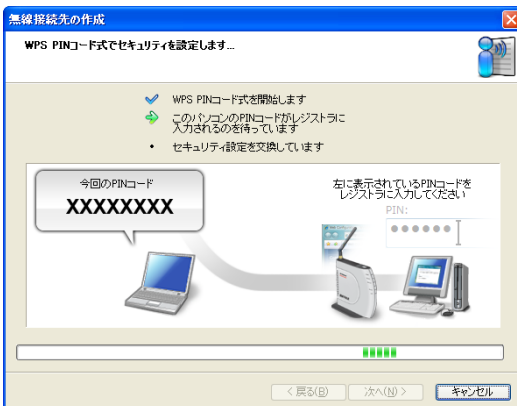
3 接続先の本商品の SSID を選択し、[次へ]をクリックします。



☒ 本商品の SSID が表示されない場合は、[×] をクリックして画面を閉じた後、再度手順 1 からやり直してください。（その際、手順 2 で控えた PIN コードは無効になります）それでも本商品の SSID が表示されない場合は、以下を実施してください。

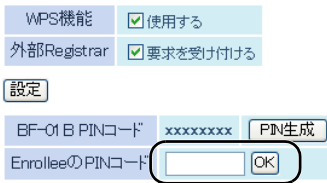
- ・ パソコンを本商品に近づける。
- ・ 本商品に ANY 接続拒否設定 (P93) を行っている場合は、解除する。
- ・ 本商品の WPS 機能 (P39) が有効になっており、外部 Registrar の要求を受け付ける設定 (P39) になっているか確認する。

4 以下の画面が表示されたら、手順 2 で控えた PIN コードを他のパソコンから本商品に入力します。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

- メモ** PINコードは、本商品の設定画面の【無線設定】－【WPS】にある、「EnrolleeのPINコード」に入力し、【OK】をクリックしてください。

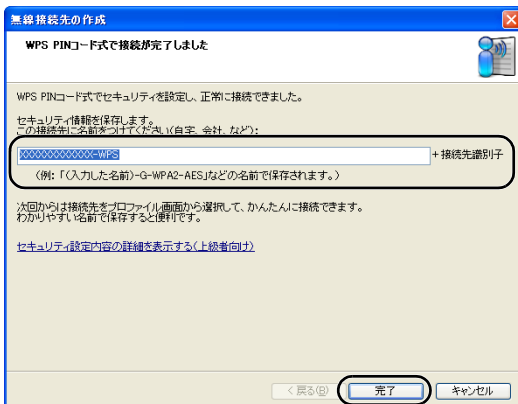


5 接続が完了するまで待ちます。



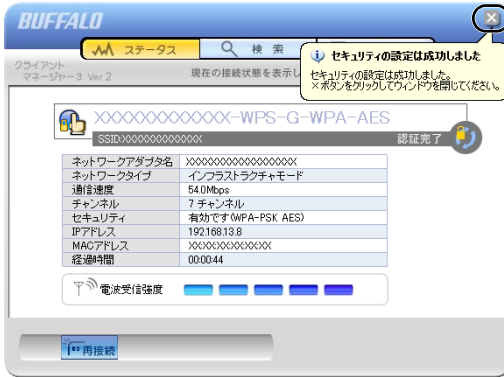
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

6 「WPS PIN コード式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[完了]をクリックします。



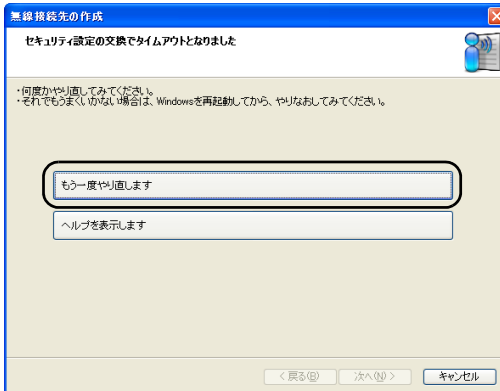
- メモ** 接続先名は、任意の名称を設定することができます。

- 7 「セキュリティの設定は成功しました」と表示されたら、[×]をクリックして画面を閉じます。



以上で本商品との接続は完了です。

- メモ** 本商品との接続に失敗した場合、以下のような画面が表示されます。この場合、「もう一度やり直します」をクリックして、手順2 (P159)以降の操作を行ってください。

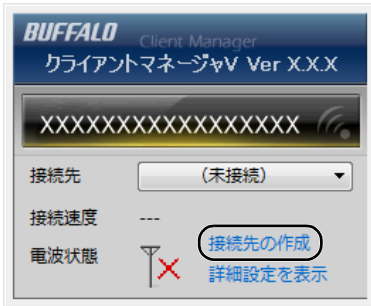


※ 画面は一例です。

本商品を検索して接続する場合(Windows 7/Vista)


Windows 7/Vista パソコンで本商品を検索して接続する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 [スタート]—[(すべての)プログラム]—[BUFFALO]—[エアステーションユーティリティ]—[クライアントマネージャV]を選択します。
- 2 以下の画面が表示されたら、「接続先の作成」をクリックします。




- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。



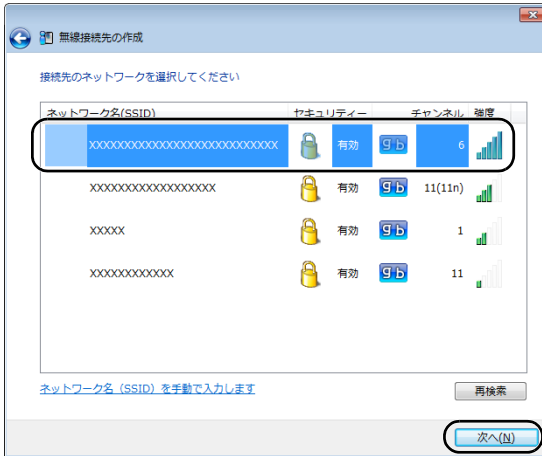
4 画面に表示されている手動設定ボタン  をクリックします。



5 画面に表示されている手動設定ボタン  をクリックします。

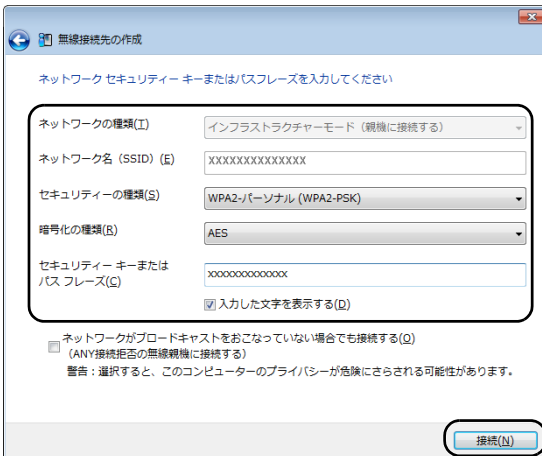


6 接続先の本商品の SSID を選択し、[次へ]をクリックします。

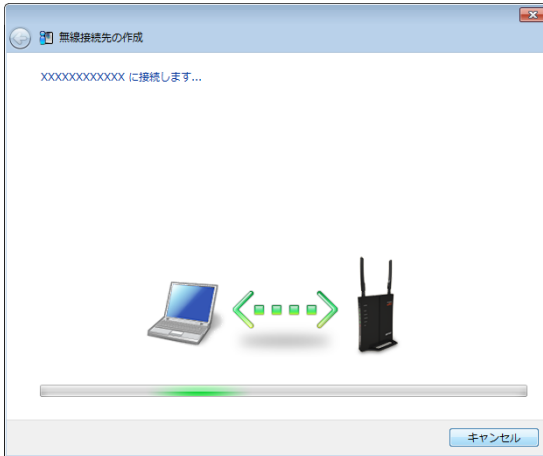


☑️ 本商品の SSID が表示されない場合は、[再検索] をクリックしてください。それでも本商品の SSID が表示されない場合は、パソコンを本商品に近づけてください。また、本商品に ANY 接続拒否設定 (P93) を行っている場合は、解除してください。

7 本商品に設定されているセキュリティの種類、暗号化の種類、暗号化キーを入力し、[接続]をクリックします。

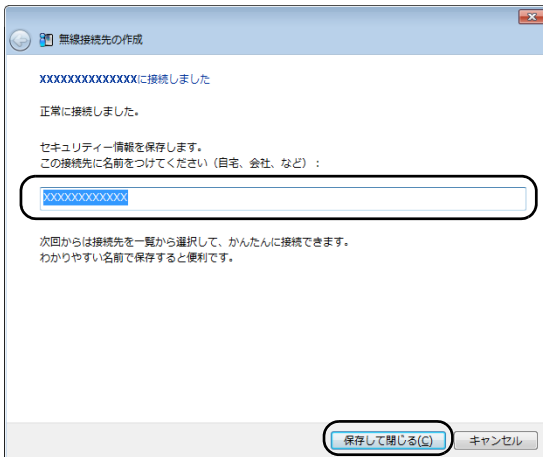



8 接続が完了するまで待ちます。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

9 「正常に接続しました。」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[保存して閉じる]をクリックします。

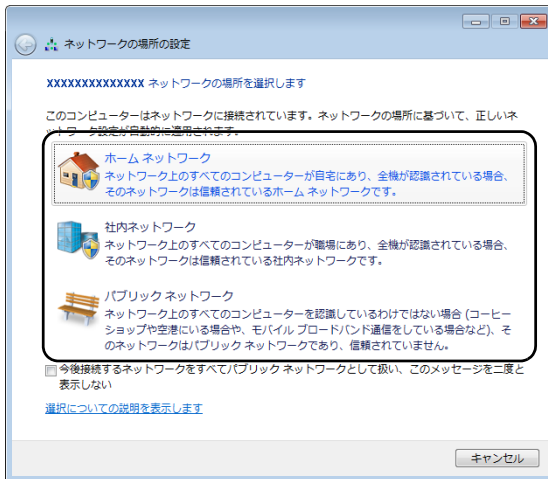


 接続先名は、任意の名称を設定することができます。

- 10 「無線接続先の作成が完了しました。」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。



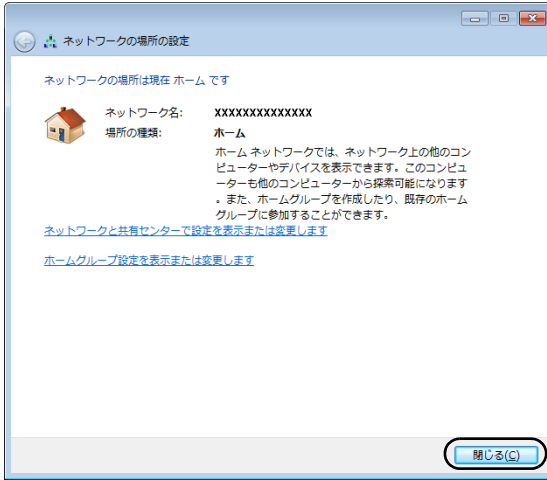
- 11 「ネットワークの場所の設定」という画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。(ここでは例として、「ホームネットワーク」をクリックします)



- 12 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

13

以下の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。

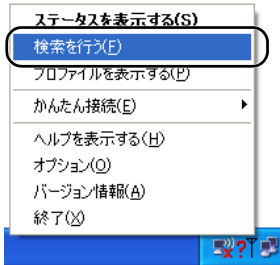


以上で本商品との接続は完了です。

本商品を検索して接続する場合 (Windows XP)

Windows XP パソコンで本商品を検索して接続する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 タスクトレイの ? アイコンを右クリックし、「検索を行う」をクリックします。

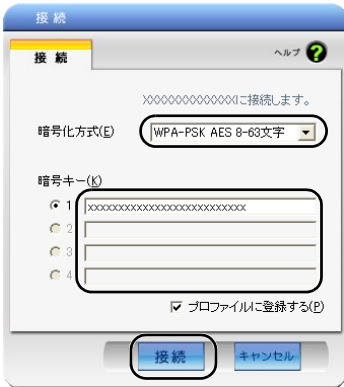


- 2 接続先の本商品の SSID を選択し、[接続] をクリックします。

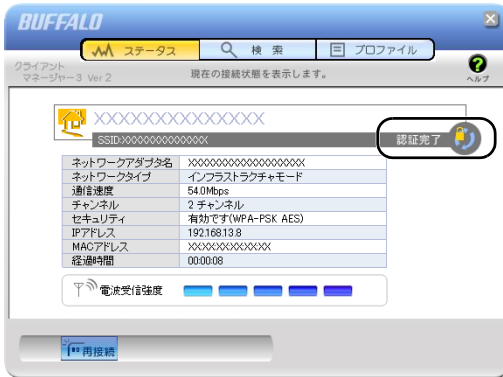


- ❗ 本商品の SSID が表示されない場合は、[再検索] をクリックしてください。それでも本商品の SSID が表示されない場合は、パソコンを本商品に近づけてください。また、本商品に ANY 接続拒否設定 (P93) を行っている場合は、解除してください。

- 3 本商品に設定されている暗号化方式を選択し、暗号化キーを入力して、[接続]をクリックします。




- 4 画面に「認証完了」または「接続」と表示されたら、接続は完了です。



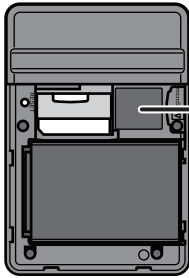
以上で本商品との接続は完了です。

本商品を検索して接続する場合(Macintosh)


Macintosh で本商品を検索して接続する場合は、以下の手順に従ってください。

-  以下の手順で接続できない場合は、SSID や暗号化キーが初期値から変更されている可能性があります。その場合は、「iPadやiPod touchやゲーム機との無線接続設定をする」(P88)を参照してください。

- 1 本商品の電源が OFF になっていることを確認した後、裏ぶたを取り外し、本商品の SSID(12桁の値)と暗号化キー(13桁の値)を確認します。



お買い上げ時のSSID(12桁の値)と暗号化キー(13桁の値)は、このラベルに記載されています。

- 2 裏ぶたを取り付けて、本商品の電源を ON にします。
- 3 Macintosh 画面上部の AirMac アイコンをクリックし、「AirMac を入にする」を選択します。
実行すると、周囲の無線ネットワークが自動的に検出されます。
- 4 手順1で確認した SSID と同じ値をリストから選択します。
 SSID がリストに表示されない場合は、再度検索を行ってください。それでも本商品の SSID が表示されない場合は、パソコンを本商品に近づけてください。また、本商品に ANY 接続拒否設定 (P93) を行っている場合は、解除してください。
- 5 パスワードの入力画面が表示されたら、手順1で確認した暗号化キーを入力し、「このネットワークを記憶」にチェックマークを付けて、[OK]をクリックします。
- 6 手順4で選択した SSID の横にチェックマークが付いたら、無線接続は完了です。

以上で本商品との接続は完了です。

MEMO

5

付録

ケーブル仕様

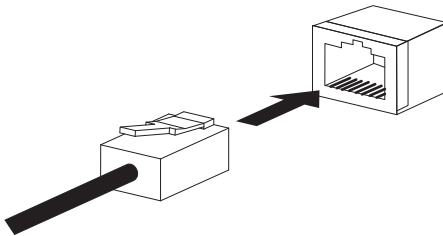
ケーブルタイプと仕様			
ケーブル	タイプ	最大長	コネクタ
10BASE-T	カテゴリ-3、4、5 UTP/STP	100m	RJ-45
100BASE-TX	カテゴリ-5 UTP/STP	100m	RJ-45

ツイストペアケーブルとポート仕様

100BASE-TX/10BASE-T 接続の場合、2 対ツイストペアケーブルが必要です。2 種類の色でそれぞれのワイヤーペアを識別します。たとえば、一方を赤、もう一方を白のストライプが入った赤にするなどです。さらに、ケーブルの両端に RJ-45 コネクタが必要です。

▲注意 LAN ポートに、電話のモジュラーケーブルを差し込まないでください。電話のモジュラーケーブルを差し込むと、故障の原因となります。必ず、RJ-45 コネクタを装備し、規格に適合しているツイストペアケーブルを使用してください。

■メモ ワイヤーペアを決まった向きで RJ-45 コネクタに接続する必要があります。



LAN ポート仕様

100BASE-TX/10BASE-T で使用されているケーブルでは、1 番ピンと 2 番ピンをデータ送信に使用し、3 番ピンと 6 番ピンをデータ受信に使用します。

本商品は全ポートで AUTO-MDIX に対応していますので、パソコンやハブとのあらゆるネットワーク接続にストレートケーブルを使用できます。

次の表に、100BASE-TX/10BASE-T MDI ポートと MDI-X ポートのピン割り当てを示します。

ピン番号	MDIX/MDI 信号	信号機能 (MDI/MDIX)
1	RD+/TD+	受信データ (+) / 送信データ (+)
2	RD-/TD-	受信データ (-) / 送信データ (-)
3	TD+/RD+	送信データ (+) / 受信データ (+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ (-) / 受信データ (-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

※ + と - は、各ワイヤーペアを構成するワイヤーの極性を表します。

初期設定一覧

機能	パラメーター	初期値
Internet(3G/HSPA)	Internet(3G/HSPA) 接続	使用する
	3G/HSPA モデム	内蔵 3G/HSPA モデム (変更不可)
	キャリア選択	NTT docomo (変更不可)
	接続方式	mopera U (定額)
	PDP Type	IP (変更不可)
	APN (接続先)	mopera.flat.foma.ne.jp

機能	パラメーター	初期値
	PIN	空欄
	認証方式	自動認証
	MTU 値	1500 バイト
Internet(無線 LAN)	Internet 接続 (無線 LAN)	使用しない
	無線 LAN-3G/HSPA 切り替えモード	標準モード (3G/HSPA が無通信時、無線 LAN へ接続：5 秒間)
	登録無線 LAN プロファイル	未登録
Internet(有線ポート)	有線ポート	未接続
	IP アドレス取得方法	インターネット@スタートを行う
	デフォルトゲートウェイ	空欄
	DNS (ネーム) サーバーアドレス	空欄
	Internet 側 MAC アドレス	デフォルトの MAC アドレスを使用
	Internet 側 MTU 値	1500 バイト
PPPoE(有線ポート)	デフォルトの接続先	未登録
	PPPoE 接続先リスト	未登録
	接続先経路の表示	未登録
DDNS	ダイナミック DNS 機能	使用しない

機能	パラメーター	初期値
LAN	LAN 側 IP アドレス	192.168.13.1 (255.255.255.0)
	DHCP サーバー機能	使用する
	割り当て IP アドレス	192.168.13.2 から 64 台 (除外 IP アドレス：なし)
	拡張設定	表示しない
	リース期間	48 時間
	デフォルトゲートウェイの通知	BF-01B の LAN 側 IP アドレス
	DNS サーバーの通知	BF-01B の LAN 側 IP アドレス
	WINS サーバーの通知	通知しない
	ドメイン名の通知	取得済みのドメイン名
DHCP リース	リース情報	なし
アドレス変換	アドレス変換	使用する
	破棄パケットのログ出力	使用しない
経路情報	経路情報	未登録
WPS	WPS 機能	使用する
	外部 Registrar	要求を受け付ける
	BF-01B PIN コード	本商品のラベルに記載されている 8 桁の値
	WPS 用無線セキュリ ティー設定	WPS ステータス： configured セキュリティー： WPA/WPA2 mixedmode-PSK TKIP/ AES mixedmode SSID/ 暗号鍵： 本商品のラベルに記載されている 13 桁の値

機能	パラメーター	初期値
AOSS	暗号化レベル	停止
	本体側 AOSS ボタン	使用する
	Internet 側の親機と AOSS 接続する	使用する
基本 (11g)	無線機能	使用する
	SSID	BF-01B の MAC アドレスを設定
	無線チャンネル	Auto (1-11ch)
	ANY 接続	許可する
	無線の認証	WPA/WPA2 mixedmode-PSK
	無線の暗号化	TKIP/AES mixedmode
	WPA-PSK (事前共有キー)	本商品のラベルに記載されている 13 桁の値
	Key 更新間隔	60 分
拡張 (11g)	DTIM Period	1
	プライバシーセパレーター	使用しない
	送信出力	Auto
MAC アクセス制限	無線パソコンの接続	制限しない
	登録リスト	未登録
マルチキャスト制御	Snooping 機能	使用する
	マルチキャスト Aging Time	300 秒
ファイアウォール	ログ出力	使用しない
	簡易ルール	「Internet 側からの Ident 要求を拒否する」と「Internet 側からの Ping に応答しない」が有効
IP フィルター	ログ出力	使用しない
	IP フィルター登録情報	未登録
VPN パススルー	フレッツ IPv6 サービス対応機能 (IPv6 ブリッジ)	使用しない
	PPTP パススルー	使用する
ポート変換	ポート変換登録情報	未登録
DMZ	DMZ のアドレス	空欄
UPnP	UPnP 機能	使用する
自動ダウンロード	自動ダウンロード機能	使用しない
自動アップロード	自動アップロード機能	使用しない

機能	パラメーター	初期値
本体	機器名	AP + 本商品の LAN 側 MAC アドレス
	USB ストレージ機能	ユーティリティ-インストーラー
パスワード	管理ユーザー名	root (変更不可)
	管理パスワード	なし
	コンテンツ・アクセス 認証	アクセス制限しない (パスワードなし)
省電力	システム・スタンバイ	1 分後
	自動パワーオフ	しない
時刻	日付	2010 年 1 月 1 日
	時刻	0 時 00 分 00 秒
	タイムゾーン	(GMT+09 : 00) 東京、大阪、ソウル
NTP	NTP 機能	使用する
	サーバー名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24 時間毎
アクセス	ログ出力	使用しない
	制限項目	すべて無効
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	syslog サーバー	空欄
	転送するログの種類	アドレス変換、IP フィルター、ファイアウォール、PPP クライアント、3G (HSPA)、ISD、ダイナミック DNS、DHCP クライアント、DHCP サーバー、AOSS、無線、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク、SD、システム

用語集

3G

第3世代の携帯電話方式の総称です。従来の第2世代携帯電話方式と比較して高速なデータ通信が可能となっており、高品質な通話や動画の配信などにも利用されています。

AES

IEEE802.11i で策定されている次世代暗号化方式です。「WEP」脆弱性の原因は、採用している暗号方式(RC4暗号)自体に解読手法が存在するためです。「TKIP」にて脆弱性の改善はされていますが、暗号方式自体を抜本的に見直したものが「AES」です。

DHCP サーバー

DHCP サーバーはネットワークに関連した情報(IP アドレス、ルータの IP アドレス、ドメイン名など)を管理します。DHCP クライアントが起動すると、自動的に IP アドレスなどの情報を割り振ります。DHCPサーバーがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上の機器に、IPアドレスなどを手動で設定する必要がなくなります。

DNS

コンピューター名やドメイン名を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステムです。

HSPA

第3世代携帯電話方式(3G)の規格である W-CDMA を拡張して、さらに高速化した規格です。下り方向を高速化した HSDPA、上り方向を高速化した HSUPA を組み合わせた規格で、従来の5倍以上の通信速度を実現します。

MAC アドレス

ネットワーク機器ごとの固有の物理アドレスです。先頭からの 3bytes のベンダーコード(メーカーの ID)と、残り 3bytes のユーザーコードの 6bytes で構成されます。Ethernet ではこのアドレスを元にフレームの送受信を行います。

SSID

無線機器と無線親機の通信時に混線しないために設定する ID です。無線機器が無線親機と通信するときは、同一の SSID を設定します。

TKIP

無線のデータ暗号化方式である WPA に用いられている暗号化プロトコルです。従来の暗号化方式である「WEP」にあった同じ暗号化キーを使いつづけるため発生する脆弱性を克服するため、キーを自動的に変更し、暗号化を行うように改良された暗号化プロトコルが「TKIP」です。定期的に変更する暗号化キーを変更するため、キーの解析が困難となり、より強固なセキュリティを持った無線 LAN を構築することが可能です。

WEP

無線 LAN の規格である 802.11 に追加されたデータを暗号化する機能です。WEP(暗号化)キーに 64 ビット長のデータを使う方式と 128 ビット長のデータを使う方式の 2 つがあります。この WEP(暗号化)キーを元を送受信データを暗号化します。万一、第三者に電波を傍受されても、暗号化されたデータの解読は困難です。ビット数の値が大きいほど(64bit < 128bit)暗号が複雑化し、セキュリティ度が向上します。無線親機に WEP 設定を行うと、同じ WEP キーを設定した無線機器からしか接続ができなくなります。

WPA

無線 LAN の暗号化方式の一種で、従来採用されてきた WEP の弱点を補強し、セキュリティ強度を向上させたものです。従来の SSID と WEP キーのセキュリティに加え、Pre-Shared Key(PSK)や、PPP Extensible Authentication Protocol(EAP)などを用いて認証を行い、無線親機から配布される暗号化キーで接続させます。また、認証によって配布された暗号化キーを一定時間で自動更新することで、安全性を向上させています。暗号化についても「TKIP」と呼ばれる暗号プロトコルを採用するなど改善が加えられています。

WPA2

WPA が、セキュリティ標準規格「IEEE802.11i」に採用予定であった暗号化の一部から作成されているのに対して、WPA2 では正式に策定された「IEEE802.11i」に基づいて作成されています。従来の WPA では、暗号プロトコルに「TKIP」を採用していましたが、より強力な暗号化技術である「AES」をサポートすることでセキュリティ強度を従来より向上させています。

WPS

WPS(Wi-Fi Protected Setup)は、無線 LAN の普及推進団体である Wi-Fi Alliance によって策定された、無線 LAN の接続や暗号化など各種セキュリティ設定を簡単に行うための規格です。機器に搭載されたボタンを押すことで接続設定を行うプッシュボタン式と、機器固有情報を相手側機器に登録することで接続設定を行う PIN コード式があり、自動的に接続・セキュリティ設定を行うことができます。

グローバル IP アドレス

インターネットに直接接続でき、インターネット上では重複しない IP アドレスです。

ゲートウェイ

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットが LAN の外に出て行くときに通過します。

サブネットマスク

IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルータがパケットを送受信するために用いられます。

ダイナミック DNS

動的に変化する IP アドレスに対して、一意のドメイン名を提供し、提供したドメイン名と IP アドレスの関連付けを行うサービスです。これにより、IP アドレスが変化してもドメイン名を使って Internet 側からアクセスすることが可能となります。

パケット

ネットワーク上を流れるデータの単位です。ヘッダー(宛先アドレスや送信元アドレス)と情報データ(実データ)から構成されます。

パケットフィルタリング

通信セキュリティ機能の一種で、パケットの宛先アドレスや送信元アドレスを読み取り、ユーザーが設定したルールに従ってパケットの通過・遮断を判断します。

プライバシーセパレーター

プライバシーセパレーターは、1 台の無線親機に直接無線接続している機器間の通信(共有フォルダーなどへのアクセスなど)を禁止するセキュリティ機能です。

プライベート IP アドレス

インターネットに直接接続せず、閉じたネットワーク内同士であれば、重複して自由に使用することができる IP アドレスです。プライベート IP アドレスには、次のような種類があります。

クラス A : 10.xxx.xxx.xxx/255.0.0.0

クラス B : 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255/255.255.0.0

クラス C : 192.168.xxx.xxx/255.255.255.0

設定内容一覧表

お客様が本商品に対して設定した内容をご記入ください。

機能	パラメーター	設定値
Internet(3G/HSPA)	Internet(3G/HSPA) 接続	
	3G/HSPA モデム	
	キャリア選択	
	接続方式	
	PDP Type	
	APN (接続先)	
	PIN	
	認証方式	
	MTU 値	
Internet(無線 LAN)	Internet 接続 (無線 LAN)	
	無線 LAN-3G/HSPA 切り替えモード	
	登録無線 LAN プロファイル	

機能	パラメーター	設定値
Internet(有線ポート)	有線ポート	
	IP アドレス取得方法	
	デフォルトゲートウェイ	
	DNS (ネーム) サーバー アドレス	
	Internet 側 MAC アドレス	
	Internet 側 MTU 値	
PPPoE(有線ポート)	デフォルトの接続先	
	PPPoE 接続先リスト	
	接続先経路の表示	
DDNS	ダイナミック DNS 機能	

機能	パラメーター	設定値
LAN	LAN 側 IP アドレス	
	DHCP サーバー機能	
	割り当て IP アドレス	
	拡張設定	
	リース期間	
	デフォルトゲートウェイの通知	
	DNS サーバーの通知	
	WINS サーバーの通知	
	ドメイン名の通知	
DHCP リース	リース情報	
アドレス変換	アドレス変換	
	破棄パケットのログ出力	
経路情報	経路情報	
WPS	WPS 機能	
	外部 Registrar	
	BF-01B PIN コード	
	WPS 用無線セキュリティー設定	
AOSS	暗号化レベル	
	本体側 AOSS ボタン	
	Internet 側の親機と AOSS 接続する	

機能	パラメーター	設定値
基本 (11g)	無線機能	
	SSID	
	無線チャンネル	
	ANY 接続	
	無線の認証	
	無線の暗号化	
	WPA-PSK (事前共有キー)	
	Key 更新間隔	
拡張 (11g)	DTIM Period	
	プライバシーセパレーター	
	送信出力	
MAC アクセス制限	無線パソコンの接続	
	登録リスト	
マルチキャスト制御	Snooping 機能	
	マルチキャスト Aging Time	
ファイアウォール	ログ出力	
	簡易ルール	
IP フィルター	ログ出力	
	IP フィルター登録情報	
VPN パススルー	フレッツ IPv6 サービス対応機能 (IPv6 ブリッジ)	
	PPTP パススルー	
ポート変換	ポート変換登録情報	
DMZ	DMZ のアドレス	
UPnP	UPnP 機能	
自動ダウンロード	自動ダウンロード機能	
自動アップロード	自動アップロード機能	

機能	パラメーター	設定値
本体	機器名	
	USB ストレージ機能	
パスワード	管理ユーザー名	
	管理パスワード	
	コンテンツ・アクセス 認証	
省電力	システム・スタンバイ	
	自動パワーオフ	
時刻	日付	
	時刻	
	タイムゾーン	
NTP	NTP 機能	
	サーバー名	
	確認時間	
アクセス	ログ出力	
	制限項目	
ログ	ログ情報転送機能	
	syslog サーバー	
	転送するログの種類	

索引

あ行

暗号化キー.....	39, 41
暗号化の種類.....	39, 44

さ行

事前共有キー.....	45, 177
自動アップロード機能.....	80
自動ダウンロード機能.....	75
省電力設定.....	84
設定内容一覧表.....	182

た行

ダイナミック DNS.....	31, 180
デフォルトゲートウェイ.....	127
電波混雑防止機能.....	43, 91

は行

ファームウェア.....	71, 109
プライバシーセパレーター.....	98, 181

ま行

無線チャンネル.....	43, 177
--------------	---------

アルファベット

AES.....	44, 179
ANY 接続.....	43, 93
AOSS ボタン.....	111
AOSS 接続.....	149
DHCP サーバー.....	179
DMZ.....	103
HSPA.....	17, 179
MAC アクセス制限.....	95
MAC アドレス.....	95, 179
MSN メッセンジャー.....	104
NTP 機能.....	67, 186
SSID.....	43, 179
TKIP.....	44, 179
WEP.....	44, 180
Windows Live メッセンジャー.....	104
WPA.....	180

WPA2.....	180
WPS (プッシュボタン式).....	149
WPS (PIN コード式).....	150, 152, 159

数字

10BASE-T.....	173
100BASE-TX.....	173
3G.....	17, 179

MEMO

